

宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画 (改訂版)

令和年月

宗像市
委託先

目次

序章 はじめに.....	1
1. 計画策定の目的.....	1
2. 計画期間.....	1
3. 計画の位置づけ.....	2
4. 計画の見直しにあたって.....	3
第1章 宗像市の将来推計人口と公共施設等の現状及び課題.....	7
1. 将来推計人口への対応.....	7
2. 宗像市の財政状況.....	1
3. 公共施設等の現状及び課題.....	9
3-1 計画の対象施設.....	9
3-2 公共施設の現状及び課題.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
3-3 公共インフラの現状及び課題.....	17
4. 公共施設・公共インフラの事業費の将来見込み.....	20
4-1 公共施設の事業費の将来見込み.....	22
4-2 公共インフラの事業費の将来見込み.....	24
4-3 公共施設・公共インフラの事業費の将来見込みと将来財政との比較.....	24
第2章 公共施設等の管理に関する適正化方針.....	21
1. アセットマネジメントの目標設定～令和26年度.....	25
2. 公共施設等の管理に関する基本方針.....	26
2-1 公共施設の管理に関する基本方針.....	26
2-2 公共インフラの管理に関する基本方針.....	28
3. 基本方針を推進するための実施方針.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
第3章 公共施設用途分類別方針及びインフラ分野別方針.....	29
1. 基本的事項.....	29
2. 公共施設用途分類別方針.....	30
2-1 適正化にあたって前提となる考え方.....	30
2-2 利用区分分類※の設定.....	31
2-3 用途分類別方針.....	35
3. 公共インフラ分野別方針.....	48
第4章 公共施設・公共インフラの更新・改修計画.....	53
1. 公共施設ごとの更新・改修計画.....	53
1-1 施設別方針の設定.....	53
1-2 コスト(更新・改修費用)の積算.....	57
1-3 長期保全費用の積算.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
1-4 短期保全費用の積算.....	60
1-5 公共施設の更新・改修計画.....	53
2. 公共インフラごとの更新・改修計画.....	107
2-1 種別方針の設定.....	110

2-2	優先度の設定	111
2-3	コスト(更新・改修費用)の試算	111
2-4	公共インフラの更新・改修計画	112
3.	更新・改修計画の成果と課題	117
第 5 章	計画の推進	エラー! ブックマークが定義されていません。
1.	市民と取り組むアセットマネジメント	エラー! ブックマークが定義されていません。
1-1	市民参画による市民意見等の反映	エラー! ブックマークが定義されていません。
1-2	協働による公共施設及び公共インフラの管理等 ..	エラー! ブックマークが定義されていません。
1-3	市民への情報発信	エラー! ブックマークが定義されていません。
2.	広域連携・民間活用・ライフサイクルコストの縮減の取組み	エラー! ブックマークが定義されていませ
	ん。	
2-1	広域連携の取組み	エラー! ブックマークが定義されていません。
2-2	幅広い民間活用の取組み	エラー! ブックマークが定義されていません。
2-3	ライフサイクルコストの縮減	エラー! ブックマークが定義されていません。
3.	公共施設等の経営改善に向けた取組み～「施設管理」から「施設経営」への転換～	エラー! ブックマークが定義されていませ
	ん。	
第 6 章	庁内推進体制及び進行管理	エラー! ブックマークが定義されていません。
1.	庁内推進体制	エラー! ブックマークが定義されていません。
1-1	庁内推進体制	エラー! ブックマークが定義されていません。
1-2	経営企画部アセットマネジメント推進課の役割 ..	エラー! ブックマークが定義されていません。
1-3	各施設等所管部署の役割	エラー! ブックマークが定義されていません。
1-4	アセットマネジメント庁内推進委員会の役割	エラー! ブックマークが定義されていません。
2.	計画の進行管理	エラー! ブックマークが定義されていません。
2-1	PDCA のマネジメントサイクルに基づいた推進計画の見直し	エラー! ブックマークが定義され
	ていません。	
2-2	見直しにあたっての留意事項	エラー! ブックマークが定義されていません。
2-3	毎年度の進行管理	エラー! ブックマークが定義されていません。
2-4	検証結果、進行状況の公表	エラー! ブックマークが定義されていません。
3.	宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画策定審議会	エラー! ブックマークが定義されていませ
	ん。	
3-1	委員名簿(敬称略)	エラー! ブックマークが定義されていません。
3-2	審議会の経過	エラー! ブックマークが定義されていません。
3-3	宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画(改訂版)について(諮問)	エラー! ブックマークが
	定義されていません。	
3-4	宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画(改訂版)について(答申)	エラー! ブックマークが
	定義されていません。	
4.	公共施設等アセットマネジメントアンケート調査	エラー! ブックマークが定義されていません。
4-1	調査の目的	エラー! ブックマークが定義されていません。
4-2	調査の概要	エラー! ブックマークが定義されていません。
4-3	回答の集計結果	エラー! ブックマークが定義されていません。
第 7 章	参考資料	エラー! ブックマークが定義されていません。

- 1-1 更新費用の概要.....エラー! ブックマークが定義されていません。
- 1-2 改修周期・費用の概要.....エラー! ブックマークが定義されていません。

序章 はじめに

1. 計画策定の目的

本市では、公共施設を総合的かつ計画的に更新するため、平成 24(2012)年 10 月に「宗像市公共施設アセットマネジメント基本方針」、平成 26(2014)年 3 月に「宗像市公共施設白書」を作成し、それらに基づき、平成 27(2015)年 11 月に、将来人口、財政状況に応じた公共施設及び公共インフラの適正化方針及び年度別・施設別更新・改修計画を示した「宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画」を策定しました。

本計画は、最終目標年度を令和 26(2044)年度とした 30 年間の計画としており、30 年間の計画期間を第 1 期から第 3 期までの 10 年単位で区分し、さらにそれぞれを前期と後期の 5 年単位で区分し、適宜、各計画期間での検証と見直しを実施することとしています。

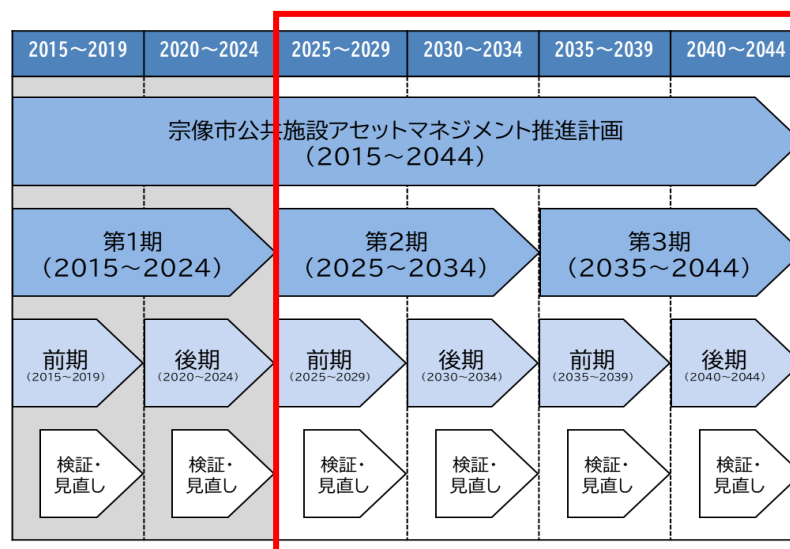
令和 6(2024)年度に第 1 期が終了することから、第 1 期の検証結果及び社会経済情勢の変化を踏まえ、「宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画」を改訂します。

2. 計画期間

本計画の計画期間は、平成 27(2015)年度から令和 26(2044)年度までの 30 年間とします。30 年間という長期間にわたって効果的、継続的にアセットマネジメントを実施していくためには、計画の定期的な検証と見直しが必要となります。

そこで、計画の推進にあたっては、30 年間の計画期間を第 1 期から第 3 期までの 10 年単位で区分し、さらにそれぞれを前期と後期の 5 年単位で区分し、適宜、各計画期間での検証と見直しを実施することとします。第 1 期から第 3 期の期ごとの見直しについては、市の方向性を示す総合計画の 10 年ごとの策定にあわせて検証及び見直しを実施します。

■アセットマネジメント推進計画の期間区分



今回の見直し期間

3. 計画の位置づけ

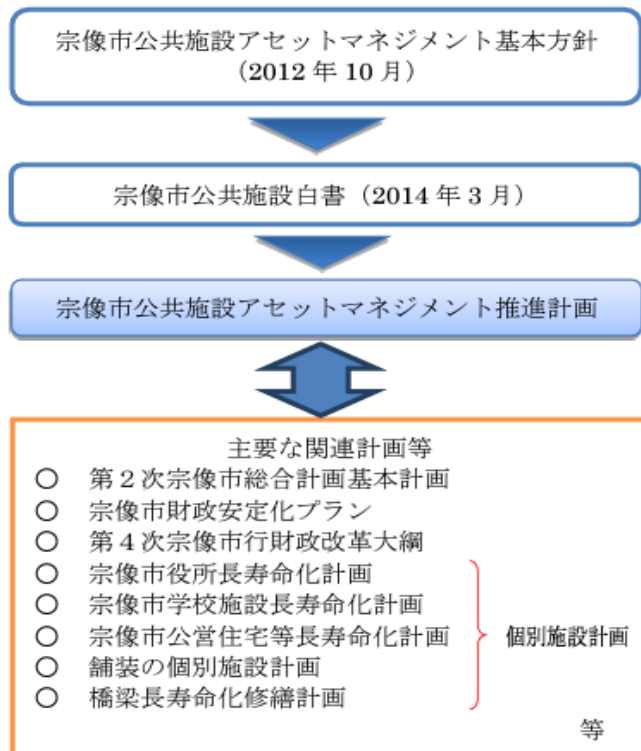
本計画は、宗像市総合計画で掲げる将来のまちづくりの方向性を見据えながら、「宗像市公共施設アセットマネジメント基本方針」や「宗像市公共施設白書」に基づき策定します。また、本計画は、宗像市財政安定化プランや公共施設・公共インフラの個別施設計画等、アセットマネジメントに関連する主要な計画とも整合・連携を図りながら、持続可能な公共施設のマネジメントに取り組みます。

【追加】

「宗像市国土強靱化地域計画」

「宗像市雨に強いまちづくりビジョン～雨水管理総合計画～」

■本計画の位置づけ



4. 計画の見直しにあたって

前回、第1期後期計画(以下「旧計画」という)見直し時(令和元(2019)年度)から現在までの間、本市における公共施設を取り巻く環境には以下のとおり様々な変化がありました。

- ・施設の老朽化の進行(資産老朽化比率 62.6%→66.9%(令和5年度))
- ・物価・人件費の高騰等による更新・改修費用の増加(約20%上昇)
- ・包括管理委託の導入と施設巡回点検の実施
- ・公共施設保有面積の増加(264,278 m²→269,466 m²(1.96%増))

今回の計画の見直しにあたっては、上記の内容を踏まえ、特に以下の3点に関して改定に当たります。

1 包括管理委託による巡回点検結果等の活用

令和5年度から官民連携による公共施設の管理手法として公共施設包括管理委託を導入し、施設の安全性の向上と長寿命化を図ることとしました。

包括管理委託では、専門家による施設の巡回点検(劣化度・危険度調査)を定期的に行いながら、建物の部位、設備ごとに状態監視するとともに、施設管理データの集約と一元化に取り組んでおり、これらの情報を本計画に活用します。

2 コスト(更新・改修費用)の試算

コストの試算においては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「令和5年度 建築物のライフサイクルコスト(第3版)」¹⁾(以下「青本」という)に準拠した手法を用い、施設用途ごとに必要となる更新(建替え)の費用、施設ごとの主要な部位別の改修等が必要となる時期や費用の目安を把握します。

「青本」は、実存する官公庁施設を中心とした9つのモデル建物(下記「令和5年版建築物のライフサイクルコスト」モデル建物概要)により構成されており、施設ごとに必要となる更新(建替え)の費用、施設ごとの主要な部位別の改修等が必要となる時期や費用の根拠が示されており、公共施設の特徴を反映した適正なコスト(更新・改修費用)を試算することが出来ます。

また、これらの情報と包括管理委託による巡回点検結果等の情報を組み合わせる事により、施設の部位、設備ごとの効率的かつ効果的な更新・改修計画を策定し、施設の長寿命化を目指します。

■「令和5年版 建築物のライフサイクルコスト」、9つのモデル建物概要



	モデル建物名称
1	小規模M庁舎
2	中規模C庁舎
3	中規模K庁舎
4	大規模G庁舎
5	中層U住宅(4階)
6	高層N住宅(8階)
7	S学校(校舎)
8	S学校(体育館)
9	A地区センター

¹⁾ 一般財団法人建築保全センター編、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、令和5年版 建築物のライフサイクルコスト、2023。

3 施設ごとの適正化方針の整理

今後のまちづくりの方針や人口動態等を踏まえ、施設の集約化、複合化、民活化等を含めた適正規模・適正配置について見直します。

特に、公共施設総面積の約半数を占める学校施設については、人口動態を含めた規模の適正化・適正配置や、他施設との複合化・共用化等に関して、組織横断的な検討に取り組みます。

■本計画における用語の定義と解説

公共施設等		地方公共団体が所有する公共施設および公共インフラをいう。
	公共施設	地方公共団体が保有している庁舎・学校や保健センター、公民館、体育館などの公共施設(いわゆる「ハコモノ」)をいう。
	公共インフラ	地方公共団体が保有している道路・橋りょう等の土木工作物、公営企業の施設(上下水道等)、プラント系施設(廃棄物処理場、浄水場、汚水処理場等)などをいう。
長寿命化		公共施設等を将来にわたって長く使い続けるために、耐用年数を延ばすこと。
保全		公共施設等が完成してから取り壊すまでの間、その性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断、改修等がある。
	予防保全	損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで、機能の保持・回復を図る保全のこと。
	事後保全	公共施設等の機能や性能に関する明らかな不具合が生じてから修繕を行う保全のこと。
更新		老朽化等に伴い機能が低下した公共施設等の建替え又は取り換えを行い、同程度の機能に再整備すること。
改修		経年劣化した公共施設等の部分又は全体の原状回復を図る工事や、機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。
	公共施設の長寿命化改修	建築後40年以上(RC造の場合)経過した建物等を対象として、当該施設の長寿命化を行うために、構造躯体の耐久性向上を図る工事やライフラインの健全化工事、さらに、現代の社会的要請に対応した機能・性能の向上を図る工事を行うこと。
	公共インフラの長寿命化改修	道路、橋梁、下水道等について、健全な状態に保つための改修工事を予防保全型の維持管理によって適切なタイミングで実施し、公共インフラの長寿命化を図ること。
修繕		経年劣化した公共施設等の部分を、既存のものと概ね同じ位置に同じ材料、形状、寸法のものを用いて、当初の性能水準まで回復させること。
集約化		同一または類似の機能を有する公共施設が複数ある場合に、施設の機能は維持した上で、それらの公共施設を統廃合すること。
複合化		異なる機能を有する個々の公共施設について、その機能を一つの公共施設の中もしくは同一の敷地内に集積し、公共施設を再編すること。
PPP		Public Private Partnership の略。公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、民間資本や民間のノウハウを利用し、効率化や公共サービスの向上を目指すもの。
PFI		Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化やサービスの向上を図る公共事業の手法をいう。
青本		「令和5年版 建築物のライフサイクルコスト 国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修」をいう。
ライフサイクルコスト		生涯費用という意味であり、設計から建設、維持管理、解体までに要するすべての費用をいう。
更新費用		公共施設等の更新に係る建設コスト(設計・工事監理、建設工事のコスト)と使用終了時コスト(解体処分コスト)を加えた費用をいう。

長期改修費用	公共施設等の使用期間中に必要となる改修費用を、青本の部位毎の計画改修周期と改修単価を用いて試算した改修費用をいう。
短期改修費用	建物の現実の劣化状況や電気設備・機械設備等の経過年数から、速やか(5 年以内)に改修する必要があると評価されるものについて、青本を用いて試算した改修費用をいう。

【参考資料】

- ・ 公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針の改訂について（令和5年10月10日 総務省）
- ・ 学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き（平成27年4月 文部科学省）

第 1 章 宗像市の将来推計人口と公共施設等の現状及び課題

1. 将来推計人口への対応

この計画の上位計画である本市の第 3 次宗像市総合計画の基本計画では、現在の人口を令和 17(2035)年度末まで維持することを目標に各種施策を実施することとしています。

しかしながら、将来の人口推計では、この計画の最終年度となる令和 27(2045)年度末には、88,631 人となり、現在(令和 6(2024)年 10 月末)の人口 96,772 人と比較すると、約 8.4% 減少する見込みとなっています。

本来、公共施設は人口や利用者、提供するサービス内容等によって適正な規模を定め、整備、更新しています。そのため、人口が減少する将来に向けて公共施設を整備、更新する場合には、その規模の縮小や圧縮を基本として取り組む必要があります。

ただし、人口増減の状況は地区ごとに異なっていますから、公共施設の整備、更新を検討する際には、地区ごとの人口動態も考慮する必要があります。

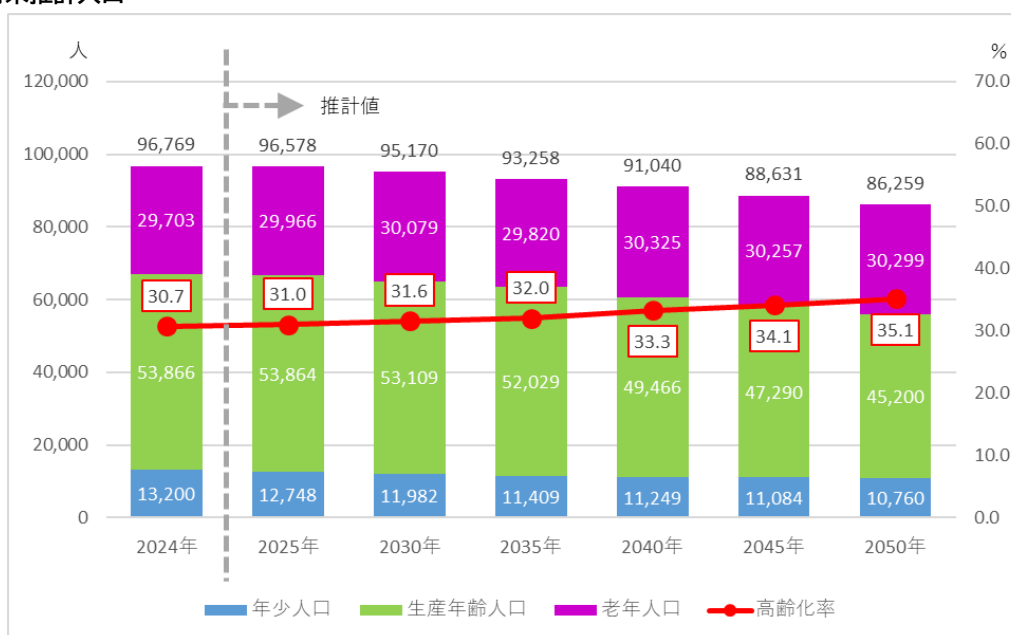
本市の場合、すでに人口減少の将来予測を踏まえて、減少傾向に転じる前に人口維持の施策を展開してきたことや、行財政改革の一環として公共施設の廃止や機能転換、民間移譲等を進めてきたことから、公共施設については、一定程度の圧縮を終えた状況にあります。

また、公共インフラについても生活を支える基盤として市民生活に不可欠なインフラの整備を行っているところです。

これらのことから、公共施設及び公共インフラについては、可能な限り、機能の維持や安全性の確保に配慮しながらアセットマネジメントに取り組んでいくこととします。

また、このことに加えて、公共施設にあっては、「宗像市公共施設アセットマネジメント基本方針(平成 24(2012)年 10 月策定)」に定めるところにより、耐用年数を経過した建物や統廃合、複合化等による更新を除き、原則として新たな建物は建設しないこととします。ただし、更新の際に、市民ニーズにあわせて新たな機能を付加することや義務的に必要となった公共施設は除くこととします。

■宗像市の将来推計人口



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」による (2024年は2024年10月末時点の人口)

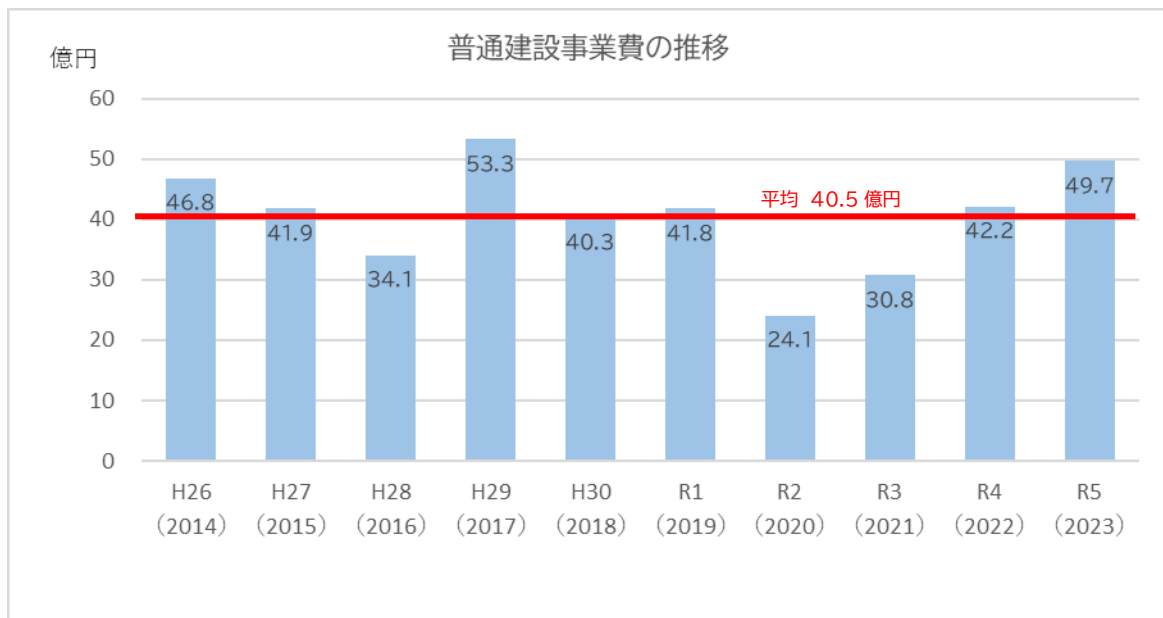
2. 宗像市の財政状況

本市の財政状況は、今後の人口減少に伴い、市民税や地方交付税の減少や高齢化に伴う社会保障関係経費の増額が見込まれるとともに、令和元(2019)年度には合併の特例期間を終え、普通交付税の合併算定替えをはじめとする財政支援が縮小していく見通しです。

本市では、このような状況においても、必要なサービスを継続していくために、財政安定化プランを策定し、計画的な財政運営のもと、公共施設への投資を行っています。

公共施設や公共インフラ等の維持や更新・改修を行う普通建設事業費※は、過去 10 年間で、平均 40.5 億円となっており、学校空調設備の整備を終えた令和元(2019)年度を境に減少していたが、宗像市役所南館及び鐘崎漁港高度衛生管理型荷さばき所の新設、城山中学校の建て替えにより、令和 4(2022)年度以降、事業費が同規模程度に多くなっています。

■直近10年の普通建設事業費の推移



※普通建設事業費・・・公共施設、公共インフラ等の更新・改修に要する経費。道路や橋りょう等、本計画の対象外となるため池や河川の整備等に要する経費も含まれる。

3. 公共施設等の現状及び課題

3-1 計画の対象施設

計画の対象施設は、以下の通りです。

	大分類	中分類	延床面積 (㎡)	施設数	主な施設
建 物	行政系施設	庁舎等	13,222	2	宗像市役所、大島行政センター
		その他行政系施設	1,018	4	消費生活センター、エコロ館、資源物受入施設×2
	スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	8,190	8	勤労者体育センター、市民体育館、玄海B&G海洋センター、弓道場、ゲートボール場、明天寺野球場、宗像中央公園野球場、大島運動場
		レクリエーション・観光施設	8,294	9	道の駅むなかた、東部観光拠点施設(街道の駅赤馬館)、大島海洋体験施設(うみんぐ大島)、正助ふるさと村、大島観光休憩所、ふれあいの森総合公園、地島離島体験交流施設、八所宮旧キャンプ場、北斗の水くみ公園
	子育て支援施設	-	3,444	14	障害児通所支援施設「げんきっこくらぶ・ほっぷ」、学童保育所×12、大島へき地保育所
	市民文化・社会教育施設	-	47,341	18	宗像総合市民センター(宗像ユリックス)、郷土文化学習交流館(海の道むなかた館)、大島交流館、田熊石畑遺跡歴史公園(いせきんぐ宗像)、市民活動交流館(メイトム宗像)、陶芸施設、コミュニティセンター×12
	保健・医療・福祉施設	-	781	2	国民健康保険大島診療所、大島福祉センター(ふれ愛センター)
	学校教育系施設	-	137,656	21	吉武小、赤間小、赤間西小、自由ヶ丘小、自由ヶ丘南小、河東小、河東西小、南郷小、東郷小、日の里東小、日の里西小、玄海小、玄海東小、地島小、城山中、自由ヶ丘中、河東中、中央中、日の里中、玄海中、大島学園
	市営住宅	-	24,394	17	コスモス台団地、后曲団地、野添団地、平野団地、南郷団地、平原団地、ゆり団地、荒開団地、今門団地、原団地、第2原団地、桜町団地、東団地、谷団地、前田団地、赤坂団地、町団地
	消防施設	-	1,187	14	各分団格納庫×14(第1分団～第14分団)
	駅・渡船施設	-	8,887	8	JR 赤間駅南口、JR 赤間駅北口、JR 東郷駅日の里口、JR 東郷駅宗像大社口、神湊港渡船ターミナル、大島港渡船ターミナル、地島泊渡船待合所、豊岡白浜渡船待合所
	その他施設	-	15,052	63	かのこの里直売所、浄楽苑宗像斎場、鐘崎漁港高度衛生管理型荷さばき所ほか、狭小な施設など
建物 合計	-	269,466	180		
公 共 イ ン フ ラ	道路	-	4,015 千㎡	-	
	橋梁	-	-	545 橋	
	公園	-	-	188 公園	
	港湾施設	-	6,189 千㎡	4 施設	
	下水道施設	下水処理場	14,016 ㎡	5 施設	
下水道管路		608.6km	-		

公共施設の現状及び課題

(1) 公共施設の設置状況

本市における公共施設の設置状況及びそれを踏まえた課題について、以下に掲載します。

現 状
<ul style="list-style-type: none"> 用途分類別では、学校教育系施設が全体の 51.2%と最も面積が大きく、次いで市民文化・社会教育施設が 17.2%と、この 2 つの用途分類で全体の 70%弱を占めている。 建物の構造別では、鉄筋コンクリート造(RC 造)が全体の 76.7%を占めている。特に学校教育系施設では 92.7%、市民文化・社会教育施設では 91.6%が鉄筋コンクリート造(RC 造)となっている。 建築年度では、1970 年代に学校教育系施設や市庁舎、市営住宅等の整備が急速に進み、その後は概ね漸減傾向で推移した。 築年数が 40 年を超える公共施設が増えてきており、老朽化が進んでいる。 建築基準法の新しい耐震基準が施行された昭和 56(1981)年以前の建築床面積は、総数が 7.4 万㎡にのぼり、全体床面積の 27.5%を占めるものの、倉庫等を除く施設については、すべて耐震基準に適合している。

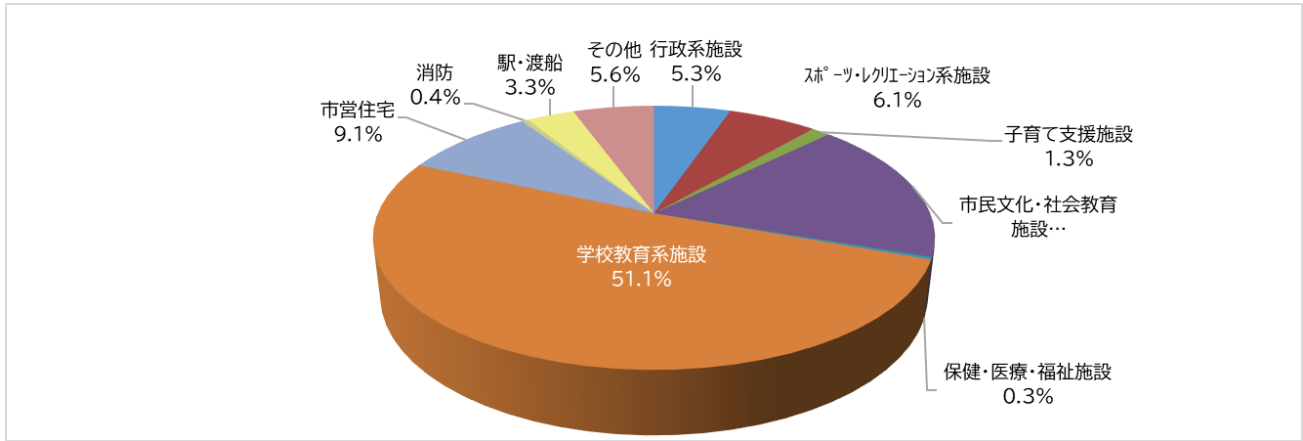


課 題
<ul style="list-style-type: none"> 学校教育系施設が総面積の 50%以上を占めるため、公共施設面積の総量圧縮のためには、学校教育系施設(特に、鉄筋コンクリート造(RC 造)の建物)の更新時に、規模の適正化や他施設との複合化を検討することが重要になる。 宗像ユリックス総合公園(宗像ユリックス)や宗像市役所等、突出して延床面積が大きい施設の更新が発生する年には大きな偏りが生じることが見込まれており、更新にあたっては、機能や市民ニーズを踏まえて施設を縮小することや長寿命化による更新時期を調整する等、費用の平準化を図る必要がある。 各施設の劣化状況に応じた更新・改修の検討を行い、安全性の確保を最優先に行う必要がある。

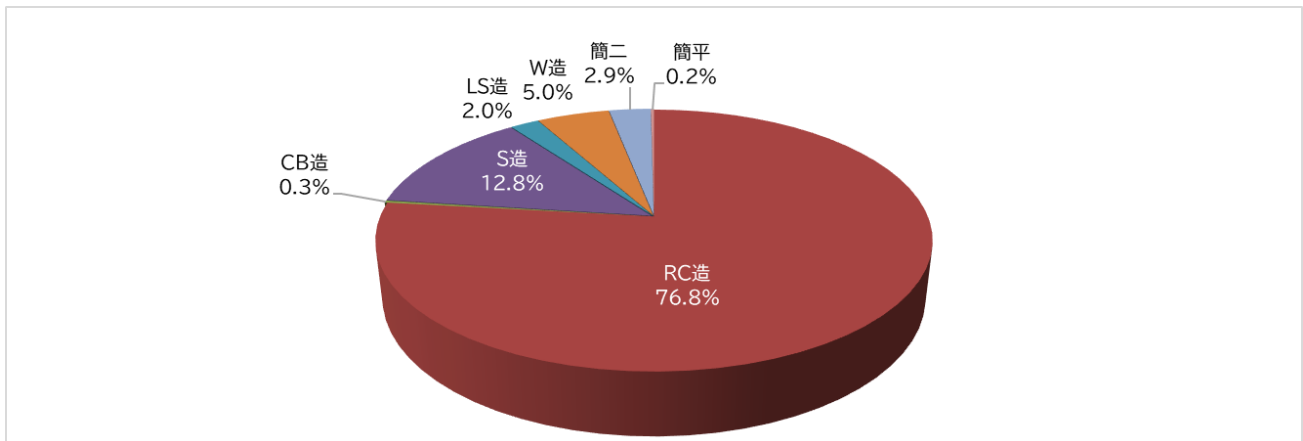
■有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率)の推移

平成 28 年度	60.3%	※平均値(人口区分:5~10 万人):57.8%(一般社団法人地方公会計研究センター報告書より) ※有形固定資産のうちの償却資産を対象に、耐用年数の期間において資産の取得からどの程度経過しているかを表したものの。資産の老朽化の進行率を把握する指標となります。 ・有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率) = 減価償却累計額 / 取得価額(再調達価額)
平成 29 年度	60.5%	
平成 30 年度	61.4%	
令和元年度	62.6%	
令和 2 年度	64.2%	
令和 3 年度	65.5%	
令和 4 年度	66.4%	
令和 5 年度	66.9%	

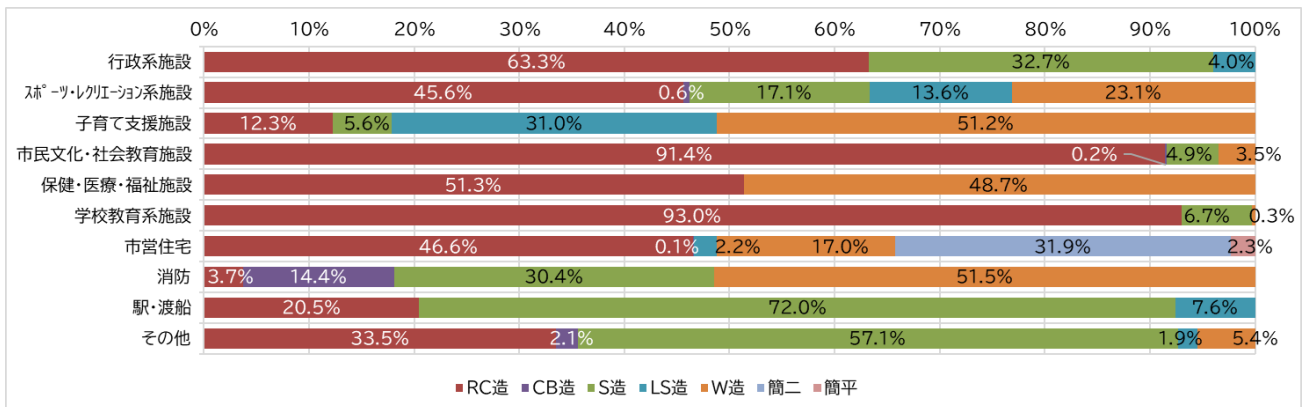
■用途分類別延床面積の割合



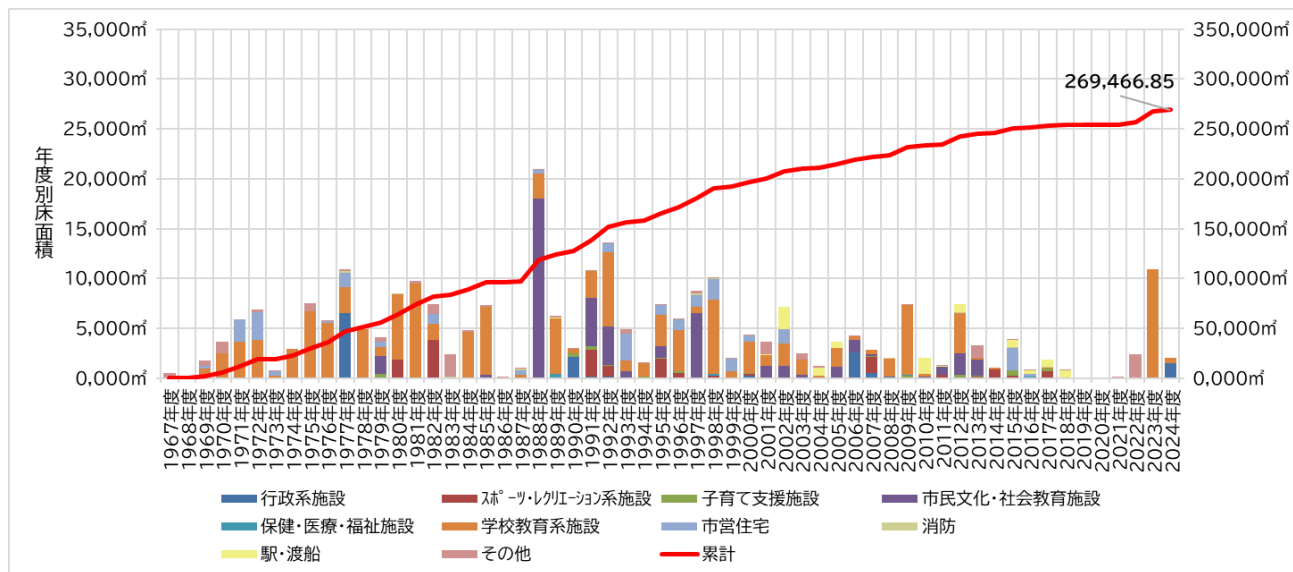
■構造別延べ床面積の割合



■用途分類別 構造別 延床面積の割合



■用途分類別 建築年度別 延床面積の割合



(2) 公共施設の保有状況

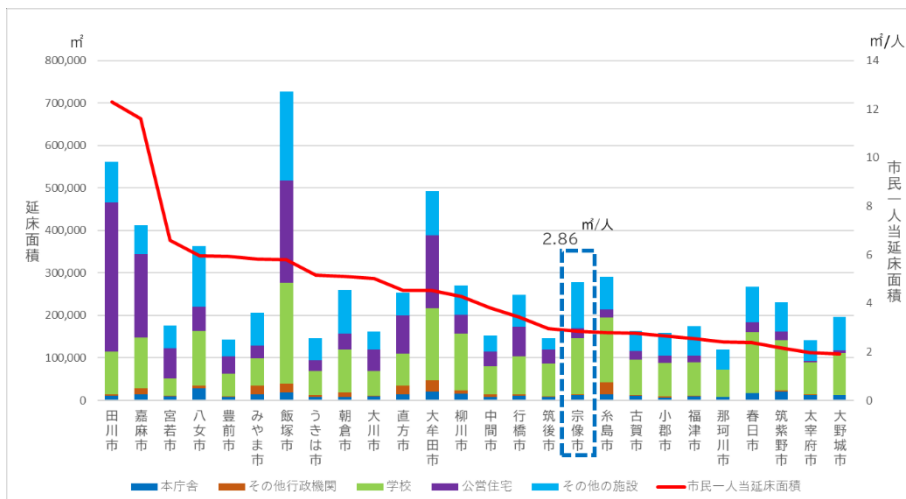
本市における公共施設の保有状況及びそれを踏まえた課題について、以下に掲載します。

現 状
<ul style="list-style-type: none"> 本市では市町村合併に伴い、市全体での施設の配置を考慮しながらも、機能が重複した公共施設の集約化とこれにあわせた廃止のほか、福祉施設や行政施設等については積極的に民間譲渡を行い、公共施設の規模の適正化を図っている。 公共施設状況調の令和 5(2023)年度版に基づき、福岡県内の 25 都市(政令市、中核都市を除く)との比較を行うと、本市は一人当たり床面積で 25 都市中 17 位に位置し、人口に対する公共施設面積は小さいと言える。 本市では、コミュニティ単位でのまちづくりを積極的に進めてきており、その拠点であるコミュニティ・センターを 12 地区すべてで整備し、その運営を各地区のコミュニティ運営協議会が行うことで、各地域における公共施設やサービス維持に寄与している。



課 題
<ul style="list-style-type: none"> これまで取組んできた施設の機能転換等を先行例としてその後の検証を行い、その知見を活かしながら、施設ごとに適切な手法を検討しながらアセットマネジメントを進める必要がある 「宗像ユリックス」や「道の駅むなかた」に代表される市の特性ともなっている公共施設については、一律に圧縮を図るのではなく市民のニーズやまちづくりへの対応を考慮した整備のバランスに配慮する必要がある。 コミュニティ単位で整備している施設については、人口動向等に応じて一律の対応を行うのではなく、コミュニティの中で施設の適正な規模や他の公共施設との複合化等について検討を行う等、公共サービスの水準の維持に向けた柔軟な取組みが必要である。 施設の用途廃止は概ね計画どおりに実施してきたが、未解体の施設があるほか、宗像市役所南館や鐘崎漁港高度衛生管理型荷さばき所の新設、城山中学校の建替えに伴う増床等により公共施設の保有面積は増加している。

■福岡県内各市の延床面積の状況



※公共施設状況調 令和 5(2023)年度の福岡県内 25 都市(政令市、中核市を除く)を対象。グラフは市民一人当床面積順に並び替え。

公共施設の保有量の変化

大分類	① 2018年度			② 2023年度			延床面積差 ②-①	説明
	施設数	延床面積 (㎡)	構成比 (%)	施設数	延床面積 (㎡)	構成比 (%)		
行政系施設	6	13,206	5.00	6	14,240	5.28	1,034	宗像市役所 1,034㎡
スポーツ・レクリエーション施設	17	16,165	6.12	17	16,484	6.12	319	宗像中央公園野球場 15㎡ 大島観光休憩所 ▲109㎡ 道の駅むなかた 413㎡ (寄付)
子育て支援施設	14	3,444	1.30	14	3,444	1.28	0	
市民文化・社会教育施設	18	47,387	17.93	18	47,341	17.57	-46	コミュニティ・センター南郷会館 ▲46㎡ (見直しによる減少)
保険・医療・福祉施設	2	781	0.30	2	781	0.29	0	
学校教育系施設	21	134,450	50.87	21	137,656	51.08	3,206	城山中学校 3,204㎡ 大島学園 2㎡
市営住宅	20	24,786	9.38	17	24,394	9.05	-392	やのお団地 ▲215㎡ あけぼの団地 ▲72㎡ 新前田団地 ▲105㎡
消防施設	14	1,159	0.44	14	1,187	0.44	28	宗像市消防団第5分団消防格納庫 28㎡
駅・渡船施設	8	8,887	3.36	8	8,887	3.30	0	
その他施設	66	14,013	5.30	63	15,052	5.59	1,039	鐘崎漁港高度衛生管理型荷さばき所 2,385㎡ (新設) 瀬山団地4号牛舎 (肥育仕上前牛舎) ▲33㎡ 大牛団地 ▲1,050㎡ 城西ヶ丘第3号公園附属トイレ 5㎡ 大井地区多目的広場 7㎡ (新設) 織幡神社周辺トイレ 9㎡ (新設) その他見直しによるもの ▲284㎡
建物 合計	186	264,278	100.00	180	269,466	100.00	5,188	

(3) 公共施設の今後の見通し

本市における公共施設の今後の見通し及びその課題について、以下に掲載します。

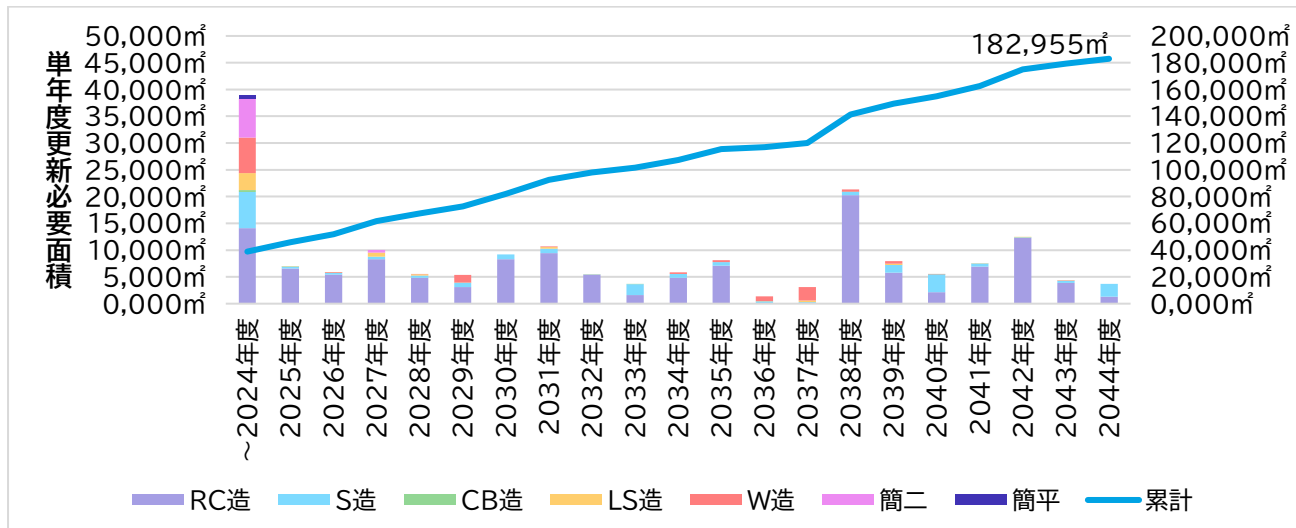
現 状
<ul style="list-style-type: none">・ 長寿命化等の対策を講じない場合、1970 年代に建築された多くの学校教育施設等が老朽化に伴う更新時期を迎え、今後 20 年間の累計延床面積が約 20 万㎡に達することになり、大きな財政負担となることが予想される。・ 本市の財政においても今後、厳しい財政状況が予想されており、施設の改修・長寿命化等に使える投資的支出も減少が見込まれる。・ 公共施設等アセットマネジメントアンケートの結果によると、公共施設のマネジメントの取組みを進める上で、適切な改修に基づき、施設の長寿命化を図ることに賛同する市民が多い。また、約 8 割の市民が公共施設を利用している一方で、その利用頻度は年に 1～2回の人が多くを占める公共施設が多い。市民文化・社会教育施設(宗像ユリックス、図書館、コミュニティ・センター等)は他の施設と比べて利用頻度が高く、次の世代に引き継いでいきたいと感じている市民も多い。・ 今後、本市の人口減少が予想される中で、市民利用が中心の公共施設については、その需要が漸減していくことが予想される。・ 災害の多発化や高齢社会の進展等に伴い、公共施設に対するニーズや利用の変化も予想される。



課 題
<ul style="list-style-type: none">・ 多くの施設の更新時期が重なることを踏まえ、適切な改修による施設の長寿命化による、年度間で変動する可能性がある財政負担の平準化や各施設のライフサイクルコスト縮減を図る等、計画的な更新・改修が必要となる。・ 今後の人口減少や財政見通しを踏まえ、公共施設サービスのあり方を検討し、機能が重複する施設や市民の利用需要が低い施設等については集約化、複合化、廃止の検討を行うほか、人口減少直面時における他用途への機能転換も見据えた更新等、総量の圧縮について検討する必要がある。・ 更新・改修費用等の平準化や効率的なサービスの提供等を検討する上では、民間活力の導入についても視野に入れた検討が必要である。・ 災害への対応力強化のため、施設の更新時には、防災機能の付与についても検討が必要である。

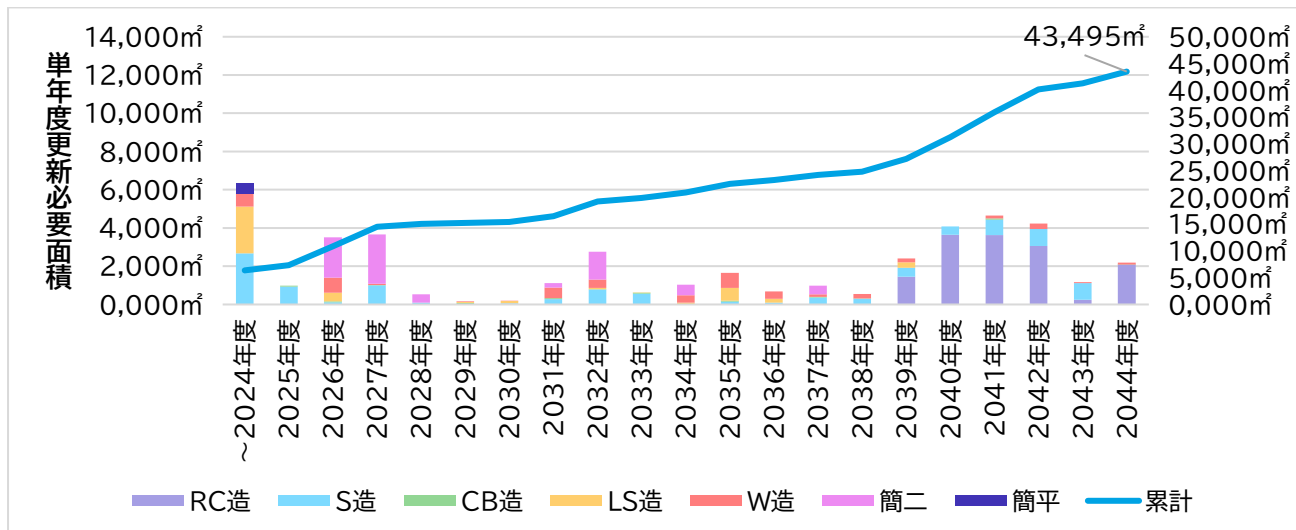
保有施設を構造別法定耐用年数で更新(建替え)をした場合2044年までに191,528㎡の更新が必要になり、構造別長寿命化年数で更新をした場合2044年までに 23,768 ㎡の更新に圧縮することができます。

■構造別の今後の更新必要面積の見通し(法定耐用年数で更新した場合)



RC造	S造	CB造	LS造	W造	簡二	簡平
50年	38年	38年	22年	22年	45年	30年

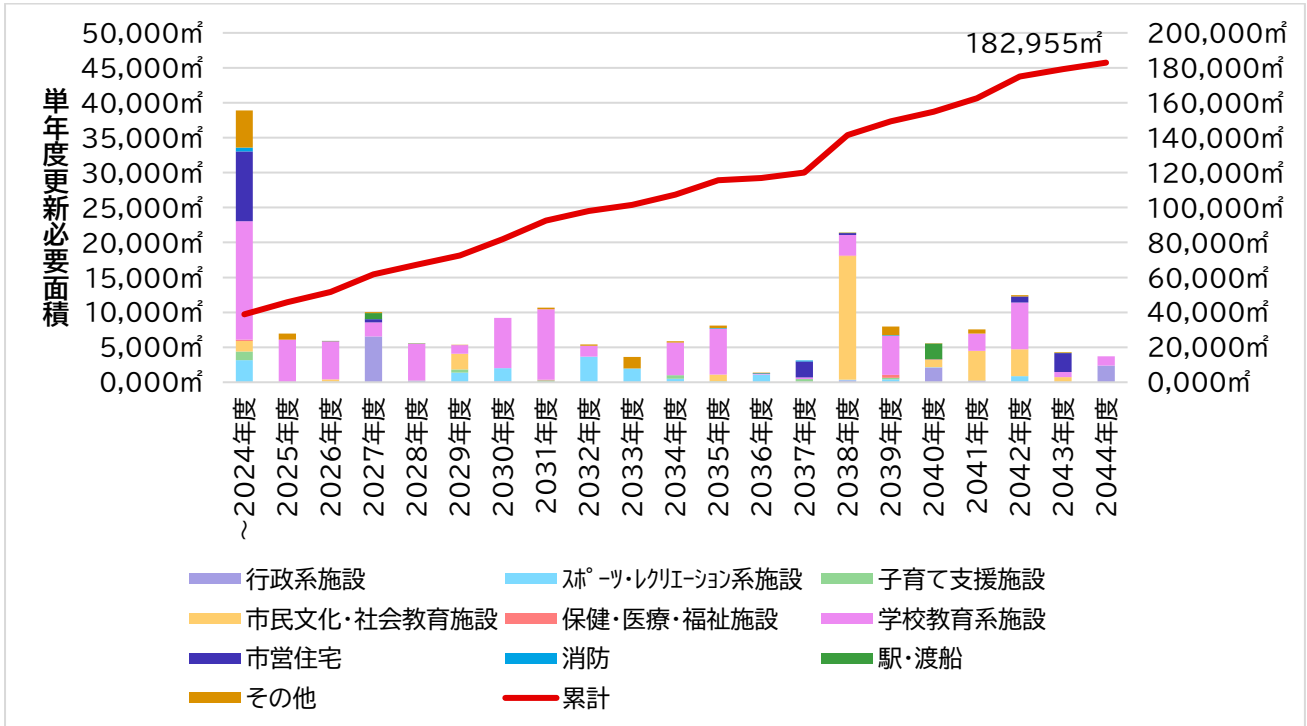
■構造別の今後の更新必要面積の見通し(長寿命化年数で更新した場合)



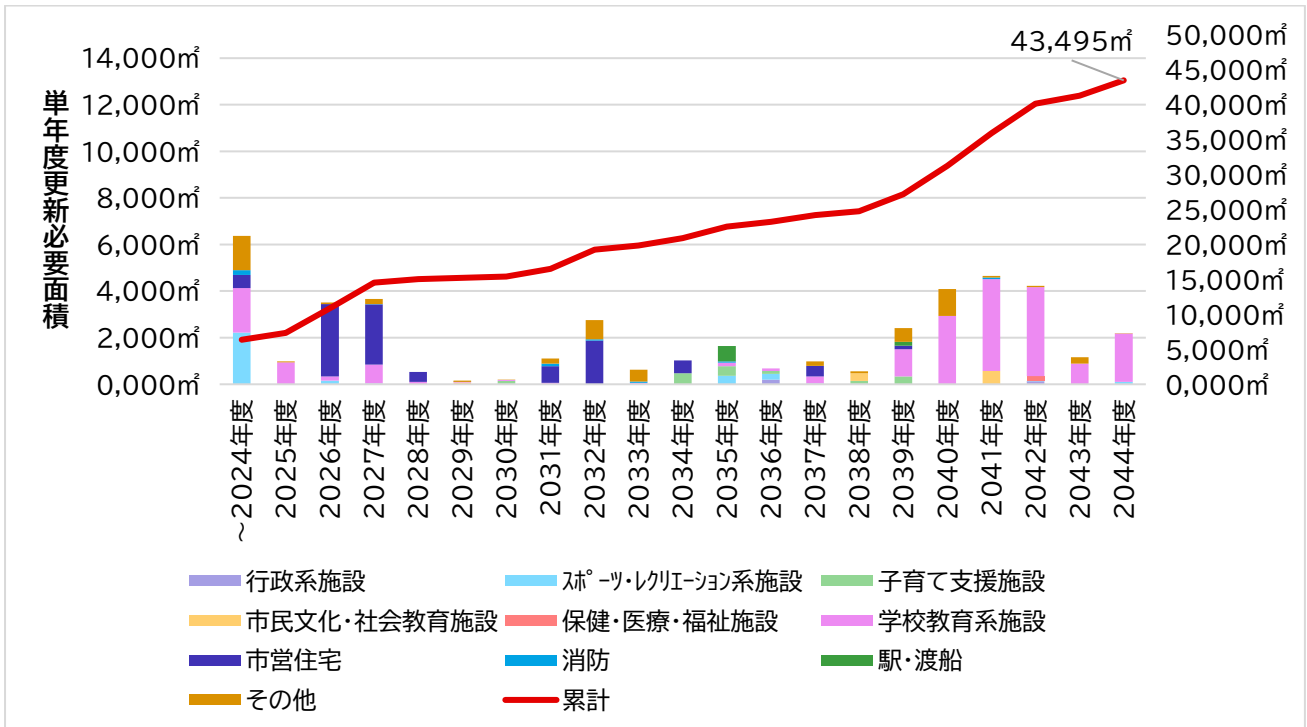
RC造	S造	CB造	LS造	W造	簡二	簡平
70年	50年	50年	30年	44年	55年	40年

※学校施設のみ RC造・S造は長寿命化年数80年に設定

■用途分類別の今後の更新必要面積の見通し(法定耐用年数で更新した場合)



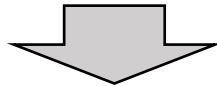
■用途分類別の今後の更新必要面積の見通し(長寿命化年数で更新した場合)



3-2 公共インフラの現状及び課題

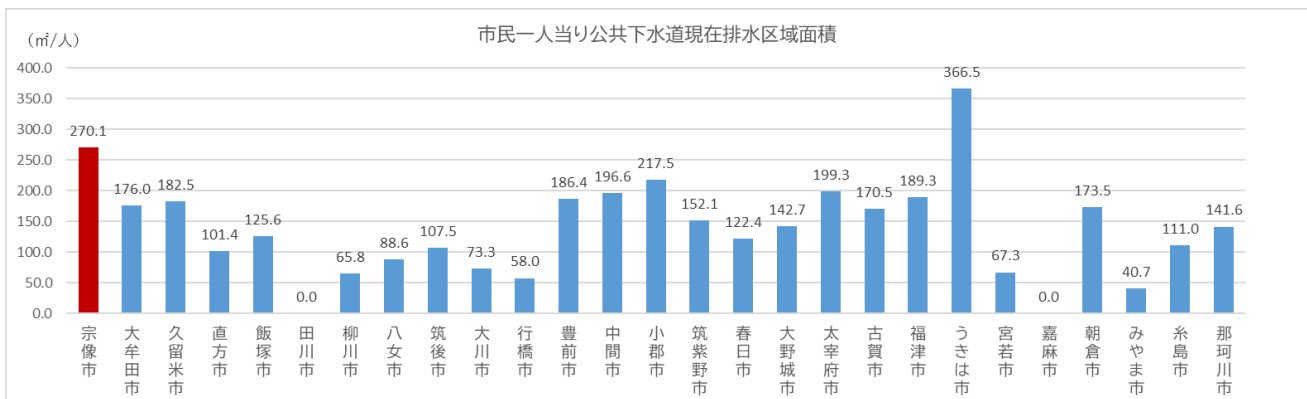
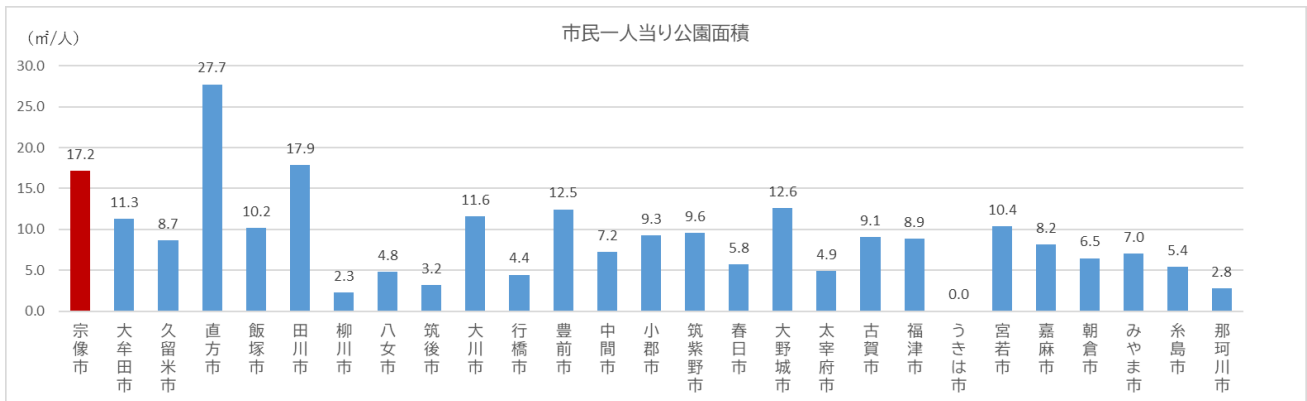
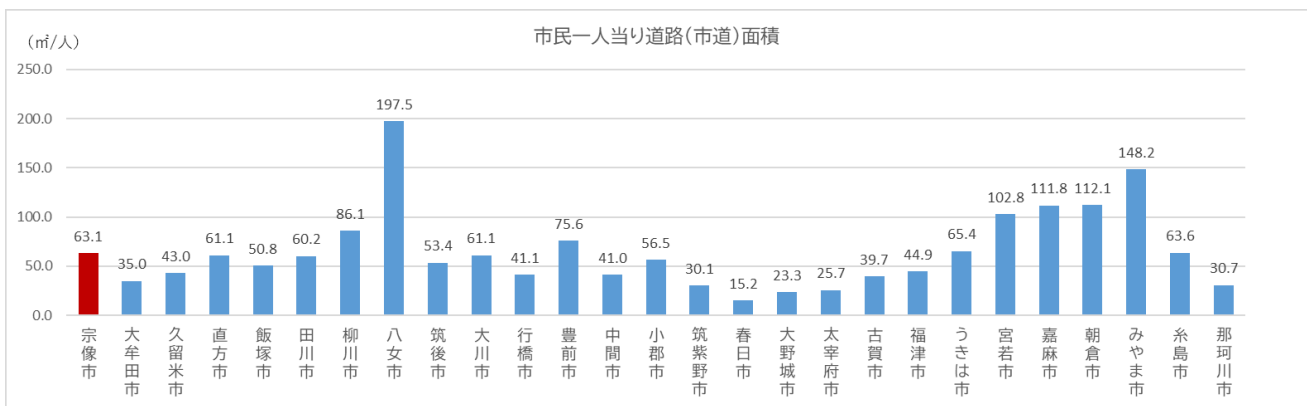
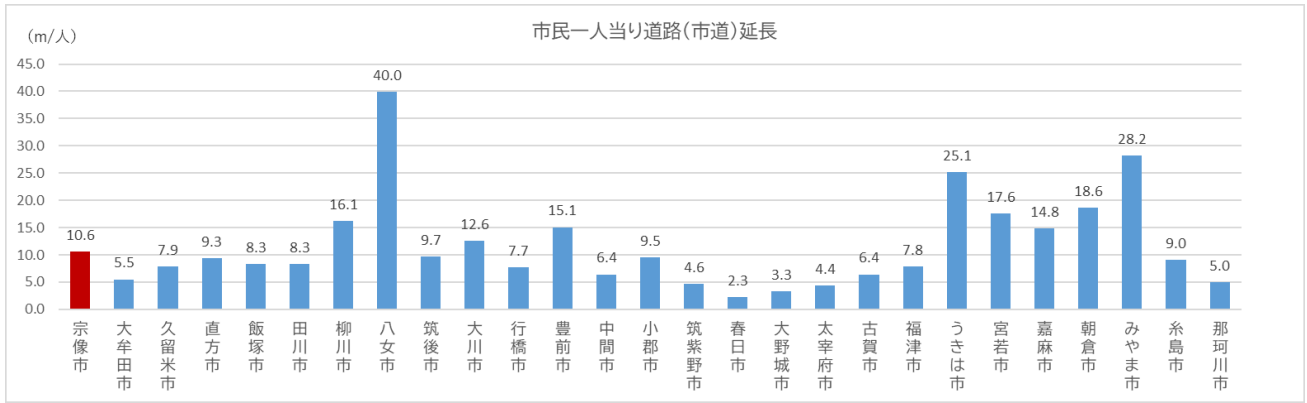
本市における公共インフラの保有状況及びそれを踏まえた課題について、以下に記載します。

現状
<ul style="list-style-type: none">・ 公共施設状況調の令和 5(2023)年度版に基づき、福岡県内各市(政令指定都市除く)との比較を行うと、道路、公園、公共下水道の市民一人当たりの値が福岡都市圏内において最も大きく、本市は福岡都市圏の中で公共インフラの整備水準が高い都市である。・ 公共インフラは整備区域が広範に渡っており、そのネットワーク性が特徴であることから、一部が機能しなくなるとその影響が市全体に及ぶ場合がある。・ 公共インフラは 1980 年代前後に集中して建設されており、今後それぞれの公共インフラが年数の経過とともに老朽化することが予想される。・ 今後の機能維持においては、経常的な維持管理費用が発生するとともに、更新時期を迎える際には多大な更新費用が発生することが見込まれる。・ 公共施設等アセットマネジメントアンケートの結果によると、公共インフラのマネジメントの取り組みを進める上で、適切なメンテナンスに基づき、インフラの長寿命化を図ることに賛同する市民が多い。



課題
<ul style="list-style-type: none">・ 公共インフラは市民生活の基盤であるため、その機能を維持保全するとともに、今後の人口減少や財政見通しとのバランス等を総合的に展望し、継続的なメンテナンスによる予防保全等、インフラごとの管理計画に基づく経費の低減化に努める必要がある。・ 更新時期が集中するおそれがあることから、突出した更新費用が発生しないように施設の長寿命化による更新年度の平準化等、計画的な更新・改修を行う必要がある。・ 更新・改修にあたっては、公共インフラのネットワーク性、市民生活の維持や防災を支える基盤としての役割等、固有の特性を踏まえた検討が必要である。

■福岡県内各市(政令指定都市除く)の公共インフラの保有状況



※公共施設状況調 令和5(2023)年度板及び令和6(2024)年住民基本台帳による

4. 公共施設・公共インフラの事業費の将来見込み

この計画の対象となる公共施設及び公共インフラの計画期間中の更新・改修費用と維持管理費用に関して、旧計画に定める方針に基づき近年の価格高騰を反映したシミュレーションを行った結果、今後 20 年間の累計では、更新・改修費用が 564.2 億円、維持管理費用が 394.6 億円(狭小な施設を除く)必要という結果となりました(ただし、特別会計である下水道施設は、更新・改修費用からは除いています。)

財政化安定プラン及び今後の収支計画見通しにおいては本計画の対象施設に投資できる限度額を今後 20 年間の累計で更新・改修費用に 378.6(旧数値 80%)億円、維持管理費用に 377.6 億円、と設定しています。

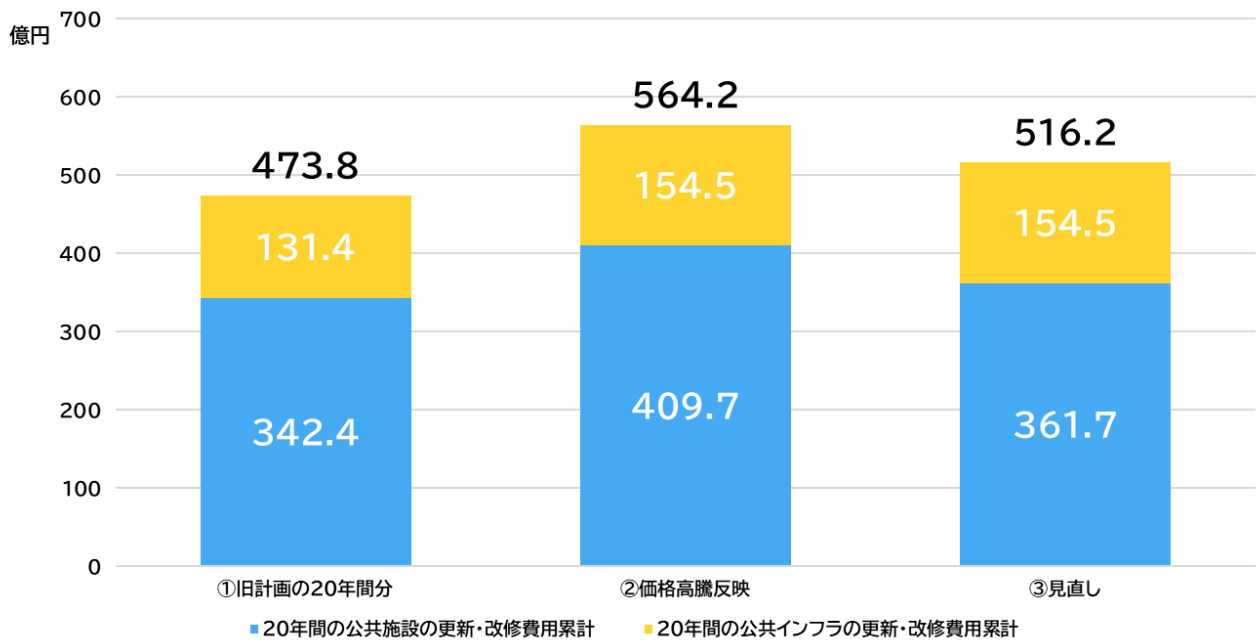
よって、このままでは更新・改修費用で 185.6 億円、維持管理費用で 17.0 億円の財源が不足する試算となり、適切な更新・改修ができないこととなります。

以上のことから、これまでどおり公共施設の規模の適正化等による総量圧縮や年度間費用の平準化、維持管理費用の削減を図るとともに、新たに青本を参照した更新・改修計画(詳細は「第 3 章」及び「第 4 章」参照。)を定め、更なる効率化を図ることとし、今後 20 年間で必要な更新・改修費用を 516.2 億円とします。

それでもなお不足する更新・改修費用 137.6 億円については、更新・改修費用に充当できる補助金や地方債等の更なる財源の確保や公共施設等維持更新基金の繰入等により対応することにより、持続可能なアセットマネジメント計画を実現していきます。

なお、本計画で算出した維持管理費用の削減の必要額については、受益者負担の適正化や民活化などの手法の検討も含めて別途、実施します。

■更新・改修費用の比較



- ① 旧計画の20年間分 : 旧計画にて策定した25年間の計画のうち、令和7(2025)年度からの20年間分の更新・改修費用試算額。
- ② 価格高騰反映 : ①旧計画の20年間分に国土交通省資料²の物価上昇率(約19%)に基づき、現行施設の更新費や改修費等を現時点単価に修正算定した場合の令和7(2025)年度からの20年間分の更新・改修費用試算額。
試算詳細については第1章-4-1(1)に記載します。
- ③ 見直し : ②価格高騰反映した上で、公共施設ごとの規模の適正化等による総量圧縮や年度間費用の平準化(以下、「用途分類別方針の見直し」と言う)の見直しを図った後、令和7(2025)年度からの20年間分について算定した更新・改修費用試算額。
試算詳細については第1章-4-1(2)に記載します。
用途分類別方針の見直しについては、第3章-2-3に記載します。

² 国土交通省. 建設工事費デフレーター(月次). 2024. 1.

4-1 公共施設の事業費の将来見込み

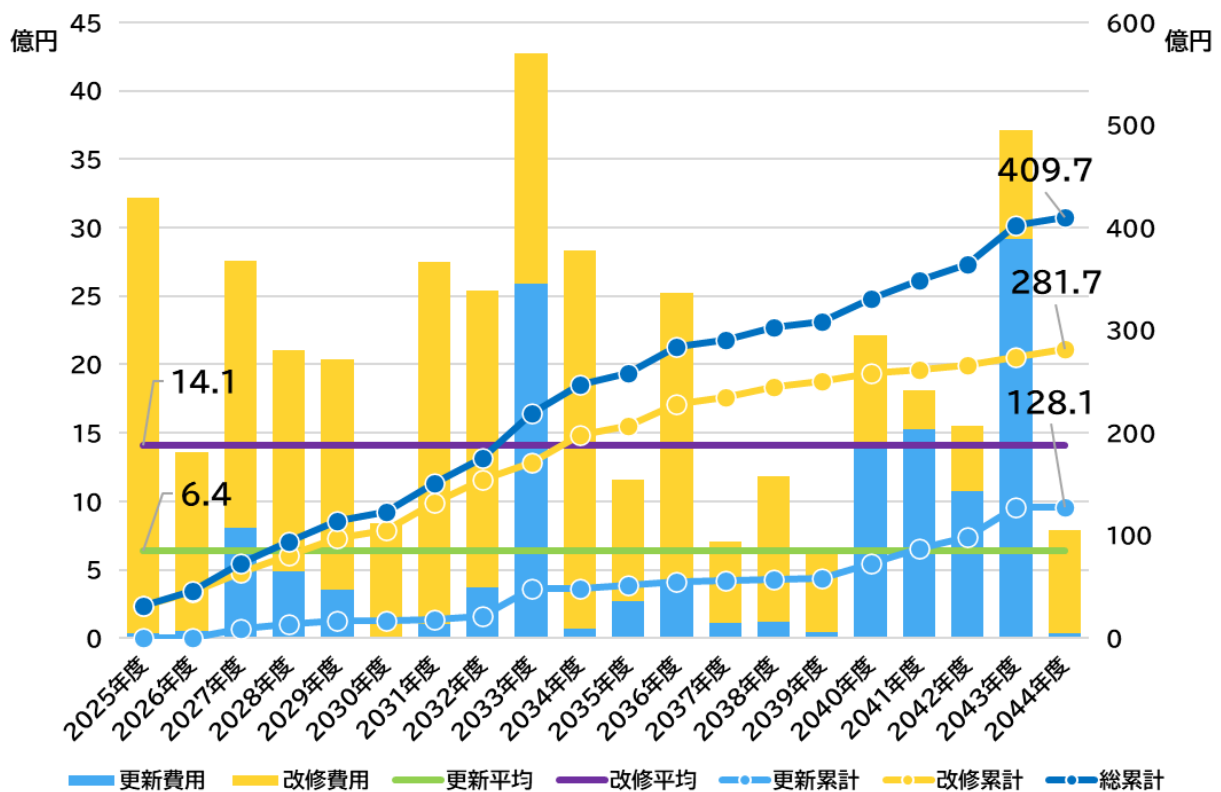
(1) ②価格高騰反映の試算詳細

(ア) 試算条件

1. 旧計画にて策定した 25 年間の計画のうち、令和 7(2025)年度からの 20 年間分の更新・改修費用に、2018 年 4 月～2024 年 1 月期間での物価上昇率を反映します。
2. 旧計画の用途分類別方針のまま試算します。
3. 更新周期は、旧計画で設定した耐用年数とします。

(イ) 試算結果

- ・ 20 年間の更新費用の総額は128.1億円です。
- ・ 20 年間の改修費用の総額は281.7億円です。
- ・ 20 年間の更新・改修費用の総額は409.7億円です。



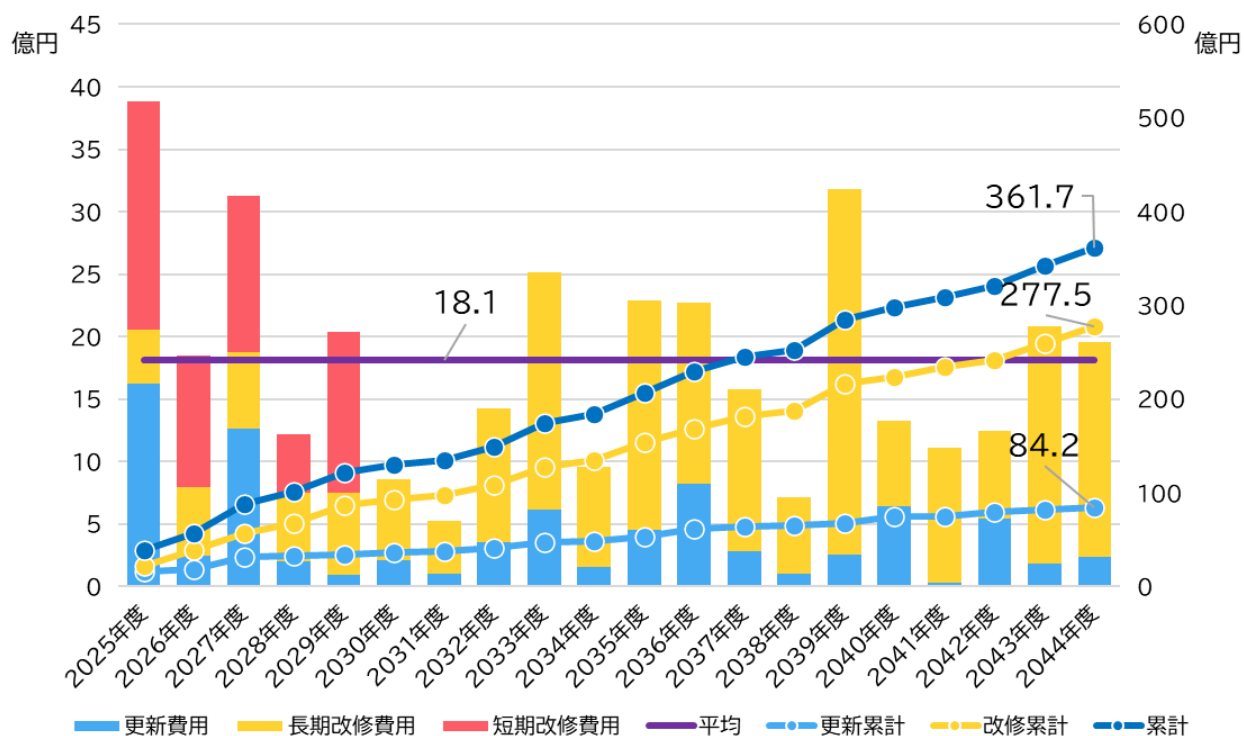
(2) ③見直し

(ア) 試算条件

1. 青本を参照した方法にて試算します。
 2. 本計画の用途別分類方針(耐用年数を含む)を見直した結果を反映します。
 3. 更新周期は、用途分類別方針の見直しに併せて、耐用年数を見直し変更した周期を反映します。
 4. 学校プールの更新・改修費用を追加します。
- ※試算の詳細については第4章に記載します。

(イ) 試算結果

- ・ 20年間の更新費用の総額は84.2億円です。
- ・ 20年間の改修費用(長期改修費用・短期改修費用の合計)の総額は277.5億円です。
- ・ 20年間の更新・改修費用の総額は361.7億円です。



4-2 公共インフラの事業費の将来見込み

公共インフラの更新及び改修については、P113 に示す公共インフラの種別ごとの各単価に基づき、それぞれ積算を行い、計画的に更新・改修を行います。

(1) ②価格高騰反映の試算詳細

(ア) 試算条件

- 旧計画にて策定した 25 年間の計画のうち、令和 7(2025)年度からの 20 年間分の更新・改修費用に、2018 年 4 月～2024 年 1 月期間での物価上昇率を反映します。

(イ) 試算結果

- 20 年間の更新・改修費用の総額は 154.5 億円です。

(2) ③見直し

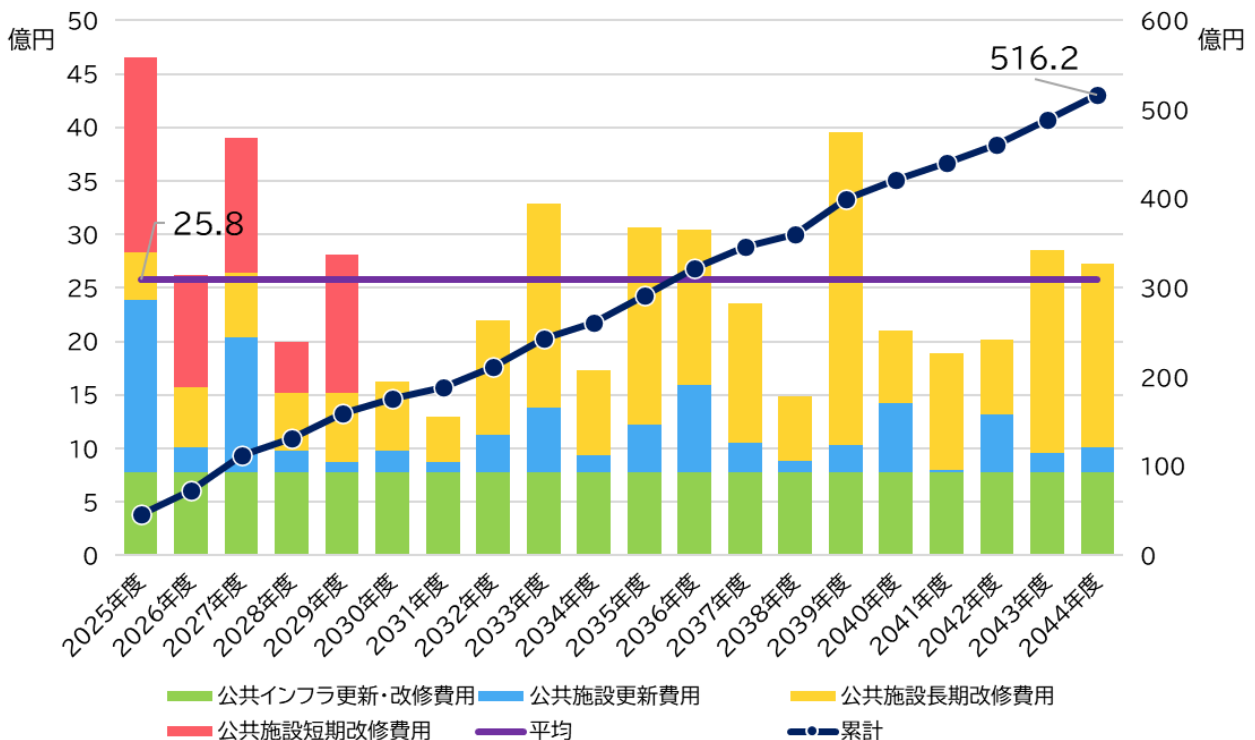
(ア) 試算条件

- 公共インフラの種別ごとの各単価に基づいて、改めて試算します。

(イ) 試算結果

- 20 年間の更新・改修費用の総額は 154.5 億円です。

4-3 公共施設・公共インフラの事業費の将来見込みと将来財政との比較



第 2 章 公共施設等の管理に関する適正化方針

1. アセットマネジメントの目標設定～令和26年度

前述のとおり、今後 20 年間(令和 7(2025)年度～令和 26(2044)年度)の更新・改修費用目標については、財政収支の見通しの中で確保可能とした財源(投資可能一般財源、国県補助金、地方債、公共施設等維持更新基金繰入金)516.2 億円以内に収めることを基本とします。

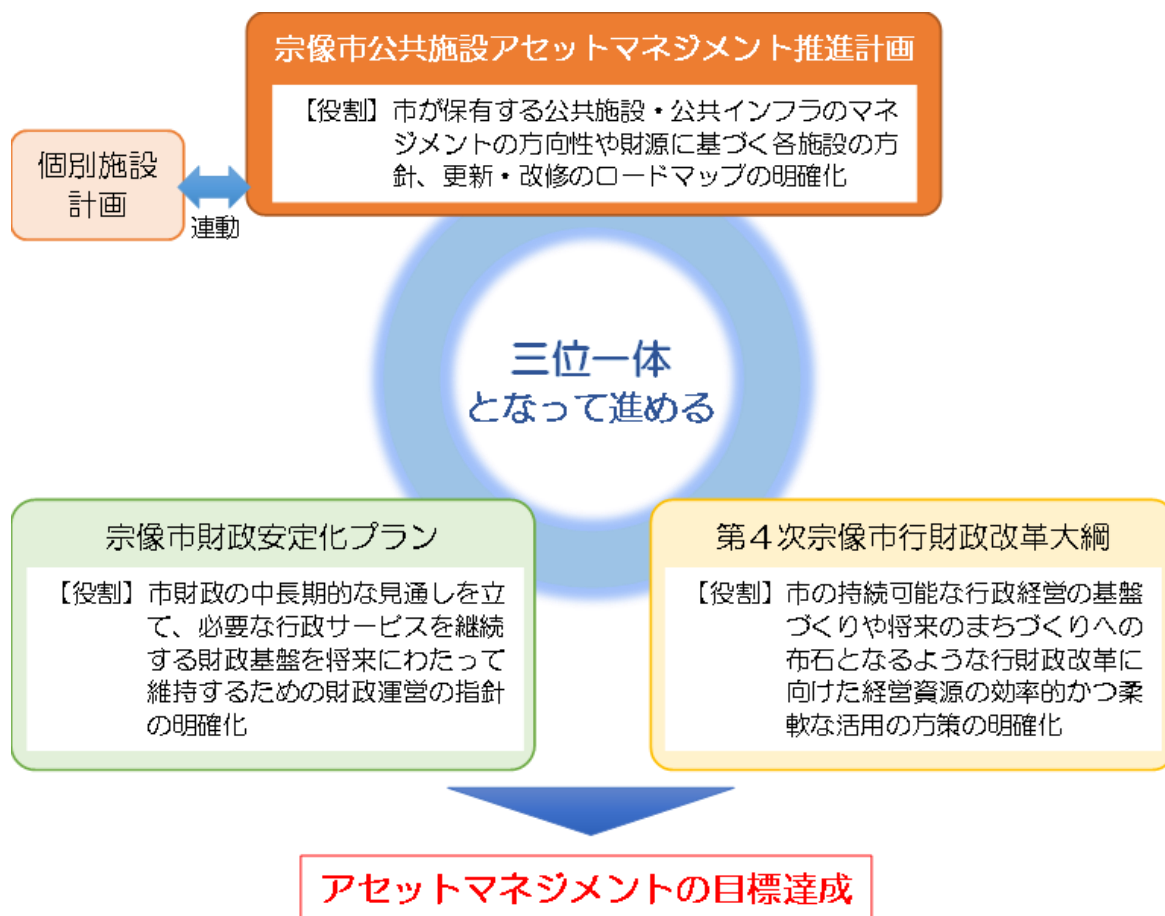
よって、本計画期間内の削減目標は、旧計画に基づくシミュレーション値 564.2 億円と比較して更新・改修費用で 10%の削減とします。

この削減目標を達成するためには、公共施設の保有総量を本計画の計画期間内で 10%圧縮する必要があります。

あわせて、公共施設の更新時期が本計画の最終年度(令和 26(2044)年度)以降に迎えるものがあることから、保有総量の圧縮は施設全体の 20%を最終目標とします。

なお、公共インフラは、保有総量の圧縮が困難なため、予防保全等により施設の長寿命化を図りながら更新年度の平準化や、計画的・効率的な更新・改修を行うこととします。

また、本計画においては、施設別の更新・改修計画による更新・改修時期及び費用を明確にすることを主とした計画とするため、削減目標については、更新・改修費用についてのみを設定することとし、本計画で算出した維持管理費用の削減の必要額については、受益者負担の適正化や民活活の手法の検討も含めて行財政改革大綱に定める方針により実施します。



2. 公共施設等の管理に関する基本方針

これまでに整理した本市の公共施設等の現状や課題、将来見通しを踏まえ、公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針を設定します。

2-1 公共施設の管理に関する基本方針

方針 1. 安全性の確保と長寿命化

公共施設は、住民の福祉の増進等の公共の用に供することを目的に設置された施設であることから、その安全性を最優先に確保することとします。

公共施設は、不特定多数の人々が利用するとともに、災害に対応するための防災機能を兼ね備えてた施設も多くあります。特に、本庁舎は災害対策本部として、学校施設は避難所として重要な役割を担っています。

このような状況を踏まえ、公共施設包括管理委託の中で日常的な修繕や定期的な巡回点検・法定点検を行いながら、その安全性を最優先に確保していきます。

また、今後、多くの公共施設が老朽化に伴う更新時期を迎えますが、その全てに一斉に対応することは不可能です。よって、各公共施設の状態監視を続けながら、それぞれの劣化度に応じた改修等（予防保全、事後保全等）を計画的に実施することにより、トータルコストの縮減・平準化を図りながら、可能な限り長く施設を活用することで、持続可能な施設の維持管理に取り組むこととします。

方針 2. 適正規模・適正配置の推進

本市の公共施設は、合併後に着手した行財政改革によって、重複施設の機能転換等を進め、一定程度の重複施設の解消を終えた状況にあり、以降、保有総量の圧縮は進んでおりません。

しかしながら、将来人口予測に基づく人口減少への対応や将来世代への適正な資産の引き継ぎを達成するためには、トータルコストの縮減が必要であり、結果的に保有総量の圧縮は避けて通れません。

そこで、公共施設の更新にあたっては、社会環境や行政需要、市民ニーズの変化への対応や、今後の人口予測や財政状況を把握し、総合的な判断のもと、施設更新の優先順位付けを行った上で、公共施設の規模を縮小することを基本とするとともに、他の公共施設との集約化※・複合化※等も併せて検討し、公共施設全体で規模の適正化及び適正配置を推進します。

特に、公共施設総面積の約半数を占める学校施設については、建築後 40 年を経過する施設が多くなり、一斉に更新が必要な時期を迎えることになります。

このような状況の中で、多くの公共施設を維持しながら、時代に即した教育環境を提供し続けていくためには、学校施設の整備については、規模の適正化や他施設との複合化について部局横断的に検討しながら、「まちづくりの核としての施設整備」を目指して取り組んでいくことが必要です。

併せて、社会状況の変化等に伴う市民ニーズの変化や施設の利用状況等を考慮しながら、施設の機能転換についても検討を行います。

方針 3. 重点施設への政策的配慮と民間活用の推進

この計画を推進していくにあたって、公共施設における基本方針としては、原則として、前述の基本方針に沿って推進します。

しかし、本市がまちづくりを進めていく上で、戦略的に進める政策を推進するために重要となる公共施設については、防災機能の付加や機能拡張等の個別に必要な措置を講じることとします。

また、民間の技術、知識、ノウハウ、民間のストック施設を活用することによって、提供するサービスの向上並びに営繕、更新・改修にかかる費用の削減が図られる施設については、民間事業者を活用することによる効果と課題や必要性等を総合的に検証した上で、PPP[※]やPFI[※]等の民間活力導入の検討を進めます。

2-2 公共インフラの管理に関する基本方針

方針1. 公共インフラの機能維持及び安全性の確保

公共インフラは、本市の都市化の進展に伴い整備され、平常時のみならず、災害時においても市民生活を支えるために必要不可欠なものとなっています。

公共インフラの劣化が進み、万が一、崩落や陥没等の事故があった場合には、市民の生命の危険につながるおそれもあることから、その安全性を最優先に確保しながら、機能維持を図ります。

このような状況を踏まえ、限られた財源の中にあっても、市民の生命と生活を守るという観点を常に念頭に置きつつ、公共インフラの機能維持、安全性の確保を推進します。

方針2. 公共インフラの適正な維持管理による長寿命化の推進

公共インフラの機能維持を図るために必要な維持管理については、予防保全型への転換を行うことで、長寿命化を推進します。また、公共インフラは市民生活に必要不可欠なものであるため、原則として、総量圧縮は行わないこととします。

ただし、都市機能の集約や居住の誘導を進めることにより、宗像市立地適正化計画に定めるコンパクトなまちづくりが進展し、まちの形態に変化が生じてきたときには、インフラの廃止も含めた総量圧縮の検討を行います。

また、包括管理委託などの効率的な管理手法の導入についても検討を行います。

第3章 公共施設用途分類別方針及びインフラ分野別方針

1. 基本的事項

第2章で述べた公共施設及び公共インフラの適正化に向けた方針に基づき、ここでは、公共施設の用途別及び公共インフラの分野別に現状、課題を整理し、今後のアセットマネジメントの推進についての個別の方針を定めます。

公共施設については、財政不足が生じないように、保有総量の圧縮を前提とし、公共施設の安全性を最優先に確保した上で、施設の更新の際に集約化、複合化、民活化を推進するという考えに基づき各用途分類別に方針を定めます。

公共インフラについては、市民生活を支えるために必要不可欠なものであり、市民の生命と生活を守るという視点から、保有総量の圧縮は行わず、公共インフラの機能維持、安全性の確保を最優先に公共インフラの長寿命化に取り組むという考えに基づき各分野別に方針を定めます。

また、基本方針を踏まえ、公共施設の各用途分類、公共インフラの各分野にかかわらず以下の共通方針に沿って更新・改修、維持管理を進めます。

■公共施設及び公共インフラの共通方針

共通方針	内容
長寿命化	2. 安全性が確保され、コストの縮減が見込める場合は、耐用年数期間内に公共施設及び公共インフラの長寿命化を図る改修を実施することにより、更新時期の延長、財政負担の軽減と平準化を図る。
費用の縮減	3. 従来の機能や利便性を維持しながら更新・改修、維持管理費用の縮減を図る。
予防保全	4. 日常的な点検、劣化診断等に基づき、更新・改修の優先度を設定するとともに、適切な時期に修繕、改修等を実施し、公共施設及び公共インフラの安全性を確保する。
ユニバーサルデザイン	5. 更新・改修の際は、高齢者や障がい者をはじめ誰もが利用しやすい施設となるように利用者のニーズを踏まえる。
脱炭素の実施方針	6. 「第2次宗像市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(令和5年3月策定)」に基づき、公共施設及び公共インフラの更新・改修等の際は、低炭素材料の活用や太陽光発電等省エネルギーに配慮した設備の導入により、CO2 排出量の削減に取り組み、計画的な公共施設等の脱炭素化に向けた取組みを推進します。

2. 公共施設用途分類別方針

2-1 適正化にあたって前提となる考え方

公共施設の規模の適正化にあたっては、基本方針を踏まえ、以下の評価区分を設定します。
この評価区分に基づき各用途分類別に評価を行い、用途分類別方針を設定します。

■評価区分

区分	対象となる施設
現状維持	7. 現有施設を利用し、適切な時期に同一規模で更新・改修を行う施設
集約化	8. 類似した複数施設を1箇所に集約しても現状のサービス水準が低下しないかもしくは向上が見込まれる施設
複合化	9. 提供しているサービス・機能を機能が異なる他施設に集約しても現状のサービス水準が低下しないか、もしくは向上が見込まれる施設
適正化	10. 需要と供給規模が対応する施設の中で将来の需要の減少が見込まれ、更新時に規模縮小を行うことが可能な施設 11. 将来の需要の増加が見込まれ、更新時に規模拡大を行うことが求められる施設
民活化	12. 更新にあたって、PFI等の民間活力の導入により、民間事業者等の資金やノウハウを活用し、施設の建替費用の圧縮及び、公共施設サービスの質の向上を図ることが可能な施設 13. 民間施設のストックを活用することにより、公共施設と同等もしくはそれ以上のサービスが提供される施設
廃止	14. 建設当初の目的を終え、現在機能を停止している、もしくは停止が予定されている施設 ・ 他施設との機能の重複に伴う集約化や、機能が異なる施設への集積に伴う複合化により、必要性が失われる施設 15. 民間施設のストック活用により必要性が失われる施設
譲渡	16. 現在、地域や民間事業者が独自に運営を行っている施設または民間が運営可能と見込まれる施設であって譲渡が可能な施設

2-2 利用区分分類※の設定

公共施設用途分類別方針を定めるにあたっては、公共施設の利用者としての視点が重要となります。

そこで、公共施設を利用する主な利用者の居住区域に着目し、次のとおり、利用区域分類ごとに公共施設を区分し、その利用区域分類ごとに公共施設の考え方を示した上で、方針を定めます。

離島(大島、地島)の施設については、本土の施設とは立地条件が異なるため、個別の事情を考慮し、方針を定めます。

■利用区域分類

広域施設	17. 広く市内外の利用を基本とした施設 18. 原則として、用途別に、市に一施設を配置 19. 施設の更新時は、再配置や廃止(近隣自治体施設の広域利用)、施設機能の集約化を検討
市域施設	20. 主に市全域の利用を基本とした施設 21. 原則として、用途別に、市に一施設の配置とし、複数の施設がある場合や機能が重複する場合は、集約化を推進 22. 施設の更新時は、再配置や廃止(近隣自治体施設の広域利用)、施設機能の集約化、民間ストック施設の活用を検討
学校区域施設	23. 市内小中学校及び学童保育所等が主な対象施設 24. 中学校区域と小学校区域の2段階の区域で構成 25. 小中学校の更新時は、将来の児童・生徒数の推移や学級数の適正規模や施設一体型小中一貫校の整備等を検討。この場合、更新の対象となる小中学校を中心としたコミュニティ範域施設との複合化もあわせて検討 26. 学童保育所の更新時は、原則として、小学校敷地内での更新または小学校との複合化を検討
コミュニティ範域施設	27. 主に地区コミュニティの範域内での地域住民の利用を基本とした施設 28. 原則として、用途に応じて地区コミュニティの範域内に一施設の配置を基本とし、機能向上の視点や将来の利用者需要予測等から施設の集約化、複合化を検討 29. 施設の更新時は、再配置や施設機能の集約化、複合化を検討

※利用区域分類・・・公共施設や公共サービスの主な利用者が居住する区域の範囲をいう。

また、公共施設の用途分類別、利用区域分類別に公共施設を整理すると次のようになります。

■施設分類整理表

	広域施設	市域施設	学校区域施設	コミュニティ圏域施設	
				本土	離島
①行政系施設		宗像市役所、消費生活センター、エコロ館、資源物受入施設×2			大島行政センター
②スポーツ・レクリエーション系施設	大島海洋体験施設(うみんぐ大島)、東部観光拠点施設(街道の駅赤馬館)、地島離島体験交流施設、ふれあいの森総合公園、正助ふるさと村、大島観光休憩所、道の駅むなかた観光物産館、八所宮旧キャンプ場、北斗の水くみ公園	玄海B&G海洋センター、ゲートボール場、弓道場、勤労者体育センター、市民体育館、明天寺野球場、宗像中央公園野球場			大島運動場
③子育て支援施設		障害児通所支援施設「げんきっこくらぶ・ほっぷ」	学童保育所×12		大島へき地保育所
④市民文化・社会教育施設	郷土文化学習交流館(海の道むなかた館)、宗像ユリックス総合公園(宗像ユリックス)、大島交流館、田熊石畑遺跡歴史公園(いせきんぐ宗像)	市民活動交流館(メイトム宗像)、陶芸施設		コミュニティ・センター×11	コミュニティ・センター×1
⑤保健、医療、福祉施設					国民健康保険大島診療所、大島福祉センター(ふれ愛センター)
⑥学校教育系施設			小学校×14、中学校×6、義務教育学校(小・中学校)×1		
⑦市営住宅		市営住宅×12			市営住宅×5
⑧消防施設				格納庫×14(離島含む)	
⑨駅・渡船施設	駅施設×4、渡船ターミナル×2、渡船待合所×2				
⑩その他	かのこの里直売所、一般廃棄物塵芥処理場清掃工場(大島)、狭小な施設×14	旧学校給食共同調理場(旧給食センター)、浄楽苑宗像斎場、鐘崎漁港 高度衛生管理型荷さばき所、狭小な施設×9		狭小な施設×26	旧大島火葬場、旧瀬山団地4号牛舎(肥育仕上前牛舎)、旧中津和瀬団地多々良避難舎、旧大牛団地(牛舎)、狭小な施設×5

■その他 狭小な施設

No.	施設名称	施設区分
1	さつき松原トイレ	広域施設
2	このみ公園附属トイレ	広域施設
3	熊越公園事務所・附属トイレ	広域施設
4	明天寺公園東側附属トイレ	広域施設
5	明天寺公園西側附属トイレ	広域施設
6	かんす海水浴場附属トイレ	広域施設
7	大穂馬頭観音附属トイレ	広域施設
8	地島つばき園附属トイレ	広域施設
9	ホテルの館(ほたる養殖等)附属トイレ	広域施設
10	親水公園多目的附属トイレ	広域施設
11	豊岡白浜椿園附属トイレ	広域施設
12	御嶽山展望所	広域施設
13	(元)地島渡船待合所	広域施設
14	風車展望所	広域施設
15	田久桜公園附属トイレ	市域施設
16	白山登山口附属トイレ	市域施設
17	宗像中央公園附属トイレ	市域施設
18	大井釣川取水操作場	市域施設
19	ダム揚水ポンプ室	市域施設
20	旧働く婦人の家(普通・貸付)	市域施設
21	旧中央公民館第2研修室(普通・貸付)	市域施設
22	大井浄水場(普通・仮倉庫)	市域施設
23	大井配水池	市域施設
24	東郷ポケットパーク附属トイレ	コミュニティ領域施設
25	日の里第7号公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
26	岬公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
27	宗像市河東地区第1水防倉庫	コミュニティ領域施設
28	宗像市赤間地区第3水防倉庫	コミュニティ領域施設
29	河東公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
30	宮田桜公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
31	後曲緑地公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
32	広陵台中央公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
33	自由ヶ丘第14号公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
34	自由ヶ丘中央公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
35	城西ヶ丘第3号公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
36	神湊公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
37	青葉台中央公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
38	泉ヶ丘中央公園附属トイレ	コミュニティ領域施設

No.	施設名称	施設区分
39	朝野中央公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
40	徳重公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
41	日の里第11号公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
42	日の里第4号公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
43	葉山第5号公園附属トイレ	コミュニティ領域施設
44	後曲公園附属トイレ・倉庫	コミュニティ領域施設
45	釈迦院広場トイレ	コミュニティ領域施設
46	中導寺公園附属ポンプ場・トイレ	コミュニティ領域施設
47	大井地区排水機場(普通)	コミュニティ領域施設
48	大井地区多目的広場	コミュニティ領域施設
49	織幡神社周辺トイレ	コミュニティ領域施設
50	椿油精製機保管庫	コミュニティ領域施設●
51	豊岡栈橋操作室	コミュニティ領域施設●
52	大島砲台跡附属トイレ	コミュニティ領域施設○
53	宗像市大島第4水防倉庫	コミュニティ領域施設○
54	元大島行政センター(普通・仮倉庫)	コミュニティ領域施設○

※●…地島、○…大島

※普通…普通財産

2-3 用途分類別方針

公共施設の各用途分類における現状及び課題を踏まえ、更新・改修における用途分類ごとの方針を以下に記載します。

① 行政系施設

1) 庁舎等

対象施設	2 施設 【広域施設】－ 【市域施設】宗像市役所 【学校区域施設】－ 【コミュニティ領域施設】大島行政センター
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市域施設である宗像市役所、コミュニティ領域施設である大島行政センターを設置している。 ・ 旧玄海町庁舎は合併後の行財政改革により、宗像市役所に機能を集約化し、施設は売却済みである。 ・ 各証明書等の交付サービスは、11 地区のコミュニティ・センターやコンビニで(要マイナンバーカード)実施している。 ・ 施設劣化度調査の結果、大島行政センターでは大きな劣化は見られない。 ・ 宗像市役所においては、本館や付属棟の屋根や樋で老朽化が見られる。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両施設とも、土、日、祝日、年末年始を除いた、午前 8 時半から午後 5 時までが利用可能時間である。 ・ 庁舎等の令和 5(2023)年度の維持管理費用は、約 216,035 千円であり、構成比として委託料、次いで使用料及び賃借料が多くを占めている。また、他の分類の施設と比べ、役務費にかかる金額が大きい。

課題

- ・ 宗像市役所については、各棟の劣化状況に応じた改善策の検討が必要である。
- ・ 市域施設である宗像市役所は、その他の行政系施設に分類される市域施設との複合化を検討する必要がある。
- ・ 市域施設である宗像市役所は、文書を保管する倉庫が不足している。

方針

- ・ 宗像市役所長寿命化計画に基づき、老朽化が進んでいる本館の空調設備、付属棟の屋根、樋の改修を順次実施する。
- ・ 更新の際は、市域施設である宗像市役所と消費生活センターや他の市域施設に分類される施設との複合化を検討する。
- ・ 宗像市役所は市の将来人口等を踏まえ、総合的に判断し、更新の際に規模の適正化を検討する。
- ・ 大島行政センターは大島島内の将来人口等を踏まえ、他の大島島内の全ての公共施設との複合化を引き続き検討する。
- ・ 文書を保管する倉庫不足を解消するため、南館を建設し、倉庫機能の集約化を図った。
- ・ 施設の複合化等による維持管理費用の縮減を図るとともに、ソフト面での具体的な削減策を検討する。

2)その他行政系施設

対象施設	4 施設 【広域施設】－ 【市域施設】消費生活センター、エコロ館、資源物受入施設×2 【学校区域施設】－ 【コミュニティ圏域施設】－
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市域施設である消費生活センター等、4 施設を設置している。 ・ 施設劣化度調査の結果、一部施設で外壁等に劣化が見られる。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北側資源物受入施設(駐車スペース 45 台)は毎週水、土、日曜日に開設し、年間約 5 万台の利用がある。 ・ 西側資源物受入施設(駐車スペース 19 台)は毎週水、土、日曜日に開設し、年間約 12 万台の利用がある。 ・ その他行政系施設の令和 5(2023)年度の維持管理費用は、約 146,439 千円であり、構成比として委託料、次いで使用料及び賃借料が多くを占めている。

課題

- ・ 外壁等の劣化について、改善策の検討が必要である。
- ・ 西側資源物受入施設について、駐車スペースの不足から周辺道路に渋滞が発生している。

方針

- ・ 施設劣化度調査の結果に基づき、劣化が見られる施設については、外壁等の全体的な補修時期を明らかにする。
- ・ 更新の際は、集約化、複合化、機能移転を検討する。
- ・ 市域施設である消費生活センターの更新の際は、市域施設である宗像市役所等との複合化を検討する。
- ・ 西側資源物受入施設について、北側資源物受入施設や市役所拠点回収への誘導や事業所等に設置している資源物回収ボックスの充実、コミュニティ・センター等での拠点回収の実施を図りながら混雑の緩和に努めるとともに、施設廃止に向け、集約化を引き続き検討する。
- ・ 市の将来人口等を踏まえ、総合的に判断し、更新の際に規模の適正化を検討する。
- ・ 施設の集約化等による維持管理費用の縮減を図るとともに、ソフト面での具体的な削減策を検討する。

② スポーツ・レクリエーション系施設

1)スポーツ施設

対象施設	<p>8 施設</p> <p>【広域施設】-</p> <p>【市域施設】勤労者体育センター、市民体育館、玄海B&G海洋センター、弓道場、ゲートボール場、明天寺野球場、宗像中央公園野球場</p> <p>【学校区域施設】-</p> <p>【コミュニティ領域施設】大島運動場</p>
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> 市域施設である体育館 3 施設と上記 4 施設、コミュニティ領域施設である大島運動場を設置している。(公園内施設に分類している明天寺野球場、宗像中央公園野球場の 2 施設は、他の公園内のグラウンドと区別し、この分類で整理することとする。) スポーツ・運動の場としては、スポーツ施設のほか、小中学校、コミュニティ・センター、民間施設等がある。 施設劣化度調査の結果、すべての施設において劣化が進んでいる。 宗像中央公園野球場では、令和 3(2021)年に改修が完了している。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設は年間約 18 万人が利用しており、稼働率は非常に高い状況にある。 小中学校の体育館、運動場は年間約 28 万人が利用しており、稼働率は非常に高い状況にある。 スポーツ施設の令和 5(2023)年度の維持管理費用は、約 86,988 千円であり、構成比として委託料が多くを占めている。

課題

- 外壁等の劣化が進んでいる場合は、改善する必要がある。
- 市域施設であるスポーツ施設の内、体育館は複数存在しており、集約化を検討する必要がある。
- スポーツの場の確保・拡充策として、小中学校、大学、民間のスポーツ施設等の活用策を検討する必要がある。

方針

- 施設劣化度調査の結果に基づき、劣化が見られる施設については、外壁等の全体的な補修時期を明らかにする。
- 市内に複数存在する体育館、野球場については、利用状況を踏まえ、規模の適正化を引き続き検討するとともに、体育館については、施設更新の際には施設の集約化を検討する。
- 新たなスポーツ・運動の場の確保・拡充策として、体育館の運営方法の見直し、学校開放施設の開放日の拡大、大学・民間のスポーツ施設の活用、近隣市との相互利用の促進を図る。
- 学校体育館を含むスポーツ施設の将来需要を把握し、長期的なスポーツ施設の規模の適正化を検討する。
- 施設の集約化等による維持管理費用の縮減を図るとともに、ソフト面での具体的な削減策を検討する。

1)レクリエーション・観光施設

対象施設	<p>9 施設</p> <p>【広域施設】道の駅むなかた観光物産館、東部観光拠点施設(街道の駅赤馬館)、大島海洋体験施設(うみんぐ大島)、正助ふるさと村、大島観光休憩所、ふれあいの森総合公園、地島離島体験交流施設、八所宮旧キャンプ場、北斗の水くみ公園</p> <p>【市域施設】-</p> <p>【学校区域施設】-</p> <p>【コミュニティ圏域施設】-</p>
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域施設 9 施設を設置している。「宗像市公共施設白書」にて公園内施設に分類しているふれあいの森総合公園管理事務所、正助ふるさと村の 2 施設は、その設置目的を考慮しこの分類で整理することとする。 ・ 市では観光の振興を政策的に推進しており、道の駅むなかたを観光振興の拠点と位置づけている。 ・ 施設劣化度調査の結果、一部施設で劣化が見られる。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数は道の駅むなかたでは増加傾向、大島観光休憩所では減少傾向にある。 ・ 正助ふるさと村の施設の一部を「子どもの自立サポートセンター『ホープ』」として使用している。 ・ レクリエーション・観光施設の令和 5(2023)年度の維持管理費用は、約 101,335 千円であり、構成比として委託料が多くを占めている。

課題

- ・ 劣化が見られる場合は、それぞれの劣化状況に応じた改善策の検討が必要である。
- ・ 正助ふるさと村の譲渡・廃止の検討にあわせて、今後のホープの運営や機能移転についても検討が必要である。

方針

- ・ 施設劣化度調査の結果に基づき、劣化が見られる施設については、屋根材や外壁等の補修時期を明らかにする。
- ・ 広域施設であるこれらの施設については、利用者数が少ない施設は利用者数増加の取組みを実施するとともに、民活化も含め検討を行う。なお、利用者数が少ない場合や施設更新の際は、施設の廃止や複合化を引き続き検討する。
- ・ 施設の機能移転後の廃止等による維持管理費用の縮減を図るとともに、ソフト面での具体的な削減策を検討する。

③ 子育て支援施設

③子育て支援施設

対象施設	14 施設 【広域施設】－ 【市域施設】障害児通所支援施設「げんきっこくらぶ・ほっぴ」 【学校区域施設】学童保育所×12 【コミュニティ領域施設】大島へき地保育所
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市域施設である障害児通所支援施設「げんきっこくらぶ・ほっぴ」、学校区域施設である学童保育所 12 施設、コミュニティ領域施設である大島へき地保育所を設置している。 ・ 多くの施設が木造である。 ・ 障害児通所支援施設「げんきっこくらぶ・ほっぴ」については、以前は河東小学校の余裕教室を活用していたが、平成 27(2015)年に新たな施設を中央中第2グラウンド横に建設し、その機能を移転している。 ・ 施設劣化度調査の結果、平成 8(1996)年以前の施設を中心に劣化が進んでいる。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育については、全学年を対象として運営している。 ・ 子育て支援施設の令和 5(2023)年度の維持管理費用は、約 265,4293 千円であり、構成比として委託料が多くを占めている。

課題

- ・ 施設の外部、内部の多岐に渡る不具合がある場合は、改善策の検討が必要である。
- ・ 学校施設やコミュニティ領域施設との複合化については検討が必要である。
- ・ 大島へき地保育所について、学校区域施設との複合化については検討が必要である。

方針

- ・ 施設劣化度調査の結果に基づき、劣化が見られる施設については、外部、内部それぞれの補修の時期を明らかにする。
- ・ 更新の際は、学校区域施設である学童保育所については児童数の推移を、コミュニティ領域施設である大島へき地保育所については利用者数推計を考慮し、規模の適正化・集約化を引き続き検討する。
- ・ 学校区域施設である学童保育所は、小学校の教室活用状況等を把握し、原則として、単独ではなく、余剰教室の活用（機能移転）や学校施設との複合化を検討する。
- ・ コミュニティ領域施設である大島へき地保育所は、他の大島島内の公共施設との複合化を引き続き検討する。
- ・ 施設の集約化等による維持管理費用の縮減を図るとともに、ソフト面での具体的な削減策を検討する。

④ 市民文化・社会教育施設

④市民文化・社会教育施設

対象施設	<p>18 施設</p> <p>【広域施設】宗像ユリックス総合公園(宗像ユリックス)、郷土文化学習交流館(海の道むなかた館)、大島交流館、田熊石畑遺跡歴史公園(いせきんぐ宗像)</p> <p>【市域施設】市民活動交流館(メイトム宗像)、陶芸施設</p> <p>【学校区域施設】-</p> <p>【コミュニティ領域施設】コミュニティ・センター×12</p>
施設の状況	<p>【広域施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宗像ユリックス、海の道むなかた館等、4 施設を設置している。 ・ 宗像ユリックスにおける宗像総合市民センターは、市の政策上、文化芸術活動の拠点と位置づけ、広域施設として整備を行った。 ・ 旧玄海町が有していた文化施設アクシス玄海の機能は宗像ユリックスに集約化し、その施設は海の道むなかた館として機能転換し、活用をしている。 ・ 宗像ユリックスでは、計画的な改修を進めている。 ・ アクアドーム(宗像ユリックス内室内温水プール)では、施設・設備の劣化が見られる。 <p>【市域施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メイトム宗像、陶芸施設を設置している。 ・ メイトム宗像は、保健福祉施設に市民活動の拠点機能等を付加した複合化施設として設置している。 ・ 単独施設としての図書館は存在しないが、宗像ユリックス、メイトム宗像、海の道むなかた館、河東地区コミュニティ・センターの 4 施設が図書館機能を付加しており、既に施設の複合化が図られている。 ・ 図書館サービスの充実として、コミュニティ・センターでの貸出しや返却サービスを実施・拡大している。 <p>【コミュニティ領域施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・センター12 施設を設置している。 ・ 市民協働のまちづくりを推進するという市の政策上、地域活動の拠点として市内 12 地区にコミュニティ・センターの整備を行った。 ・ 施設劣化度調査の結果、各施設で劣化が見られる。
利用・運営状況	<p>【広域施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宗像ユリックスは市民だけでなく周辺市町村からの利用も多く、海の道むなかた館も市外からの利用が多く、観光客の立ち寄り利用も見られる。 ・ 宗像ユリックスは利用者数が増加・回復傾向にあり、稼働率は部屋ごとにばらつきが大きい。 <p>【市域施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メイトム宗像及び宗像ユリックス内の図書館本館は市全域からの利用があり、3 つの図書館分館においては周辺地域からの利用が多い。 ・ メイトム宗像は利用者数が増加傾向にある。 ・ 施設の稼働率は、施設の部屋ごとにばらつきが大きい。 <p>【コミュニティ領域施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・センターは地域活動の拠点・生涯学習の場として当該コミュニティ領域内居住者中心に利用されている。 <p>【維持管理費用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民文化・社会教育施設の令和 5(2023)年度の維持管理費用は、約 613,771 千円であり、構成比として委託料が多くを占めている。

課題

【広域施設】

- ・ 宗像ユリックス、海の道むなかた館は、市内だけでなく周辺地域における施設利用者数を増加させる必要がある。
- ・ アクアドームは、スポーツ施設である体育館等の更新方針や学校水泳授業の見直しと併せて今後の整備方針を明らかにする必要がある。

【市域施設】

- ・ 図書館施設は複数に分散しており、各館の施設・機能のあり方を明らかにする必要がある。
- ・ 現在、コミュニティ範囲施設であるコミュニティ・センターでの図書館サービス拡充を行っており、地域に密着した図書館機能としてさらに充実させる必要がある。

【コミュニティ範囲施設】

- ・ コミュニティ・センターに劣化が見られる場合は、それぞれの劣化状況に応じた改善策の検討が必要である。

方針

【広域施設】

- ・ 施設における機能・サービスを充実させ、広域利用を引き続き推進する。
- ・ 施設の将来的な利用状況を踏まえ、更新の際に規模の適正化・複合化や機能転換を検討する。

【市域施設】

- ・ メイトム宗像の更新の際は、市の将来人口等を踏まえ、総合的に判断し、規模の適正化・複合化を検討するとともに、施設が有する機能についても利用ニーズや社会状況等から総合的に検討を行う。
- ・ 図書館のサービスのあり方の検討にあわせ、長期的に利用できる各館の施設・機能のあり方を引き続き検討する。
- ・ 陶芸施設は、利用状況を加味した上で、廃止及び機能移転の必要性を検討する。

【コミュニティ範囲施設】

- ・ 包括管理委託で実施する施設劣化度調査の結果に基づき、センターごとの改修計画の策定と計画的な改修を実施し、施設の最大限の長寿命化を図る。
- ・ 各地区のコミュニティ・センターの更新の際は、各地区の将来人口等を踏まえ、規模の適正化及びコミュニティ範囲内の公共施設との複合化を検討する。また、コミュニティ範囲内の公共施設間でのスペースの共有、移転や民間施設の活用など、各地区の状況に柔軟に対応した規模の適正化についても検討する。
- ・ 大島地区コミュニティ・センターは、他の大島島内の公共施設全体での複合化を検討する。また、島内の公共施設の利用状況を把握し、施設の相互利用を図ることで、特に島内住民の利便性向上に取り組む。

【維持管理費用】

- ・ 施設の複合化等による維持管理費用の縮減を図るとともに、ソフト面での具体的な削減策を検討する。

⑤ 保健、医療、福祉施設

⑤保健、医療、福祉施設

対象施設	2 施設 【広域施設】－ 【市域施設】－ 【学校区域施設】－ 【コミュニティ領域施設】国民健康保険大島診療所、大島福祉センター(ふれ愛センター)
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ領域施設である大島診療所、大島福祉センターを設置している。 ・ 行財政改革に伴い、一部の福祉施設は、民間譲渡及び廃止を行った。 ・ 施設の民間譲渡及び廃止の際には、保健・医療・福祉の各サービスのあり方の検討が進められており、既に規模の適正化が行われている。 ・ 施設劣化度調査の結果、全施設で劣化が見られる。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大島診療所の利用者数は年度により増減があり、大島福祉センターの貸館利用者数はほぼ横ばいで推移している。 ・ 大島福祉センターでは、介護サービス(デイサービスや配食サービス等)が毎日実施されている。 ・ 保健、医療、福祉系施設の令和 5(2023)年度の維持管理費用は、約 30,926 千円であり、構成比として委託料が多くを占めている。

課題

- ・ 劣化が見られる場合は、それぞれの劣化状況に応じた改善策の検討が必要である。
- ・ 大島福祉センターは、介護サービス実施のため、貸館として利用できる時間帯が限定されている。
- ・ 大島地区での在宅生活を継続するために、引き続き、大島福祉センターにおける介護サービスの実施が必要である。

方針

- ・ 施設劣化度調査の結果に基づき、劣化が見られる施設については、外壁、屋上等の補修の時期をそれぞれ明らかにする。
- ・ 更新の際は、大島診療所及び大島福祉センターと他の大島島内の公共施設との複合化を検討する。
- ・ 施設の複合化等による維持管理費用の縮減を図るとともに、ソフト面での具体的な削減策を検討する。

⑥ 学校教育系施設

⑥学校教育系施設

対象施設	21 施設 【広域施設】－ 【市域施設】－ 【学校区域施設】小学校×14、中学校×6、義務教育学校(前期課程・後期課程)×1 【コミュニティ圏域施設】－
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校区域施設である小学校 14 施設、中学校 6 施設、義務教育学校(前期課程・後期課程)1 施設を設置している。 ・ 小規模校、大規模校が混在している。 ・ 施設劣化度調査の結果、1970～1980 年前半に建設された施設を中心に劣化が進んでいる。 ・ 建物または敷地の一部が土砂災害(特別)警戒区域に指定されている学校がある。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒数及び学級数は現在微増傾向にあり、2030 年頃をピークにその後は減少に転じることが見込まれている。 ・ 大規模校では体育館や特別教室の利用に際して調整等が必要な状況がある一方、小規模校では 6 年間クラス替えがなかったり、複式学級が存在したりしている。 ・ 規模にばらつきはあるものの、各学校では規模に応じて工夫しながら教育活動を行っている。 ・ 玄海小学校、玄海東小学校、地島小学校、大島学園を除くすべての小学校で、民間施設を活用した水泳授業を実施している。 ・ 体育館や運動場などを一般開放している。 ・ 学校教育系施設の令和 5(2023)年度の維持管理費用は、約 672,236 千円であり、構成比として委託料、次いで光熱水費等が多くを占めている。

課題

- ・ 将来の児童・生徒数を踏まえて学校規模による教育活動への影響を勘案し、通学区域の見直しや、集約化・複合化も含めて適正化を検討する必要がある。
- ・ 劣化が著しい施設については、それぞれの劣化状況に応じた改善策の検討が必要である。
- ・ 一部の学校において学級数の増加(特に特別支援学級)により、教室が不足している。

方針

- ・ 「宗像市学校施設長寿命化計画」を策定し、改築、改修の優先度を決定し、それぞれの状況に応じた改築、改修の内容及び時期を明らかにする。
- ・ 学校施設の整備については、文部科学省の学校施設整備指針にある「まちづくりの核としての施設整備」を目指して、更新及び大規模改修の際に、学校の規模・配置の適正化を図りながら、学校区域施設である学童保育所やコミュニティ圏域施設に分類される公共施設との複合化を引き続き検討する。
- ・ 教室数不足を解消するために、教室活用状況等を把握し、空きスペース等の活用も検討する。
- ・ プール及びプール専用付属棟については、民間活用の状況を踏まえて、適正化(集約化、廃止を含む)を検討する。
- ・ 給食施設については、校舎の更新時期とあわせて適正規模・適正配置を検討する。
- ・ 施設の集約化等による維持管理費用の縮減を図るとともに、ソフト面での具体的な削減策を検討する。

⑦ 市営住宅

⑦市営住宅

対象施設	20 施設 【広域施設】－ 【市域施設】市営住宅×12 【学校区域施設】－ 【コミュニティ圏域施設】市営住宅×5
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市域施設 17 施設を設置している。 ・ 市営住宅の他に、大規模な都市再生機構の賃貸住宅が存在する。 ・ 市営住宅のストック長寿命化及び点検強化、早期修繕による更新コストの削減のため、令和 3(2021)年度に公営住宅等長寿命化計画を策定している。 ・ 長寿命化計画の策定の際にすべての市営住宅において劣化状況調査を実施し、団地別・住棟別の状況をまとめた団地カルテを作成した。 ・ 長寿命化計画を令和 3(2021)年度に改定し、一般住宅ストック活用計画との統合を実施している。 ・ 今門団地、桜町団地、平原団地については、特に老朽化が著しい。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居率は 80.2%である。(令和 6(2024)年 10 月 31 日現在) ・ すべての施設が直営である。 ・ 市営住宅の令和 5(2023)年度の維持管理費用は、約 36,354 千円であり、構成比として委託料が多くを占めている。

課題

- ・ PPP/PFI 事業及び民間借上について、継続的な検討が必要である。
- ・ 建替検討対象となる建物の内、計画期間内に過半数の建物が耐用年限を経過するため、劣化状況に応じた改善策の検討が必要である。

方針

- ・ 劣化状況や相対的な優先度等を踏まえた「宗像市公営住宅等長寿命化計画」を策定する。
 - ・ 入居者の世帯構成員数が減少している状況を考慮し、適正規模での型別供給(※)を行う等、総量の適正化を図る。
 - ・ 居住者にとって安心して暮らすことができ、利便性の向上が図られる場合は、更新の際に小規模な市営住宅等の集約化を検討する。
 - ・ 都市再生機構の住宅や民間の賃貸住宅のストックの有効活用を検討し、居住の安定確保を図る。
 - ・ 更新の際は、PPP/PFI 事業及び民間借上等の民間活用を含め、様々な方策について検討する。
 - ・ 長寿命化計画は、今後の事業の進捗状況、社会経済状況の変化に応じて、適宜見直しを行う。
 - ・ 施設の統廃合や規模縮小による維持管理費用の縮減を図るほか、ソフト面での具体策を検討する。
- ※型別供給とは、家族の人数や構成に応じた居室構成、面積規模の住居を供給することをいう。

⑧ 消防施設

⑧消防施設

対象施設	14 施設 【広域施設】－ 【市域施設】－ 【学校区域施設】 【コミュニティ領域施設】格納庫×14(離島含む)
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ領域施設 14 施設のうち、8 施設が築後 30 年を経過している。 ・ 市と県の職員で運営する機能別合同分団の格納庫は庁舎に含まれる。 ・ 大島である第15・16分団格納庫は宗像地区消防本部より借用している。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5(2023)年の宗像市での火災出動 48 回、風水害等での出動を 19 回行っている。 ・ 各分団での月 2 回の訓練に加えて、令和 5(2023)年には宗像市消防団全体での訓練を 7 回実施している。 ・ 消防施設の令和 5(2023)年度の維持管理費用は、約 7,544 千円であり、構成比として使用料及び賃借料、次いで委託料が多くを占めている。

課題

- ・ 今後、定期的な点検等で各施設の劣化状況を把握する必要がある。
- ・ 消防団活動を実施するためには、施設がある場所と施設周辺において大雨時水没しないこと。そして、消防団格納庫が市内に分散されており、市内のどこの場所においても迅速に現場出動できる体制を確保する必要がある。

方針

- ・ 今後、定期的な点検等の結果に基づき、補修の時期を明らかにする。
- ・ 消防団活動に支障がない上での、集約化・複合化を検討する。
- ・ 施設の集約化等による維持管理費用の縮減を図るとともに、ソフト面での具体的な削減策を検討する。

⑨ 駅・渡船施設

⑨ 駅・渡船施設

対象施設	<p>8 施設</p> <p>【広域施設】駅施設×4、渡船ターミナル×2、渡船待合所×2</p> <p>【市域施設】-</p> <p>【学校区域施設】-</p> <p>【コミュニティ圏域施設】-</p>
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅施設 4 施設、渡船ターミナル 2 施設、渡船待合所 2 施設を設置している。 ・ 施設劣化度調査の結果、一部施設で劣化が著しい。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅・渡船施設の令和 5(2023)年度の維持管理費用は、約 46,215 千円であり、構成比として委託料が多くを占めている。

課題

- ・ 劣化が見られる場合は、それぞれの劣化状況に応じた改善策の検討が必要である。

方針

- ・ 施設劣化度調査の結果に基づき、劣化が見られる施設については、施設の改修時期を明らかにする。
- ・ 維持管理費用の縮減に向け、具体策を検討する。

⑩ その他施設

⑩その他施設

対象施設	<p>63 施設</p> <p>【広域施設】かのこの里直売所、旧一般廃棄物塵芥処理場清掃工場(大島)、狭小な施設×14</p> <p>【市域施設】旧学校給食共同調理場(旧学校給食センター)、浄楽苑宗像斎場、狭小な施設×9</p> <p>【学校区域施設】-</p> <p>【コミュニティ領域施設】旧大島火葬場、旧瀬山団地4号牛舎(肥育仕上前牛舎)、旧中津和瀬団地多々良避難舎、旧大牛団地(牛舎)、狭小な施設×31</p>
施設の状況	<ul style="list-style-type: none"> 施設劣化度調査の結果、一部施設で劣化が著しい。
利用・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> 大島火葬場は令和2年度に用途廃止した。 瀬山団地4号牛舎(肥育仕上前牛舎)及び大牛団地(牛舎)は用途廃止し、民間活用を行っている。 中津和瀬団地多々良避難舎は用途廃止し、解体までの間、安全管理を行っている。 かのこの里直売所の令和5(2023)年度の維持管理費用は、約2,200千円であり、その全額を使用料及び賃借料が占めている。 浄楽苑宗像斎場の令和5(2023)年度の維持管理費用は、約60,898千円であり、構成比として委託料が多くを占めている。

課題

- 劣化が見られる場合は、それぞれの劣化状況に応じた改善策の検討が必要である。
- 離島に立地しているコミュニティ領域施設については、劣化状況や離島振興を加味しながら、将来的な方向性を決定する必要がある。

方針

- 施設劣化度調査の結果に基づき、劣化が見られる施設については、施設の改修時期を明らかにする。
- 市域施設である宗像斎場は、年間火葬需要の推計に基づき、総合的に判断し、更新の際には適正な規模とする。
- 離島に立地するコミュニティ領域施設について、旧瀬山団地4号牛舎及び旧大牛団地(牛舎)の2施設は、引き続き民間活用を実施する。
- 施設の機能移転後の廃止等による維持管理費用の縮減を図るとともに、ソフト面での具体的な削減策を検討する。

3. 公共インフラ分野別方針

公共インフラの各分野における現状及び課題を踏まえ、更新・改修における分野ごとの方針を以下に記載します。

① 道路

①道路

インフラの状況	<ul style="list-style-type: none"> 道路延長は 1,037.1 km、道路部面積は 5,410,613 m²である。 市道の舗装率は 81.1%である。 計画的な維持管理のため、令和 4(2022)年度に舗装の個別施設計画を策定している。
需要・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> 市民に身近な生活道路の舗装要望は増加傾向にある。

課題

- 劣化状況の把握のため、定期点検の実施が必要である。
- 災害対応において重要な役割を果たす道路(緊急輸送道路につながる重要幹線道路、避難所へのアクセス道路等)の舗装に傷みがある場合は、優先的に補修する必要がある。
- 道路の更新にあたっては高齢者をはじめとして多様な利用者を想定した整備が必要となっている。

方針

- 策定済みの舗装の個別施設計画を基本に維持管理を行う。
 - 以下の点を踏まえ優先度を考慮し、補修を実施する。
 - ① 道路舗装の劣化状況(管理状態による緊急対応の必要性)
 - ② 災害対応における重要性
 - ③ 生活・産業における動線上の重要性
 - 歩道を更新する際は、セミフラット形式等を検討し、段差を緩和した安全・安心な歩行者空間を確保する。
- ※セミフラット形式とは、歩道面を車道面より高く、かつ縁石天端高さより低くする構造のことをいう。

② 橋梁

②橋梁

インフラの状況	<ul style="list-style-type: none">・ 跨線橋・跨道橋は 11 橋、1・2 級市道の橋・橋長 15m 以上の橋・橋長 5m 以上でバス路線は 130 橋、橋長 5m 以上 128 橋、その他 276 橋であり、総橋長は 3,859.77mである。・ 橋梁の多くは昭和 45 年代までに架設したものが多く、今後老朽化対策が必要となってくる。・ 5 年間で 65 橋の改修を実施した。・ 計画的な維持管理のため、令和 4(2022)年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定している。
需要・運営状況	<ul style="list-style-type: none">・ 長寿命化計画の策定の際にすべての橋梁において劣化状況調査を実施し、健全度の評価を行った。

課題

- ・ 劣化状況の把握のため、定期点検の実施が必要である。
- ・ 災害対応において重要な役割を果たす橋梁(緊急輸送道路及びそこにつながる重要幹線道路上に架かる橋梁等)に劣化が見られる場合は、優先的に補修する必要がある。
- ・ 橋梁の更新にあたっては高齢者をはじめとして多様な利用者を想定した整備が必要となっている。

方針

- ・ 策定済みの橋梁長寿命化修繕計画を基本に引き続き維持管理を行う。
- ・ 以下の点を踏まえ優先度を考慮し、段階的に補修を実施する。
 - ① 橋梁の劣化状況(損傷の程度による緊急対応の必要性)
 - ② 災害対応における重要性
 - ③ 生活・産業における動線上の重要性
- ・ 歩道のある橋梁の更新をする際は、バリアフリー化等により安全・安心な歩行者空間を確保する。
- ・ 定期点検結果や対策実施における詳細調査の結果を基に、長寿命化修繕計画の橋梁データを最新のものに随時更新する。

③ 公園

③公園

インフラの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 188 公園を設置しており、総面積は 167.2ha である。 ・ 総合公園が 3 園(90.7ha)、地区公園が 2 園(9.7ha)、近隣公園が 14 園(31.8ha)、街区公園が 102 園(21.6ha)、幼児公園が 40 園(1.7ha)ある。 ・ 計画的な維持管理のため、平成 25(2013)年度に公園施設長寿命化計画を策定している。
需要・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合公園は、野球場や多目的グラウンド等の運動機能を含む多様な機能を持ち、市全域からの利用を中心に、広域利用も見られる。 ・ 地区公園、近隣公園、街区公園は、主に徒歩圏内に居住する人の利用が見られる。 ・ 高齢化による利用者層の変化に伴い、市民参画による公園リニューアルのワークショップを実施している。

課題

- ・ 多世代の人が利用できる公園や防災機能を備えた公園等、公園の機能が多様化している。
- ・ 一時的な避難場所として、周辺の住民にとっての防災上の機能を確保する必要がある。

方針

- ・ 策定済みの公園施設長寿命化計画を基本に引き続き維持管理を行う。
- ・ 多世代の利用や防災機能等に配慮した公園再整備を引き続き行う。
- ・ 近隣公園、街区公園の再整備の際には、近隣住民とのワークショップ等を通じてリニューアルの方針を決定する。
- ・ 引き続き年 1 回の定期点検(遊具、設備)及び 5 年に 1 回以上の健全度調査(一般施設、土木構造物、建築物)を実施し、その結果と現計画の内容に乖離がある場合は、長寿命化計画の見直しを行う。

④ 漁港施設

④漁港施設

インフラの状況	<ul style="list-style-type: none">・ 神湊漁港、鐘崎漁港、地島漁港(泊地区、豊岡地区)を設置している。・ 大島漁港、沖ノ島漁港は福岡県が設置、管理を行っている。・ 鐘崎漁港整備は令和 6(2024)年度に完了予定である。・ 平成 22(2010)年度に策定された漁港施設機能保全計画に基づく機能保全工事は鐘崎地区を除き、完了している。・ 現在、平成 30(2018)年度に策定した鐘崎地区の漁港施設機能保全計画に基づき機能保全工事を実施している。
需要・運営状況	<ul style="list-style-type: none">・ 鐘崎漁港 196 隻、神湊漁港 46 隻、地島漁港 56 隻の漁船が常時利用している状態である(令和 5(2023)年度現在)。・ 神湊漁港、地島漁港では離島航路の渡船(フェリー、高速船)の利用がある。・ 神湊漁港では約 70 隻のプレジャーボートの係留施設としても利用されている。

課題

- ・ 水産基盤施設機能保全計画に基づき漁港施設の長寿命化を目指し保全工事を実施しているが、管理区域内すべての施設の更新計画は未策定である。

方針

- ・ 策定済みの水産基盤施設機能保全計画の見直しを行い、施設の長寿命化、費用の平準化を図る。
- ・ 管理区域内すべての施設において、予防保全を念頭に適切な維持管理を行う。

⑤ 下水道施設(処理施設、管路)

④下水道施設

インフラの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管路延長:公共下水道は 599.5 km、漁業集落排水は 9.1 kmである。 ・ 処理施設 4 箇所、汚水中継ポンプ場 7 箇所、雨水排水ポンプ場 3 箇所、その他マンホール形式ポンプ施設 85 箇所が稼働している。(離島を含む) ・ 公共下水道は昭和 45(1970)年の供用開始から 53 年経過、漁業集落排水については大島地区が平成元(1989)年から 34 年経過、地島地区が平成 14(2002)年から 21 年が経過している。 ・ 老朽化対策のため、管路施設については公共下水道、また処理施設については公共下水道、漁業集落排水の長寿命化計画(漁業集落排水は機能保全計画)を策定し、平成 28(2016)年度から改築事業に着手し、地島地区を除いて令和 2(2020)年度に終了する見込みである。
需要・運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道普及率(漁業含む)は 99.4%に達しており、水洗化率も 99.0%で離島を含めてほぼ市内全域で下水道が普及し利用されている。 ・ 漁業集落排水施設である鐘崎下水処理場を中継ポンプ場に改築し、令和 2(2020)年度より公共下水道に接続済みである。 ・ 宗像浄化センター(し尿処理場)の老朽化により廃止し、令和 6(2024)年 4 月から市内のし尿・浄化槽汚泥を宗像終末処理場で受入れている。

課題

- ・ 更新時期が重複することが見込まれており、財政負担平準化のため、更新時期を調整する必要がある。
- ・ 管路施設は、耐用年数 50 年を超える施設が増加してくることから、老朽化対策及び道路陥没等の事故を未然に防止するために予防保全の実施が必要である。
- ・ 処理施設は、平成 17(2005)年度から計画的に改築事業を行ってきたが、機械・電気設備は改築サイクルが土木・建築に比べて短く、改築事業の継続が必要である。
- ・ 宗像終末処理場の大部分は平成 10(1998)年度以前に設計された施設であるため、耐震診断(H27~29)の結果、耐震性能を有しておらず地震対策が必要である。
- ・ 施設の老朽化及び地震対策により、改築費用の増大が見込まれ污水处理原価が増大し、経営悪化が懸念される。

方針

- ・ 公共下水道については、令和 4(2022)年度に策定した経営戦略のもと、増大する改築需要に対応するため、ストックマネジメント計画により改築更新費用を平準化しながら、点検・調査、修繕・改築を実施して、計画的かつ効果的な施設管理を行う。
- ・ 宗像終末処理場の老朽化対策及び耐震補強には莫大な費用が必要であることから、下水道ビジョンに基づき、更新の検討を進める。
- ・ 漁業集落排水についても令和 4(2022)年度に策定した経営戦略のもと、予防保全を念頭にした施設管理を行う。また、地島地区は人口減少が続いていることから、人口動向を注視し、既存施設の延命を図りながら整備方針を決定していく。

第4章 公共施設・公共インフラの更新・改修計画

1. 公共施設の更新・改修計画

1-1 施設別方針の設定

更新方針の設定にあたっては、基本的にすべての施設において長寿命化を図ることを前提とし、適切な改修、維持管理の上、法定耐用年数を超えた利用を行います。なお、評価が「廃止」の施設で、現在の利用状況や維持管理コストを踏まえて長寿命化を図らないほうが良いと判断される場合(集約化・複合化により機能を移転する施設を含む)は、改修を行わず、廃止時期にあわせて解体することを基本とします。

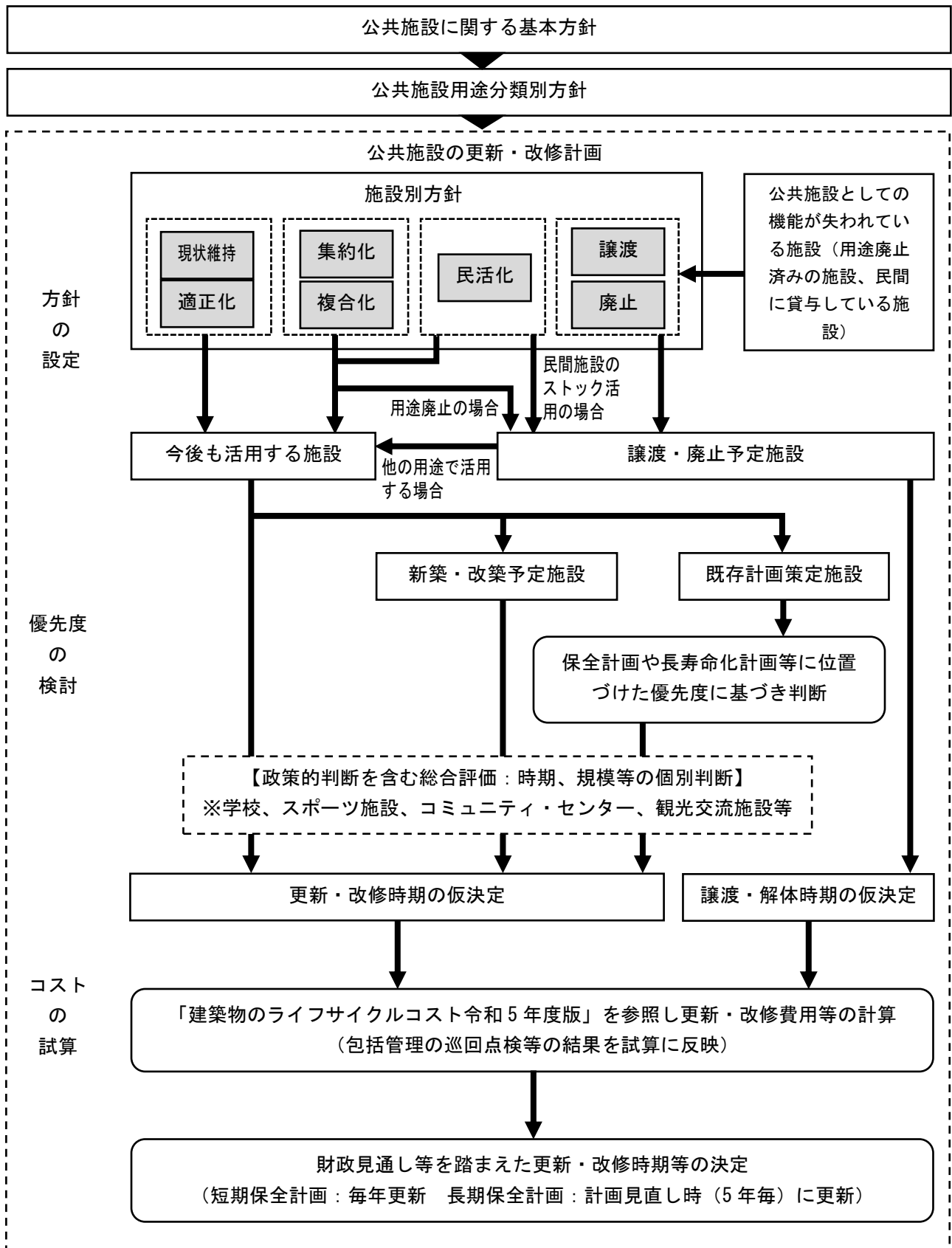
改修方針の設定にあたっては、包括管理の専門技術者による建物の劣化度評価や個別施設計画(長寿命化計画等)に位置づけた優先度等を踏まえ改修の優先順位を明らかにし、政策的判断を含む総合評価の上で、施設の長寿命化に資する改修を行います。

なお、更新・改修計画はあくまでも現時点の見込みであり、施設の機能維持、安全確保等のために更新・改修が必要になった場合は、更新・改修計画を見直し、緊急度の高い施設を優先して更新・改修を行います。また、すべての施設において集約化、複合化、民活化等の方針が決定した場合は更新・改修計画の見直しを行います。

■更新・改修費用の概要

更新費用		耐用年数を迎えた年度の建物毎に、既存建物規模での「使用終了時コスト」を試算した上で、更新される建物は施設別方針に基づく建物規模での「建設コスト」を試算し、個別施設毎に積上げた費用
改修費用	長期改修費用	使用期間中の建物の老朽化に伴い必要となる屋根・外壁などの大規模な改修費用や設備機器・エレベーターなどの更新費用を、青本に設定された計画改修周期・単価を使用して建物毎に試算し、個別施設毎に積上げた長期的な費用
	短期改修費用	建物の老朽化に伴い既に著しい劣化状況にあると評価され、かつ速やかに(5年以内)に対応する必要がある部位の改修費用を青本の計画改修単価を用いて建物毎に試算し、個別施設毎に5年間の費用として積上げた費用

■公共施設の更新改修計画検討の流れ



1-2 更新費用の試算

更新費用は、下記①～③の更新周期及び床面積縮減率・モデル建物ごとの「建設コスト」、「使用終了時コスト」を使用し、令和7年(2025年)から令和26年(2044年)までの建物の更新費用を試算します。

主な試算方法については、資料編「1. 公共施設更新・改修費用の試算方法」に記載します。

① 更新周期の設定

更新周期の設定では、建物の更新周期を旧計画同様の耐用年数に設定します。

■建物構造体ごとの更新周期

構造体	内容	耐用年数		更新金額
		標準	長寿命化	
RC造	鉄筋コンクリート造	50	70	各モデル建物の更新金額に設定
S造	鉄骨造	38	50	
LS造	軽量鉄骨造	22	30	
W造	木造	22	44	
簡二造	簡易耐火造2階建て	45	55	
簡平造	簡易耐火造平屋建て	30	40	
その他	コンクリートブロック造等	38	50	

※宗像市学校施設長寿命化計画において、義務教育系施設は、長寿命化後耐用年数(RC造・S造)を80年とする。

② 施設の評価区分による延床面積の縮減

長寿命化を図った公共施設の更新にあわせ、施設別方針の評価区分による延床面積の縮減率を見込んだ試算を行います。なお、縮減率は以下に示す数値を延床面積の縮減目標として設定します。

■施設別方針の評価区分ごとの延床面積の縮減率

評価区分	床面積縮減率	備考
現状維持	—	現状と同一規模での更新を想定
集約化	▲50%	類似した複数施設を1箇所に集約する場合、統合前の施設の1/2となると想定。(し、50%縮減)
複合化	▲20%	共用部分を30%(レンタル比70%)と想定し、共用部分及びサービス機能の重複部分の縮小を含め、20%縮減
適正化	適宜設定	将来の需要の見込み等に応じて、規模の縮小又は拡大を想定
廃止	▲100%	施設の廃止(解体)により、市の所有財産から除外
譲渡	▲100%	施設の譲渡により、市の所有財産から除外

③ 更新費用の設定

更新費用の設定では、青本に記載されているモデル建物ごとの「建設コスト」、「使用終了時コスト」(以下、モデル建物ごとの更新費用単価)を使用します。

また、施設別方針の評価区分(集約化・複合化等)ごとの延床面積の縮減率を反映した試算を行います。

■モデル建物ごとの更新費用単価概要

分類	費用項目	単位	金額(税抜き)									
			小規模M庁舎 548㎡	中規模C庁舎 2462㎡	中規模K庁舎 5867㎡	大規模G庁舎 16543㎡	S小学校(校舎) 3858㎡	S小学校(体育館) 1255㎡	中層U住宅(4階) 2295㎡	高層N住宅(8階) 2709㎡	A地区センター 599㎡	
建設コスト	設計コスト	設計費、積算費	円/㎡	42,430	30,460	25,330	20,430	27,320	25,960	16,650	16,460	47,870
		調査費(地質調査、測量)	円/㎡	6,360	1,820	800	350	1,160	3,500	1,950	1,650	5,970
		合計	円/㎡	48,790	32,280	26,130	20,780	28,480	29,460	18,600	18,110	53,840
	新築コスト	建築工事費	円/㎡	258,100	179,400	152,700	173,300	139,900	172,500	187,400	169,900	257,700
		電気設備工事費	円/㎡	63,400	54,300	53,000	53,400	38,200	25,300	28,100	27,400	42,000
		機械設備工事費	円/㎡	86,600	71,000	65,400	76,900	50,500	20,300	54,200	55,700	68,200
		合計	円/㎡	408,100	304,700	271,100	303,600	228,600	218,100	269,700	253,000	367,900
工事監理コスト	工事管理費	円/㎡	11,740	8,160	6,660	5,260	7,920	9,830	4,160	4,130	15,620	
	合計	円/㎡	468,630	345,140	303,890	329,640	265,000	257,390	292,460	275,240	437,360	
使用終了時コスト	解体処分コスト	解体工事費	円/㎡	22,200	17,900	22,600	19,000	17,700	23,600	18,400	19,400	24,400
		廃棄処分費	円/㎡	27,900	20,800	22,900	15,400	20,200	26,200	26,900	23,500	19,700
		合計	円/㎡	50,100	38,700	45,500	34,400	37,900	49,800	45,300	42,900	44,100

1-3 長期改修費用の試算

長期改修費用については、青本を参照した試算方法とします。この試算方法では、部位(屋上、外壁、内装、受変電、空調など)ごとの試算が可能となることから、将来の改修費用を部位別に試算することを目的としています。

主な試算方法については、資料編「1. 公共施設の更新・改修費用の試算について」に記載します。
※「その他狭小施設(200㎡以下等)」については、旧計画の試算方法により試算しています。

③ 長期改修サイクルの違い

本計画の長期改修費用の試算では、旧計画の試算方法から変更し、青本の公共建物 9 モデルごと・部位(屋上、外壁、内装、受変電、空調など)ごとに設定された、計画改修周期・単価を使用しているため、旧計画の改修費用より詳細に試算することとしました。

■旧計画試算と本計画試算の改修サイクルの違い(例:RC造70年間建物を使用する場合)

旧計画改修サイクル	経過年数															
	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	
整備内容																
改修 (すべての部位対象)						●					●					

青本改修サイクル	経過年数															
	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	
屋根									●							
外部					●				●				●			
外部建具									●							
内装・内部建具									●							
外構											●					
電力							●									
受変電							●									
電力貯蔵・発電							●									
通信・情報					●				●				●			
通信・情報(防災)						●					●					
中央監視					●				●				●			
避雷・屋外									●							
空調					●				●				●			
換気									●							
排煙									●							
自動制御				●			●			●			●			
給排水衛生							●									
消火							●									
昇降機その他							●									

※●:全面改修又は部材更新

※その他の構造体については資料編「1-5:旧計画の改修サイクルと本計画の長期改修サイクルの違い」に記載します。

④ 計画改修周期・単価の設定

計画改修周期・単価は、青本の公共建物 9 モデルを参照・設定し、長期改修費用の試算にて活用します。

■改修周期及び改修費用の概要

モデル建物	工事種別	部位	計画改修周期	計画改修単価 (円)	
小規模 M 庁舎	建築	屋根	40	6,504	
		外部	20	8,584	
		外部建具	40	78,369	
		内装・内部建具	40	13,289	
		外構	50	2,178	
	電気設備	電力	30	25,560	
		受変電	0	0	
		電力貯蔵・発電	30	20,268	
		通信・情報	20	12,476	
		通信・情報(防災)	25	152	
		中央監視	0	0	
		避雷・屋外	40	2,051	
		機械設備	空調	20	28,614
			換気	40	10,041
			排煙	0	0
			自動制御	0	0
			給排水衛生	30	18,724
		消火	0	0	
		昇降機その他	30	34,988	
中規模 C 庁舎	建築	屋根	40	6,035	
		外部	20	11,934	
		外部建具	40	53,522	
		内装・内部建具	40	6,361	
		外構	50	443	
	電気設備	電力	30	28,556	
		受変電	30	8,541	
		電力貯蔵・発電	30	6,936	
		通信・情報	20	8,745	
		通信・情報(防災)	25	1,299	
		中央監視	0	0	
		避雷・屋外	40	2,364	
		機械設備	空調	20	27,395
			換気	40	7,092
			排煙	0	0
			自動制御	15	12,801
			給排水衛生	30	23,056
		消火	0	0	
		昇降機その他	30	7,793	
中規模 K 庁舎	建築	屋根	40	2,377	
		外部	20	12,556	
		外部建具	40	42,228	
		内装・内部建具	40	9,733	
		外構	50	513	

モデル建物	工事種別	部位	計画改修周期	計画改修単価 (円)	
大規模 G 庁舎	電気設備	電力	30	28,161	
		受変電	30	8,074	
		電力貯蔵・発電	30	11,264	
		通信・情報	20	7,913	
		通信・情報(防災)	25	1,466	
		中央監視	0	0	
		避雷・屋外	40	2,591	
		機械設備	空調	20	35,308
			換気	40	4,602
			排煙	0	0
			自動制御	15	10,745
			給排水衛生	30	12,872
			消火	30	1,236
			昇降機その他	30	5,259
	大規模 G 庁舎	建築	屋根	40	2,542
			外部	20	6,053
			外部建具	40	52,954
内装・内部建具			40	5,784	
外構			50	1,030	
電気設備		電力	30	22,587	
		受変電	30	6,026	
		電力貯蔵・発電	30	8,211	
		通信・情報	20	11,876	
		通信・情報(防災)	25	3,421	
		中央監視	20	2,427	
		避雷・屋外	40	1,144	
		機械設備	空調	20	29,705
			換気	40	5,707
			排煙	40	6,109
			自動制御	15	8,745
			給排水衛生	30	10,390
		消火	30	3,226	
		昇降機その他	30	26,957	
中層 U 住宅(4 階)	建築	屋根	40	5,263	
		外部	20	14,252	
		外部建具	0	57,145	
		内装・内部建具	40	8,541	
		外構	50	1,631	
	電気設備	電力	40	20,202	
		受変電	0	0	
		電力貯蔵・発電	0	0	
		通信・情報	20	3,380	
		通信・情報(防災)	25	1,102	

モデル建物	工事種別	部位	計画改修周期	計画改修単価 (円)
		中央監視	0	0
		避雷・屋外	40	3,194
	機械設備	空調	20	2,753
		換気	40	9,142
		排煙	0	0
		自動制御	0	0
		給排水衛生	30	53,083
		消火	0	0
		昇降機その他	30	8,359
高層N住宅(8階)	建築	屋根	40	4,479
		外部	20	16,322
		外部建具	0	54,848
		内装・内部建具	40	7,087
		外構	50	345
	電気設備	電力	40	14,670
		受変電	0	0
		電力貯蔵・発電	0	0
		通信・情報	20	6,803
		通信・情報(防災)	25	1,398
		中央監視	0	0
		避雷・屋外	40	4,831
	機械設備	空調	20	2,090
		換気	40	21,209
		排煙	0	0
		自動制御	0	0
		給排水衛生	30	42,139
		消火	30	841
		昇降機その他	30	14,165
S学校(校舎)	建築	屋根	40	8,816
		外部	20	8,995
		外部建具	40	55,480
		内装・内部建具	40	13,181
		外構	0	0
	電気設備	電力	30	14,979
		受変電	30	6,790
		電力貯蔵・発電	0	0
		通信・情報	20	7,665
		通信・情報(防災)	25	1,959
		中央監視	0	0
		避雷・屋外	40	2,801
	機械設備	空調	20	18,625
		換気	40	8,260
		排煙	0	0

モデル建物	工事種別	部位	計画改修周期	計画改修単価 (円)
		自動制御	15	1,179
		給排水衛生	30	24,357
		消火	30	1,261
		昇降機その他	30	4,972
S学校(体育館)	建築	屋根	40	17,899
		外部	20	15,905
		外部建具	40	43,731
		内装・内部建具	40	8,607
		外構	0	0
	電気設備	電力	30	14,850
		受変電	0	0
		電力貯蔵・発電	0	0
		通信・情報	20	5,221
		通信・情報(防災)	25	2,025
		中央監視	0	0
		避雷・屋外	20	2,801
	機械設備	空調	20	7,320
		換気	40	3,946
		排煙	0	0
		自動制御	0	0
		給排水衛生	30	7,581
		消火	30	656
		昇降機その他	0	0
A地区センター	建築	屋根	40	54,191
		外部	20	19,046
		外部建具	40	67,136
		内装・内部建具	40	14,654
		外構	50	704
	電気設備	電力	30	20,212
		受変電	0	0
		電力貯蔵・発電	0	0
		通信・情報	20	12,530
		通信・情報(防災)	25	2,073
		中央監視	0	0
		避雷・屋外	40	3,059
	機械設備	空調	20	40,164
		換気	40	5,039
		排煙	0	0
		自動制御	0	0
		給排水衛生	30	12,497
		消火	0	0
		昇降機その他	0	0

※単価はすべて延床面積1㎡当たりの単価
※税込金額での表示

⑤ 構造躯体の延命化対策

青本においては、構造躯体そのものの改修費用が加味されていないため、目標耐用年数に延命するための構造躯体の健全性回復コストを計画に織込む必要があります。

具体的には、構造躯体の健全性調査などにに基づき実施することになりますが、本計画では長寿命化を図る施設について、一律に 10,000 円/㎡を躯体改修費用として加算します。

■躯体改修周期・単価

目標耐用年数	躯体改修周期	躯体改修単価
70年	40年	10,000円/㎡
80年		

■建物の健全性調査と延命化対策(RC造の例示)

		RC造
健全度	調査	現地目視調査及び材料試験
	評価項目 (例示)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ コンクリートの圧縮強度 ◇ 中性化深さ ◇ 鉄筋のかぶり厚さ ◇ 鉄筋の腐食状況 ◇ 屋上・外壁の漏水状況
主な躯体改修工法		<ul style="list-style-type: none"> (1) コンクリートの中性化対策 <ul style="list-style-type: none"> ・樹脂製塗膜やタイル仕上等の防水対策 ・中性化抑制剤やアルカリ性付与材の塗布 ・断面修復工法によるコンクリート欠損部の打ち直し ・再アルカリ化工法 (2) 鉄筋の腐食対策 <ul style="list-style-type: none"> ・断面修復工法による鉄筋腐食補修 (3) 鉄筋のかぶり厚さの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ポリマーセメントモルタルでかぶり厚さ補修

⑥ 機能・性能向上分の費用

青本の計画改修単価には、現状の規模及び使用での屋根・外壁、内部仕上げの更新、及び電気・機械設備などのライフライン更新による機能回復などの費用は含まれていますが、太陽光発電設備、バリアフリーの昇降機等の新たな機能の設置、及び性能向上に係る費用は含まれていません。

そのことから、本計画の長期改修費用の試算では、機能・性能向上分の費用は含まず、施設ごとに別途対応することとします。

1-4 短期改修費用の試算

⑦ 巡回点検等の調査結果の活用

直近の巡回点検及び保守点検結果等から部位・設備の劣化度における部位の重要度を加味した優先度を整理した上で、個別施設ごとに短期5年間程度の短期改修計画を検討し本計画に反映します。なお、短期改修計画は、毎年度繰返し、巡回点検及び保守点検実施結果をこの予防保全型改修計画に反映することで、無駄・無理のない適切な時期での改修判断が可能となり、効率的で効果的な改修に資することが出来ます。また、同時に計画において改修時期が集中し、改修費用等が突出する部分を計画的に分散するなど平準化策を実施することにも有効と考えられます。

⑧ 巡回点検調査の概要・結果

今回導入した包括管理の巡回点検調査では、建物ごとに、その外構、外壁、屋上、建物内外部、電気・機械設備の劣化状況を把握し、専門技術者による劣化評価を行うことで、対応が必要な不具合箇所の発見と把握を目的とします。

巡回点検調査では、計画改修周期・単価が設定されている部位ごとに劣化評価を行います。

巡回点検調査の詳細については、資料編「2-1:巡回点検調査の概要」に記載します。

また、巡回点検調査の結果については、資料編「2-2:建物の巡回点検調査の結果」に記載します。

⑨ 巡回点検調査における優先度

優先度では、巡回点検調査により明らかになった各不具合箇所に対して、物理的劣化の程度と範囲によって、評価します。

■優先度の設定方法

大 優先度 小	I	破損、故障等により機能的に問題があり、早急に対応が求められるもの。
	II	機能的には問題ないが、早期な修繕が望ましいと思われるもの。
	III	当面は現状のまま問題なく、今後の劣化の進行状況により、修繕が必要と思われるもの。
	IV	劣化は見られるが、当面は経過観察とするもの。

■劣化評価と優先度の関係

劣化評価	大		小	
	D	A	I	IV
悪	屋根防水	電力	空調	II
	外壁	受変電	換気	III
	内装・内部建具	電力貯蔵・発電	排煙	II
	外部建具	通信・情報	自動制御	III
良	外構	通信・情報(防災)	給排水衛生	II
		中央監視	消火	II
		避雷・屋外	昇降機その他	II

⑩ 直近の改修年からの経過年数による設備部位の優先度

設備部位の優先度では、巡回点検調査での劣化の判定が難しいものもあるため、建築年及び改修履歴から設備の直近の改修年を推定し、部材ごとの耐用年数を経過しているか否かによって、評価します。ここでの耐用年数は、本計画「第4章-1-3-②」の各部位の計画改修周期を使用します。

また、巡回点検結果・保守点検結果等から評価が読み取れる場合は、それらの結果から評価をします。この場合、「耐用年数からの経過年数」の評価と、「巡回点検・保守点検等」の評価を比較し、優先度が高い場合を採用します。

優先度の結果については、資料編「2-3:巡回点検調査における優先度」に記載します。

■設備部位の優先度の設定方法

大 優 先 度 小	I	建設時から1度も設備部位の改修をすることなく、40年以上経過しているもの。
	II	直近の改修からまたは建設時から、計画改修周期+5年以上経過しているもの。
	III	直近の改修からまたは建設時から、計画改修周期+1年~4年以上経過しているもの。
	IV	直近の改修からまたは建設時から、計画改修周期以下のもの。

① 短期改修計画

建築・設備に係る項目別・優先度別の短期改修費用を以下に示します。短期改修計画の試算では、計画改修単価を使用します。

※施設ごとに集計した短期改修計画結果は、資料編「2-4:施設別短期改修計画」に記載します。

■巡回点検調査による短期改修計画(詳細は資料編)

単位:円

項目	評価別短期改修費用			
	優先度Ⅰ	優先度Ⅱ	優先度Ⅲ	合計
建築	158,697,967	1,125,417,593	629,588,697	1,913,704,257
屋根防水	48,651,617	341,923,775	0	390,575,392
外壁	91,187,050	518,460,357	0	609,647,407
内装・内部建具	18,859,300	0	579,966,089	598,825,389
外部建具	0	265,033,461	0	265,033,461
外構	0	0	49,622,608	49,622,608
電気設備	524,520,664	376,775,667	414,327,375	1,315,623,706
電力	413,513,131	130,661,145	202,481,260	746,655,536
受変電	68,480,736	49,048,728	72,731,552	190,261,016
電力貯蔵・発電	0	0	49,453,485	49,453,485
通信・情報(防災)	42,526,796	67,159,332	39,990,653	149,676,782
避雷・屋外	0	129,906,462	49,670,425	179,576,887
機械設備	1,033,129,413	373,347,897	571,074,027	1,977,551,337
空調	34,644,985	180,941,064	208,591,998	424,178,047
換気	270,393,482	0	0	270,393,482
排煙	43,282,623	0	0	43,282,623
給排水衛生	649,023,164	88,253,514	301,978,889	1,039,255,568
消火	35,785,160	75,934,663	25,978,164	137,697,987
昇降機その他	0	28,218,655	34,524,975	62,743,631
その他 200㎡以下施設	17,656,116	39,000,130	139,527,778	196,184,024
合計	1,734,004,160	1,914,541,287	1,754,517,878	5,403,063,325

1-2 公共施設の更新・改修計画

施設ごとに、更新・改修の時期・費用・方針等を記載します。改修費用には、長期改修費用と短期改修費用の合計金額を記載します。

施設の棟ごとの更新・改修計画については、資料編「2-5:公共施設の施設別更新・改修計画」に記載します。

① 行政系施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 宗像市役所	本館	RC造	6,560㎡	1977年度	2027年度 2047年度	市域施設
	北館	S造	2,391㎡	2006年度	2044年度 2056年度	
	西館	RC造	2,104㎡	1990年度	2040年度 2060年度	
	南館	S造	1,162㎡	2024年度	2062年度 2074年度	
	その他(8)	-	795㎡	-	※1 ※2	
2 大島行政センター		RC造	210㎡	1991年度	2041年度 2061年度	コミュニティ 領域施設

※上段:法定耐用年数、下段:長寿命化後耐用年数

※1:建築年+(RC造50年・S造38年・CB造38年・LS造22年・W造22年・簡平30年・簡二45年)

※2:建築年+(RC造70年・S造50年・CB造50年・LS造30年・W造44年・簡平40年・簡二55年)

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
宗像市役所	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 庁舎（本館、北館、西館、南館）・その他の付帯施設（北側倉庫、西側倉庫、南倉庫、屋外トイレ、非常用電源設備棟、マイクロバス車庫）は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ その他の付帯施設（西側倉庫等、屋根付公用駐車場）は、長寿命化後耐用年数経過時（第3期）に更新する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 庁舎（本館、北館、西館、南館）は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☞ その他の付帯施設は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る（ただし、利用状況から必要のない施設は改修せず、廃止する）
大島行政センター	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 法定耐用年数経過後(第3期)に更新する ☞ 更新時まで大島島内の全ての施設との複合化を検討し更新時期をあわせる ☞ 検討の結果、複合化しない場合は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分分類	費用種類	各期の計画								
			第2期前期					第2期後期	第3期前期	第3期後期	
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～2034	2035～2039	2040～2044	
宗像市役所	市域施設	更新								38.38	
		改修	157.21	4.05	147.70	15.56		146.56	371.33	224.81	
大島行政センター	コミュニティ 領域施設	更新									134.63
		改修		0.04				14.26			

※単年度更新・改修計画は「資料編 P.〇〇」に記載します。

② その他行政施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 消費生活センター		RC造	128㎡	2008年度	2058年度 2078年度	市域施設
2 エコ館		S造	126㎡	1992年度	2030年度 2042年度	市域施設
3 北側資源物受入施設	資源物保管庫	S造	339㎡	2007年度	2045年度 2057年度	市域施設
	資材倉庫	S造	149㎡	2007年度	2045年度 2057年度	
4 西側資源物受入施設	資源物保管庫	S造	240㎡	2000年度	2038年度 2050年度	市域施設
	資源物保管事務所	S造	36㎡	2000年度	2038年度 2050年度	

※上段:法定耐用年数、下段:長寿命化後耐用年数

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
消費者生活センター	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ 更新時までには市役所等への複合化を検討する 	☞ 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
エコ館	廃止	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 法定耐用年数経過時（第2期）に廃止する ☞ 廃止時までには機能移転の必要性を検討する 	☞ 廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う
北側資源物受入施設	集約化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ 西側資源物受入施設との集約化を踏まえた規模を検討する 	☞ 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
西側資源物受入施設	廃止	☞ 活用方法等の見直しを行った上で、法定耐用年数経過時までには北側資源物受入施設との集約化にあわせて廃止する	☞ 廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分分類	費用種類	各期の計画								
			第2期前期					第2期後期	第3期前期	第3期後期	
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～2034	2035～2039	2040～2044	
消費生活センター	市域施設	更新									
		改修					7.24	0.02	6.46		
エコ館	市域施設	更新						7.83			
		改修		4.11	0.02		28.28				
北側資源受入施設	市域施設	更新									
		改修				11.71		0.08	24.62		
西側資源受入施設	市域施設	更新							8.73		
		改修		0.05							

※単年度更新・改修計画は「資料編 P.〇〇」に記載します。

③ スポーツ施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 玄海 B&G 海洋センター	体育館	RC 造	1,103 ㎡	1980 年度	2030 年度 2050 年度	市域施設
2 ゲートボール場		S 造	1,979 ㎡	1995 年度	2033 年度 2045 年度	市域施設
3 弓道場		W 造	158 ㎡	1982 年度	2004 年度 2026 年度	市域施設
4 勤労者体育センター	体育館	RC 造	793 ㎡	1980 年度	2030 年度 2050 年度	市域施設
	その他(1)	S 造	20 ㎡	1980 年度	2018 年度 2030 年度	
5 市民体育館		RC 造	4,001 ㎡	1982 年度	2032 年度 2052 年度	市域施設
6 大島運動場	付属トイレ	CB 造	25 ㎡	1987 年度	2025 年度 2037 年度	コミュニティ 領域施設
	その他(2)	-	73 ㎡	-	※1 ※2	
7 明天寺野球場		公園	-	1994 年度	- -	市域施設
	その他(2)	-	23 ㎡	1994 年度	※1 ※2	
8 宗像中央公園野球場		公園	-	1982~ 2009 年度	- -	市域施設
	その他(1)	LS 造	15 ㎡	2021 年度	2043 年度 2051 年度	

※上段:法定耐用年数、下段:長寿命化後耐用年数

※1:建築年+(RC 造 50 年・S 造 38 年・CB 造 38 年・LS 造 22 年・W 造 22 年・簡平 30 年・簡二 45 年)

※2:建築年+(RC 造 70 年・S 造 50 年・CB 造 50 年・LS 造 30 年・W 造 44 年・簡平 40 年・簡二 55 年)

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
玄海 B&G 海洋センター	適正化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
ゲートボール場	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 全天候型の用途は、法定耐用年数経過時(第 2 期)に廃止する 廃止時まで機能移転の必要性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う
弓道場	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 市民体育館と勤労者体育センターとの集約化(第 2 期)にあわせて廃止する 廃止時まで市民体育館との集約化と機能移転等の必要性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う
勤労者体育センター	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設・その他の付帯施設(倉庫)は、法定耐用年数経過後(第 2 期)に廃止する 廃止時まで市民体育館との集約化と機能移転等の必要性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う
市民体育館	集約化	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、法定耐用年数経過時(第 2 期)に更新する その他の付帯施設(2 棟)は、市民体育館の更新時にあわせて第 2 期に更新する 更新時まで勤労者体育センターとの集約化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
大島運動場	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 付属トイレ・ちびっ子広場付属トイレは、長寿命化後耐用年数経過時(第 3 期)に廃止する 倉庫は施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新の必要性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 付属トイレ・ちびっ子広場付属トイレは、廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う 倉庫は改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る

施設名	評価	更新方針	改修方針
明天寺野球場	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ 更新時まで規模の適正化を検討する ☉ その他の付帯施設については、施設老朽度及び利用状況から更新の可否を判断する 	☉ 必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
宗像中央公園野球場	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ 更新時まで規模の適正化を検討する 	☉ 必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画									
			第2期前期					第2期 後期	第3期 前期	第3期 後期		
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044		
玄海 B & G 海洋センター	市域施設	更新										
		改修							15.76	2.54	31.01	
ゲートボール場	市域施設	更新	1.93						83.15			
		改修		1.03								
弓道場	市域施設	更新	5.55									
		改修	1.17									
勤労者体育センター	市域施設	更新							49.64			
		改修	3.56									
市民体育館	市域施設	更新										
		改修		12.77	81.58						169.66	
大島運動場	コミュニティ 範域施設	更新									0.45	
		改修				8.52					2.37	
明天寺野球場	市域施設	更新	4.62						2.04			
		改修	0.43			0.71					251.19	
宗像中央公園野球場	市域施設	更新										6.32
		改修					0.40	0.39				53.08

※単年度更新・改修計画は「資料編 P.〇〇」に記載します。

④ レクリエーション・観光施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 大島海洋体験施設(うみんぐ大島)		S造	258㎡	2011年度	2049年度 2061年度	広域施設
2 東部観光拠点施設(街道の駅赤馬館)		W造	368㎡	2014年度	2036年度 2058年度	広域施設
3 地島離島体験交流施設		RC造	287㎡	2015年度	2065年度 2085年度	広域施設
4 ふれあいの森総合公園	管理事務所	S造	91㎡	1998年度	2036年度 2048年度	広域施設
	その他(7)	—	140㎡	—	※1 ※2	
5 正助ふるさと村	花栽培ハウス	LS造	2,222㎡	1991年度	2013年度 2021年度	広域施設
	農園管理事務所(shopにんじん)	W造	258㎡	1991年度	2013年度 2035年度	
	ふるさと体験学習館(もやいの家)	RC造	859㎡	1992年度	2042年度 2062年度	
	レストラン(正助茶屋)	W造	201㎡	1991年度	2013年度 2035年度	
	その他(4)	—	176㎡	—	※1 ※2	
6 大島観光休憩所		W造	41㎡	1983年度	2005年度 2027年度	広域施設
7 道の駅むなかた	農水産物館	W造	1,395㎡	2007年度	2029年度 2051年度	広域施設
	農水産物館 事務所・荷捌室	W造	560㎡	2014年度	2036年度 2058年度	
	道の駅トイレ・情報コーナー	RC造	286㎡	2007年度	2057年度 2077年度	
	観光おみやげ館	W造	416㎡	2017年度	2039年度 2061年度	
	南館	S造	413㎡	2023年度	2061年度 2073年度	
	その他(1)	W造	71㎡	2018年度	2040年度 2062年度	
8 八所宮旧キャンプ場	キャンプ施設	W造	92㎡	2000年度	2022年度 2044年度	広域施設
	その他(1)	CB造	28㎡	2000年度	2038年度 2050年度	
9 北斗の水くみ海浜公園	管理棟	RC造	132㎡	2013年度	2063年度 2083年度	広域施設

※上段:法定耐用年数、下段:長寿命化後耐用年数

※1:建築年+(RC造50年・S造38年・CB造38年・LS造22年・W造22年・簡平30年・簡二45年)

※2:建築年+(RC造70年・S造50年・CB造50年・LS造30年・W造44年・簡平40年・簡二55年)

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
大島海洋体験施設(うみんぐ大島)	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新時まで民活を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
東部観光拠点施設(街道の駅赤馬館)	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新時まで民活を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
地島離島体験交流施設	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> 改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る

施設名	評価	更新方針	改修方針
ふれいあいの森総合公園	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 管理事務所は施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない その他の付帯施設については、施設老朽度及び利用状況から更新の可否を判断する 更新時までに必要な機能、それに応じた規模の適正化を検討するとともに民活かも検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 管理事務所は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
正助ふるさと村	譲渡廃止	<ul style="list-style-type: none"> 正助ふるさと村が持つ機能を分解し、民間活用等を行った後に、譲渡や廃止を検討する 花栽培ハウスは、譲渡を検討する 廃止時まで機能移転の必要性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 譲渡や廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う
大島観光休憩所	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化後耐用年数経過時(第2期)に廃止する 廃止時まで機能移転の必要性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う
道の駅むなかた	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新時まで民活かも検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
八所宮旧キャンプ場	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 八所宮旧キャンプ場(2棟)は、長寿命化後耐用年数経過時(第3期)に廃止する 附属トイレは、キャンプ場にあわせて第3期に廃止する 廃止時まで機能移転の必要性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う
北斗の水くみ海浜公園	適正化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新時までに必要な機能、それに応じた規模の適正化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分分類	費用種類	各期の計画								
			第2期前期					第2期後期	第3期前期	第3期後期	
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～2034	2035～2039	2040～2044	
大島海洋体験施設(うみんぐ大島)	広域施設	更新									
		改修						27.71	1.23	14.13	
東部観光拠点施設(街道の駅赤馬館)	広域施設	更新									
		改修							30.07	0.87	
地島離島体験交流施設	広域施設	更新									
		改修							28.15		
ふれいあいの森総合公園	広域施設	更新									
		改修		7.24	1.11		9.07		2.97		
正助ふるさと村	広域施設	更新									
		改修		39.30	2.03		8.36				
大島観光休憩所	広域施設	更新							3.04		
		改修	2.16								
道の駅むなかた	広域施設	更新									
		改修	1.05	13.47	46.85	100.98		7.99	173.72	57.27	
八所宮旧キャンプ場	広域施設	更新									

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期 後期	第3期 前期	第3期 後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044
		改修						4.47		
北斗の水くみ海浜公園	広域施設	更新								
		改修						2.68		5.26

※単年度更新・改修計画は「資料編P.〇〇」に記載します。

⑤ 子育て支援施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 障害児通所支援施設「げんきっこくらぶ・ほっぷ」		LS造	321㎡	2015年度	2037年度 2045年度	市域施設
2 吉武小学校学童保育所		W造	144㎡	2015年度	2037年度 2059年度	学校区域施設
3 赤間小学校学童保育所	第1学童	W造	165㎡	1990年度	2012年度 2034年度	学校区域施設
	第2学童	LS造	213㎡	2000年度	2022年度 2030年度	
	第3学童	LS造	140㎡	2009年度	2031年度 2039年度	
4 赤間西小学校学童保育所		LS造	243㎡	2017年度	2039年度 2047年度	学校区域施設
5 自由ヶ丘小学校学童保育所	第1学童	W造	142㎡	1991年度	2013年度 2035年度	学校区域施設
	第2学童	LS造	150㎡	2009年度	2031年度 2039年度	
6 自由ヶ丘南小学校学童保育所		W造	146㎡	1992年度	2014年度 2036年度	学校区域施設
7 河東小学校学童保育所	第1学童	W造	140㎡	1990年度	2012年度 2034年度	学校区域施設
	第2学童	W造	149㎡	2013年度	2035年度 2057年度	
8 河東西小学校学童保育所		S造	192㎡	1996年度	2034年度 2046年度	学校区域施設
9 南郷小学校学童保育所		W造	135㎡	1994年度	2016年度 2038年度	学校区域施設
10 東郷小学校学童保育所	第1学童	W造	143㎡	1990年度	2012年度 2034年度	学校区域施設
	第2学童	W造	171㎡	2012年度	2034年度 2056年度	
11 日の里東小学校学童保育所		W造	142㎡	1991年度	2013年度 2035年度	学校区域施設
12 日の里西小学校学童保育所		W造	142㎡	1991年度	2013年度 2035年度	学校区域施設
13 玄海小学校学童保育所		W造	144㎡	2012年度	2034年度 2056年度	学校区域施設
14 大島へき地保育所		RC造	422㎡	1979年度	2029年度 2049年度	コミュニティ 領域施設

※上段:法定耐用年数、下段:長寿命化後耐用年数

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
障害児通所支援施設「げんきっこくらぶ・ほっぷ」	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ 更新時までには小学校内の余剰空間の活用や他の公共施設との複合化を検討する 	☞ 改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
吉武小学校学童保育所	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づいた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	☞ 改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
赤間小学校学童保育所	複合化 集約化	☞ 第1・第2・第3学童保育所は、長寿命化後耐用年数経過時(第2・3期)に更新する	☞ 第1・第2・第3学童保育所は、更新時までの間は必要最小限の維持補修を行う

施設名	評価	更新方針	改修方針
		<ul style="list-style-type: none"> ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づき、施設の集約化を含めた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	
赤間西小学校学童保育所	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づいた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	☞ 改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る
自由ヶ丘小学校学童保育所	複合化 集約化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 第1・第2学童保育所は、長寿命化後耐用年数経過時(第3期)に更新する ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づき、施設の集約化を含めた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	☞ 第1・第2学童保育所は、更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
自由ヶ丘南小学校学童保育所	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 長寿命化後耐用年数経過時(第3期)に更新する ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づいた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	☞ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
河東小学校学童保育所	複合化 集約化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 第1学童保育所は、長寿命化後耐用年数経過時(第3期)に更新する ☞ 第2学童保育所は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づき、施設の集約化を含めた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 第1学童保育所は、更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う ☞ 第2学童保育所は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
河東西小学校学童保育所	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づいた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	☞ 改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る
南郷小学校学童保育所	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 長寿命化後耐用年数経過時(第3期)に更新する ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づいた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	☞ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う

施設名	評価	更新方針	改修方針
東郷小学校学童保育所	複合化 集約化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 第1学童保育所は、長寿命化後耐用年数経過時(第3期)に更新する ☞ 第2学童保育所は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づき、施設の集約化を含めた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 第1学童保育所は、更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う ☞ 第2学童保育所は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
日の里東小学校学童保育所	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 長寿命化後耐用年数経過時(第3期)に更新する ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づいた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	☞ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
日の里西小学校学童保育所	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 長寿命化後耐用年数経過時(第3期)に更新する ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づいた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	☞ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
玄海小学校学童保育所	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ 更新の際は、利用者数の推計に基づいた適正規模を検討する ☞ 更新の際は、単独ではなく、小学校内の余剰教室の活用(機能移転)や学校施設との複合化を検討する 	☞ 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
大島へき地保育所	複合化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ 島内の他の公共施設との複合化を検討する 	☞ 改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期 後期	第3期 前期	第3期 後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044
障害児通所支援施設「げんきっこくらぶ・ほっぷ」	市域施設	更新								
		改修							18.16	
吉武小学校学童保育所	学校区域 施設	更新								
		改修							8.15	0.02
赤間小学校学童保育所	学校区域 施設	更新						42.70	73.91	65.42
		改修	2.21	2.34		9.96	4.50	7.92		
赤間西小学校学童保育所	学校区域 施設	更新								
		改修							13.75	
自由が丘小学校学童保育所	学校区域 施設	更新							45.97	52.93
		改修				3.94		8.49	0.50	

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期 後期	第3期 前期	第3期 後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044
自由が丘南小学校学童保育所	学校区域 施設	更新							69.21	
		改修			5.76	3.87			0.66	
河東小学校学童保育所	学校区域 施設	更新							45.97	
		改修	1.37			3.84		8.43	0.40	7.52
河東西小学校学童保育所	学校区域 施設	更新			85.96				15.29	
		改修								
南郷小学校学童保育所	学校区域 施設	更新							68.69	1.56
		改修				0.15	10.96			
東郷小学校学童保育所	学校区域 施設	更新							46.32	
		改修			0.10	3.87		9.68	0.50	8.63
日の里東小学校学童保育所	学校区域 施設	更新							68.69	
		改修				3.94			0.50	
日の里西小学校学童保育所	学校区域 施設	更新							73.90	
		改修	1.39			4.13				
玄海小学校学童保育所	学校区域 施設	更新								
		改修						8.15		7.26
大島へき地保育所	コミュニティ 領域施設	更新								
		改修	7.20				16.51	0.09	10.02	

※単年度更新・改修計画は「資料編 P.〇〇」に記載します。

⑥ 市民文化・社会教育施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 郷土文化学習交流館 (海の道むなかた館)	本館	RC造	3,797㎡	1992年度	2042年度 2062年度	広域施設
	その他(3)	RC造	92㎡	1992年度	2042年度 2062年度	
2 宗像ユリックス総合公園 (宗像ユリックス)	ユリックス 本館	RC造	17,675㎡	1988年度	2038年度 2058年度	広域施設
	アクアドーム	RC造	3,228㎡	1991年度	2041年度 2061年度	
	ゆーゆープール管理棟	RC造	662㎡	1991年度	2041年度 2061年度	
	テニスコート管理棟	RC造	279㎡	1991年度	2041年度 2061年度	
	プレイ広場管理棟	S造	262㎡	1991年度	2029年度 2041年度	
	パットゴルフ管理棟	W造	36㎡	1994年度	2016年度 2038年度	
	その他(12)	—	685㎡	—	※1 ※2	
3 市民活動交流館(メイトム宗像)	本館	RC造	4,720㎡	1997年度	2047年度 2067年度	市域施設
	発達支援センター	RC造	674㎡	1997年度	2047年度 2067年度	
	在宅介護支援センター	RC造	596㎡	1997年度	2047年度 2067年度	
	のぞみ園	RC造	490㎡	1997年度	2047年度 2067年度	
	その他(3)	—	324㎡	1997年度	※1 ※2	
4 コミュニティ・センター 吉武会館	本館	RC造	650㎡	1985年度	2035年度 2055年度	コミュニティ 領域施設
	その他(1)	LS造	1㎡	2003年度	2025年度 2033年度	
5 コミュニティ・センター 赤間会館		RC造	1,211㎡	2006年度	2056年度 2076年度	コミュニティ 領域施設
6 コミュニティ・センター 赤間西会館		S造	1,094㎡	2002年度	2040年度 2052年度	コミュニティ 領域施設
	その他(2)	S造	16㎡	2002年度	2040年度 2052年度	
7 コミュニティ・センター 自由ヶ丘会館		RC造	1,458㎡	2012年度	2062年度 2082年度	コミュニティ 領域施設
8 コミュニティ・センター 河東会館		RC造	1,372㎡	2013年度	2063年度 2083年度	コミュニティ 領域施設
9 コミュニティ・センター 南郷会館		RC造	708㎡	1987年度	2037年度 2057年度	コミュニティ 領域施設
10 コミュニティ・センター 東郷会館	本館	RC造	1,083㎡	2005年度	2055年度 2075年度	コミュニティ 領域施設
	その他(1)	S造	10㎡	2005年度	2043年度 2055年度	
11 コミュニティ・センター 日の里会館	本館	RC造	1,141㎡	1979年度	2029年度 2049年度	コミュニティ 領域施設
	その他(4)	—	88㎡	1979年度	※1 ※2	
12 コミュニティ・センター 玄海会館		RC造	715㎡	2011年度	2061年度 2081年度	コミュニティ 領域施設
13 コミュニティ・センター 池野会館	本館	RC造	506㎡	1979年度	2029年度 2049年度	コミュニティ 領域施設
					2048年度	

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
	その他(1)	S造	29㎡	2010年度	2060年度	
14 コミュニティ・センター 岬会館		RC造	1,200㎡	1995年度	2045年度 2065年度	コミュニティ 領域施設
	その他(1)	RC造	26㎡	1995年度	2045年度 2065年度	
15 コミュニティ・センター 大島会館	本館	W造	1,386㎡	2001年度	2023年度 2045年度	コミュニティ 領域施設
	その他(1)	CB造	6㎡	2001年度	2039年度 2051年度	
16 大島交流館		RC造	689㎡	1993年度	2043年度 2063年度	広域施設
17 陶芸施設		RC造	192㎡	1979年度	2029年度 2049年度	市域施設
18 田熊石畑遺跡歴史公園 (いせきんぐ宗像)	案内管理棟	W造	96㎡	2013年度	2035年度 2057年度	広域施設
	活用便益施設棟	W造	80㎡	2013年度	2035年度 2057年度	
	その他(2)	W造	64㎡	2013年度	2035年度 2057年度	

※上段:法定耐用年数、下段:長寿命化後耐用年数

※1:建築年+(RC造50年・S造38年・CB造38年・LS造22年・W造22年・簡平30年・簡二45年)

※2:建築年+(RC造70年・S造50年・CB造50年・LS造30年・W造44年・簡平40年・簡二55年)

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
郷土文化学習交流館(海の道むなかた館)	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新時まで複合化や機能転換の必要性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 展示室・体験学習室は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る その他の付帯施設(3棟)は、主体施設の改修にあわせて改修する
宗像ユリックス総合公園(宗像ユリックス)	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 民活化や他の施設との複合化を検討する アクアドームについては機能転換の必要性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 本館(主体施設)、アクアドーム、管理棟(4棟)は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る その他の付帯施設(12棟)は、主体施設の改修にあわせて改修する
市民活動交流館(メイトム宗像)	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新時まで複合化や機能転換の必要性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 本館(主体施設)、宗像市発達支援センター、在宅介護支援センター、宗像市障害児通園施設のぞみ園は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る その他の付帯施設(3棟)は、改修周期にあわせて改修する
コミュニティ・センター吉武会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない その他の付帯施設は、主体施設の更新にあわせて検討する 更新の際は、規模の適正化及びコミュニティ領域内の公共施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る その他の付帯施設は、主体施設の改修にあわせて改修する
コミュニティ・センター赤間会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新の際は、規模の適正化及びコミュニティ領域内の公共施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
コミュニティ・センター赤間西会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない その他の付帯施設は、主体施設の更新にあわせて検討する 更新の際は、規模の適正化及びコミュニティ領域内の公共施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る その他の付帯施設は、主体施設の改修にあわせて改修する
コミュニティ・センター自由ヶ丘会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る

施設名	評価	更新方針	改修方針
		<ul style="list-style-type: none"> 更新の際は、規模の適正化及びコミュニティ圏内の公共施設との複合化を検討する 	
コミュニティ・センター河東会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新の際は、規模の適正化及びコミュニティ圏内の公共施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
コミュニティ・センター南郷会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新の際は、規模の適正化及びコミュニティ圏内の公共施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
コミュニティ・センター東郷会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない その他の付帯施設は、主体施設の更新にあわせて検討する 更新の際は、規模の適正化及びコミュニティ圏内の公共施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る その他の付帯施設は、主体施設の改修にあわせて改修する
コミュニティ・センター日の里会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない その他の付帯施設(倉庫等・燃料庫・便所増改築)は、主体施設の更新にあわせて検討する その他の付帯施設(熱交換機棟・駐輪場)は、主体施設の改修時期に更新する 更新の際は、規模の適正化及びコミュニティ圏内の公共施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る 便所増改築は、改修周期にあわせて改修する その他の付帯施設(倉庫等・燃料庫)は、主体施設の改修にあわせて改修する その他の付帯施設(熱交換機棟・駐輪場)は、更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
コミュニティ・センター玄海会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新の際は、規模の適正化及びコミュニティ圏内の公共施設との複合化を検討する 	劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
コミュニティ・センター池野会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない その他の付帯施設は、主体施設の更新にあわせて検討する 更新の際は、規模の適正化及びコミュニティ圏内の公共施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る その他の付帯施設は、主体施設の改修にあわせて改修する
コミュニティ・センター岬会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 岬地区アンビシャス広場附属トイレは、主体施設の更新にあわせて検討する 更新の際は、規模の適正化及びコミュニティ圏内の公共施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る 岬地区アンビシャス広場附属トイレは、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
コミュニティ・センター大島会館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、長寿命化後耐用年数経過後(第3期)に更新する 更新に際しては、単独ではなく大島学園を始めとした島内公共施設との複合化を検討する その他の付帯施設は、主体施設の更新にあわせて第3期に更新する 	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る その他の付帯施設は、主体施設の改修にあわせて改修する
大島交流館	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし計画期間内での更新は行わない 島内の他の公共施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
陶芸施設	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし計画期間内での更新は行わない 廃止時まで機能移転の必要性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
田熊石畑遺跡歴史公園(いせきんぐ宗像)	適正化	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、施設の長寿命化を図ることとし計画期間内での更新は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る

施設名	評価	更新方針	改修方針
		<ul style="list-style-type: none"> ☉ 更新の際には社会状況、利用ニーズを踏まえて規模を再検討する ☉ その他の付帯施設(3棟)は、主体施設の更新にあわせて検討する 	☉ その他の付帯施設(3棟)は、改修周期にあわせて改修する

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期 後期	第3期前 期	第3期 後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044
郷土文化学習交流館(海の道むなかた館)	広域施設	更新								
		改修	10.44		6.44		197.77	283.92	47.17	222.66
宗像ユリックス総合公園(宗像ユリックス)	広域施設	更新							180.63	337.49
		改修		108.90	73.89	108.77	143.77	272.77	1,264.87	68.89
市民活動交流館(メイトム宗像)	市域施設	更新								
		改修				152.01			465.69	65.96
コミュニティ・センター吉武会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修	6.50				0.11	21.19		15.59
コミュニティ・センター赤間会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修			66.32			1.79	82.98	4.78
コミュニティ・センター赤間西会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修			14.87	1.62	34.14	84.68		10.90
コミュニティ・センター自由ヶ丘会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修				21.26		79.85	2.16	139.87
コミュニティ・センター河東会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修					20.01	75.14	2.03	119.44
コミュニティ・センター南郷会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修			28.22			47.14	0.12	50.78
コミュニティ・センター東郷会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修		59.31	7.45			1.60	74.21	4.28
コミュニティ・センター日の里会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修					0.62	79.60	1.82	
コミュニティ・センター玄海会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修						40.46	0.12	51.28
コミュニティ・センター池野会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修						33.69	0.09	
コミュニティ・センター岬会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修						49.40	38.34	97.62
コミュニティ・センター大島会館	コミュニティ 範域施設	更新								
		改修			3.54	68.58		14.58		

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期 後期	第3期前 期	第3期 後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044
大島交流館	広域施設	更新								
		改修			16.35				38.70	0.14
陶芸施設	市域施設	更新								
		改修	12.27							4.61
田熊石畑遺跡歴史公園(い せきんぐ宗像)	広域施設	更新								
		改修						13.58		12.11

※単年度更新・改修計画は「資料編P.〇〇」に記載します。

⑦ 保健・医療・福祉施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 国民健康保険大島診療所		RC造	401㎡	1989年度	2039年度 2059年度	コミュニティ 領域施設
2 大島福祉センター(ふれ愛センター)		W造	380㎡	1998年度	2020年度 2042年度	コミュニティ 領域施設

※上段:法定耐用年数、下段:長寿命化後耐用年数

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
国民健康保険大島診療所	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 法定耐用年数経過後(第3期)に更新する 更新時まで大島島内の他の公共施設との複合化を検討する 検討の結果、複合化しない場合は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
大島福祉センター(ふれ愛センター)	複合化	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、長寿命化後耐用年数経過後(第3期)に更新する 増改築、増築は、主体施設の更新にあわせて第3期に更新する 更新時まで大島島内の他の公共施設との複合化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 主体施設は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る 増改築は、改修周期にあわせて改修する

■更新・改修計画

単位:百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期 後期	第3期 前期	第3期後 期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030~ 2034	2035~ 2039	2040~ 2044
国民健康保険大島診療所	コミュニティ 領域施設	更新								257.07
		改修		15.77	14.01			11.54		
大島福祉センター(ふれ愛センター)	コミュニティ 領域施設	更新								179.85
		改修						11.27	6.25	0.02

※単年度更新・改修計画は「資料編P.〇〇」に記載します。

⑧ 学校教育系施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 吉武小学校	校舎	RC造	2,180 m ²	1978年度	2028年度 2048年度	学校区域施設
	校舎	S造	128 m ²	1999年度	2037年度 2049年度	
	体育館	RC造	888 m ²	1980年度	2030年度 2050年度	
	プール専用付属棟	S造	112 m ²	1986年度	2024年度 2036年度	
	給食施設	RC造	164 m ²	1999年度	2049年度 2069年度	
	その他(6)	—	87 m ²	—	※1 ※2	
2 赤間小学校	校舎(東側棟)	RC造	3,047 m ²	1989年度	2039年度 2069年度	学校区域施設
	校舎(西側棟)	RC造	2,045 m ²	1988年度	2038年度 2068年度	
	校舎(南側棟)	RC造	989 m ²	2005年度	2055年度 2085年度	
	体育館	RC造	1,038 m ²	1991年度	2041年度 2071年度	
	プール専用付属棟	S造	77 m ²	1967年度	2005年度 2017年度	
	地域連携施設	RC造	196 m ²	1991年度	2041年度 2071年度	
	給食施設	RC造	406 m ²	2001年度	2051年度 2081年度	
	その他(6)	—	222 m ²	—	※1 ※2	
3 赤間西小学校	校舎	RC造	4,850 m ²	1984年度	2034年度 2054年度	学校区域施設
	校舎	RC造	407 m ²	1992年度	2042年度 2062年度	
	体育館	RC造	870 m ²	1984年度	2034年度 2064年度	
	プール専用付属棟	S造	123 m ²	1985年度	2023年度 2035年度	
	給食施設	RC造	302 m ²	1999年度	2049年度 2069年度	
	その他(1)	RC造	21 m ²	2014年度	2064年度 2084年度	

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
4 自由ヶ丘小学校	校舎	RC 造	4,636 m ²	1976 年度	2026 年度 2056 年度	学校区域施設
	体育館	S 造	822 m ²	1977 年度	2015 年度 2027 年度	
	プール専用付属棟	S 造	98 m ²	2017 年度	2055 年度 2067 年度	
	給食施設	RC 造	308 m ²	1998 年度	2048 年度 2078 年度	
	その他(8)	—	421 m ²	—	※1 ※2	
5 自由ヶ丘南小学校	校舎	RC 造	5,659 m ²	1992 年度	2042 年度 2072 年度	学校区域施設
	体育館	RC 造	1,079 m ²	1992 年度	2042 年度 2072 年度	
	地域連携施設	RC 造	238 m ²	1992 年度	2042 年度 2072 年度	
	プール専用付属棟	RC 造	37 m ²	1993 年度	2043 年度 2073 年度	
	給食施設	RC 造	359 m ²	2001 年度	2051 年度 2081 年度	
	その他(3)	RC 造	66 m ²	—	※1 ※2	
6 河東小学校	校舎(中央棟)	RC 造	1,952 m ²	1971 年度	2021 年度 2051 年度	学校区域施設
	校舎(中央棟)増築	S 造	651 m ²	1991 年度	2029 年度 2041 年度	
	校舎(北側棟)	RC 造	1,336 m ²	1971 年度	2021 年度 2051 年度	
	校舎(北側棟)増築	S 造	572 m ²	1990 年度	2028 年度 2040 年度	
	校舎(南側棟)	RC 造	1,034 m ²	1971 年度	2021 年度 2051 年度	
	校舎(南側棟)増築	S 造	120 m ²	1992 年度	2030 年度 2042 年度	
	体育館	S 造	883 m ²	1974 年度	2012 年度 2024 年度	
	プール専用付属棟	S 造	78 m ²	1973 年度	2011 年度 2023 年度	
	給食施設	—	369 m ²	—	※1 ※2	
	その他(2)	—	57 m ²	—	※1 ※2	

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
7 河東西小学校	校舎	RC造	5,045 m ²	1998年度	2048年度 2068年度	学校区域施設
	体育館	RC造	1,136 m ²	1998年度	2048年度 2068年度	
	連携施設	RC造	303 m ²	1998年度	2048年度 2068年度	
	プール専用付属棟	RC造	99 m ²	1998年度	2048年度 2078年度	
	給食施設	RC造	411 m ²	1997年度	2047年度 2067年度	
	その他(4)	—	358 m ²	—	※1 ※2	
8 南郷小学校	校舎	RC造	2,389 m ²	1981年度	2031年度 2051年度	学校区域施設
	校舎(西側棟)	RC造	1,185 m ²	1971年度	2021年度 2041年度	
	体育館	RC造	860 m ²	1981年度	2031年度 2051年度	
	プール専用付属棟	RC造	246 m ²	2003年度	2053年度 2073年度	
	給食施設	RC造	334 m ²	2002年度	2052年度 2072年度	
	その他(6)	—	243 m ²	—	※1 ※2	
9 東郷小学校	校舎(北側棟)	RC造	2,661 m ²	1980年度	2030年度 2050年度	学校区域施設
	校舎(南側棟)	RC造	2,111 m ²	1981年度	2031年度 2051年度	
	体育館	RC造	849 m ²	1979年度	2029年度 2049年度	
	プール専用付属棟	RC造	26 m ²	1993年度	2043年度 2073年度	
	給食施設	RC造	284 m ²	1980年度	2030年度 2050年度	
	その他(2)	—	68 m ²	—	※1 ※2	
10 日の里東小学校	校舎(南棟)	RC造	2,082 m ²	1974年度	2024年度 2054年度	学校区域施設
	校舎(北棟)	RC造	1,925 m ²	1972年度	2022年度 2052年度	
	体育館	S造	797 m ²	1972年度	2010年度 2022年度	
	給食施設	RC造	329 m ²	2002年度	2052年度 2082年度	
	プール専用付属棟	S造	44 m ²	1973年度	2011年度 2023年度	
	その他(6)	S造	212 m ²	—	※1 ※2	

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
11 日の里西小学校	校舎	RC造	5,340 m ²	1975年度	2025年度 2045年度	学校区域施設
	体育館	S造	798 m ²	1975年度	2013年度 2025年度	
	プール専用付属棟	S造	48 m ²	1976年度	2014年度 2026年度	
	給食施設	RC造	308 m ²	1975年度	2025年度 2045年度	
	その他(4)	-	52 m ²	-	※1 ※2	
12 玄海小学校	校舎	RC造	3,002 m ²	2012年度	2062年度 2082年度	学校区域施設
	体育館	RC造	783 m ²	2012年度	2062年度 2082年度	
	プール専用付属棟	RC造	144 m ²	2013年度	2063年度 2083年度	
	その他(3)	S造	158 m ²	2012年度	2050年度 2062年度	
13 玄海東小学校	校舎	RC造	2,727 m ²	1969年度	2019年度 2049年度	学校区域施設
	校舎	RC造	311 m ²	1988年度	2038年度 2068年度	
	体育館	RC造	632 m ²	1970年度	2020年度 2050年度	
	プール専用付属棟	S造	54 m ²	1975年度	2013年度 2025年度	
	給食施設	-	153 m ²	-	※1 ※2	
	その他(4)	-	140 m ²	-	※1 ※2	
14 地島小学校	校舎	RC造	838 m ²	1980年度	2030年度 2060年度	学校区域施設
	体育館	RC造	386 m ²	1980年度	2030年度 2060年度	
	プール専用付属棟	RC造	50 m ²	1997年度	2047年度 2077年度	
	給食施設	RC造	130 m ²	1980年度	2030年度 2060年度	
	その他(1)	W造	65 m ²	1997年度	2019年度 2041年度	

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
15 城山中学校	校舎	RC造	8,429 m ²	2023年度	2073年度 2103年度	学校区域施設
	屋内運動場	RC造	2,484 m ²	2023年度	2073年度 2103年度	
	武道場	RC造	405 m ²	1982年度	2032年度 2062年度	
	プール専用付属棟	S造	100 m ²	1978年度	2016年度 2028年度	
	その他(7)	—	553 m ²	—	※1 ※2	
16 自由ヶ丘中学校	校舎(中央棟)	RC造	2,958 m ²	1981年度	2031年度 2051年度	学校区域施設
	校舎(東側棟)	RC造	2,268 m ²	1982年度	2032年度 2052年度	
	校舎(南側棟)	RC造	600 m ²	1982年度	2032年度 2052年度	
	体育館	RC造	1,097 m ²	1981年度	2031年度 2051年度	
	武道場	RC造	398 m ²	1984年度	2034年度 2054年度	
	プール専用付属棟	S造	65 m ²	1983年度	2021年度 2033年度	
	給食施設	RC造	412 m ²	2005年度	2055年度 2075年度	
	その他(14)	—	698 m ²	—	※1 ※2	
17 河東中学校	校舎	RC造	3,570 m ²	1985年度	2035年度 2065年度	学校区域施設
	校舎	RC造	2,307 m ²	1989年度	2039年度 2069年度	
	体育館	RC造	1,611 m ²	1985年度	2035年度 2065年度	
	武道場	RC造	378 m ²	1985年度	2035年度 2065年度	
	地域連携施設	RC造	174 m ²	1985年度	2035年度 2065年度	
	給食施設	RC造	392 m ²	2007年度	2057年度 2087年度	
	その他(6)	—	188 m ²	—	※1 ※2	

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
18 中央中学校	校舎(南側棟)	RC造	3,350 m ²	1996年度	2046年度 2066年度	学校区域施設
	校舎(北側棟)	RC造	2,899 m ²	1995年度	2045年度 2065年度	
	校舎(北西側棟)	S造	373 m ²	2000年度	2038年度 2050年度	
	体育館	RC造	1,612 m ²	2000年度	2050年度 2070年度	
	地域連携施設	RC造	265 m ²	2000年度	2050年度 2070年度	
	武道場	RC造	463 m ²	2000年度	2050年度 2070年度	
	プール専用付属棟	S造	86 m ²	1975年度	2013年度 2025年度	
	給食施設	RC造	398 m ²	1995年度	2045年度 2065年度	
	その他(1)	RC造	35 m ²	2006年度	2056年度 2076年度	
19 日の里中学校	校舎(中央棟)	RC造	5,077 m ²	2009年度	2059年度 2079年度	学校区域施設
	校舎(南側棟)	RC造	1,022 m ²	2009年度	2059年度 2079年度	
	体育館	RC造	1,423 m ²	2008年度	2058年度 2078年度	
	武道場	RC造	430 m ²	2008年度	2058年度 2078年度	
	プール専用付属棟	S造	60 m ²	1976年度	2014年度 2026年度	
	給食施設	RC造	371 m ²	2009年度	2059年度 2079年度	
	その他(3)	RC造	79 m ²	—	※1 ※2	
20 玄海中学校	校舎	RC造	3,912 m ²	1975年度	2025年度 2045年度	学校区域施設
	体育館	RC造	1,272 m ²	1976年度	2026年度 2046年度	
	武道場	S造	547 m ²	1993年度	2031年度 2043年度	
	給食施設	RC造	450 m ²	1975年度	2025年度 2045年度	
	その他(5)	—	281 m ²	—	※1 ※2	

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
21 大島学園	小学校 校舎	RC造	1,819 m ²	2002年度	2052年度 2082年度	学校区域施設
	小学校 体育館	RC造	532 m ²	1978年度	2028年度 2058年度	
	小学校 プール専用付属棟	S造	39 m ²	1980年度	2018年度 2030年度	
	小学校 給食施設	RC造	47 m ²	1979年度	2029年度 2049年度	
	小学校 調理場	S造	127 m ²	1987年度	2025年度 2037年度	
	小学校 その他(1)	LS造	25 m ²	2020年度	2042年度 2050年度	
	中学校 校舎(普通教室棟)	RC造	826 m ²	2002年度	2052年度 2082年度	
	中学校 校舎(特別教室棟)	RC造	708 m ²	1989年度	2039年度 2069年度	
	中学校 体育館	RC造	500 m ²	1978年度	2028年度 2058年度	
	中学校 給食施設	RC造	63 m ²	1979年度	2029年度 2049年度	
	中学校 調理場	S造	169 m ²	1987年度	2025年度 2037年度	
	中学校 その他(5)	—	140 m ²	—	※1 ※2	

※上段:法定耐用年数、下段:長寿命化後耐用年数

※1:建築年+(RC造50年・S造38年・CB造38年・LS造22年・W造22年・簡平30年・簡二45年)

※2:建築年+(RC造70年・S造50年・CB造50年・LS造30年・W造44年・簡平40年・簡二55年)

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
吉武小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新は行わない ☞ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う ☞ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☞ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
赤間小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館・地域連携施設・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新は行わない ☞ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館・地域連携施設・その他の付帯施設(2棟)は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う ☞ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☞ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る

施設名	評価	更新方針	改修方針
赤間西小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新は行わない ☞ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館は、劣化状況等に応じて、主に外壁屋根の改修を行い、長寿命化を図る ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う ☞ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☞ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
自由ヶ丘小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新は行わない ☞ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う ☞ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☞ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
自由ヶ丘南小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館・地域連携施設・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新は行わない ☞ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館・地域連携施設は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う ☞ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☞ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
河東小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館は、第3期に更新する ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新は行わない ☞ 給食施設及びその他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館・給食施設及びその他の付帯施設は、更新時までの間は、必要な改修又は維持補修を行い、長寿命化を図る ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う
河東西小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館・連携施設・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新は行わない ☞ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館・連携施設は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う ☞ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☞ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
南郷小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新は行わない ☞ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 校舎・体育館は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☞ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う ☞ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☞ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る

施設名	評価	更新方針	改修方針
東郷小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新は行わない ☉ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う ☉ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☉ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
日の里東小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館は、劣化状況等を考慮し、第2期での更新を検討する ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新は行わない ☉ 給食施設及びその他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館は、更新時までの間は、必要な改修又は維持補修を行い、長寿命化を図る ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う ☉ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☉ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
日の里西小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新は行わない ☉ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う ☉ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☉ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
玄海小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新を検討する ☉ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要な改修又は維持補修を行い、長寿命化を図る ☉ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
玄海東小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ プール及びプール専用付属棟は、授業での活用状況を踏まえ、更新を検討する ☉ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館は、更新までの間は、必要な改修又は維持補修を行い、長寿命化を図る ☉ プール及びプール専用付属棟は、授業での活用状況を踏まえ、必要最小限の維持補修を行う ☉ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☉ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
地島小学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、更新を検討する ☉ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間活用の状況を踏まえ、必要な改修又は維持補修を行い、長寿命化を図る ☉ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☉ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る

施設名	評価	更新方針	改修方針
城山中学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・屋内運動場・旧武道場は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間施設等での水泳授業の実施や集約化などを検討し、集約化の母体となる場合を除き、更新は行わない ☉ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・屋内運動場・旧武道場は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☉ プール及びプール専用付属棟は、集約時までの間は、必要な改修又は維持補修を行い、長寿命化を図る ☉ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
自由ヶ丘中学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・武道場・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間施設等での水泳授業の実施や集約化などを検討し、集約化の母体となる場合を除き、更新は行わない ☉ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・武道場は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☉ プール及びプール専用付属棟は、集約時までの間は、必要な改修又は維持補修を行い、長寿命化を図る ☉ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☉ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
河東中学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・武道場・地域連携施設・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間施設等での水泳授業の実施や集約化などを検討し、集約化の母体となる場合を除き、更新は行わない ☉ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・武道場・地域連携施設は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☉ プールは、集約時までの間は、必要な改修又は維持補修を行い、長寿命化を図る ☉ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☉ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
中央中学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・武道場・地域連携施設・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間施設等での水泳授業の実施や集約化などを検討し、集約化の母体となる場合を除き、更新は行わない ☉ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・武道場・地域連携施設は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☉ プール及びプール専用付属棟は、集約時までの間は、必要な改修又は維持補修を行い、長寿命化を図る ☉ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☉ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
日の里中学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・武道場・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない ☉ プール及びプール専用付属棟は、民間施設等での水泳授業の実施や集約化などを検討し、集約化の母体となる場合を除き、更新は行わない ☉ その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ☉ 校舎・体育館・武道場・倉庫棟は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☉ プール及びプール専用付属棟は、集約時までの間は、必要な改修又は維持補修を行い、長寿命化を図る ☉ 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する ☉ その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る

施設名	評価	更新方針	改修方針
玄海中学校	適正化	<ul style="list-style-type: none"> 校舎・体育館・武道場・給食施設は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎・体育館・武道場は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
大島学園	適正化	<ul style="list-style-type: none"> 校舎・体育館・給食施設・調理場は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新時までには島の他の公共施設との複合化を検討する プール及びプール専用付属棟は、長寿命化後耐用年数経過時の第2期での更新を検討する その他の付帯施設の更新については、校舎等の更新にあわせて検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎・体育館は、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る プール専用付属棟は、更新時までの間は、必要な改修又は維持補修を行い、長寿命化を図る 給食施設は、校舎等の改修時期にあわせて改修する その他の付帯施設については、必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分分類	費用種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期後期	第3期前期	第3期後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～2034	2035～2039	2040～2044
吉武小学校	学校区域施設	更新						202.63		
		改修	50.24	2.41	82.09	1.43	0.45	82.83	52.06	195.82
赤間小学校	学校区域施設	更新	243.15							
		改修	4.94	66.37	253.53	39.16	43.62	356.21	178.20	130.45
赤間西小学校	学校区域施設	更新							192.50	
		改修	73.14	24.36	55.33	3.79	16.00	41.58	266.94	69.76
自由が丘小学校	学校区域施設	更新								
		改修	118.23		95.54	3.68	0.74	70.74	140.65	162.11
自由が丘南小学校	学校区域施設	更新								212.76
		改修		40.21	16.46	7.68	90.40	544.24	133.46	155.85
河東小学校	学校区域施設	更新	253.29							
		改修	142.95	46.52	19.82	34.28	133.76	547.35	96.02	70.30
河東西小学校	学校区域施設	更新								
		改修			163.02	25.02	483.54	60.73	461.39	
南郷小学校	学校区域施設	更新						151.97		
		改修	16.30	3.61	3.35	17.87	7.09	99.20	141.59	204.67
東郷小学校	学校区域施設	更新								
		改修	33.91	66.81	25.80	14.78	8.48	164.02	140.95	308.74
日の里東小学校	学校区域施設	更新								
		改修	13.23	96.31		0.73	105.02	86.02	349.24	49.79
日の里西小学校	学校区域	更新			202.63					

単位：百万円

施設名	利用区分分類	費用種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期後期	第3期前期	第3期後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～2034	2035～2039	2040～2044
	施設	改修	244.88	211.67		4.18		15.67	625.56	31.68
玄海小学校	学校区域施設	更新								
		改修				4.15	14.75	80.23	74.26	312.87
玄海東小学校	学校区域施設	更新			151.97					14.09
		改修	59.37	90.07	81.81	31.27	18.02	7.30	95.80	9.56
地島小学校	学校区域施設	更新								14.09
		改修	6.08			4.05	36.44		77.37	23.57
城山中学校	学校区域施設	更新		192.50						
		改修	31.15						12.42	448.58
自由が丘中学校	学校区域施設	更新							151.97	
		改修	245.51	192.36	40.52	11.30	1.91	156.15	200.98	162.30
河東中学校	学校区域施設	更新							172.23	
		改修		27.55	51.58	71.60		36.93	244.98	179.10
中央中学校	学校区域施設	更新			192.50					
		改修	5.52	265.01	257.68	14.07	1.91	42.70	728.30	282.64
日の里中学校	学校区域施設	更新			162.10					
		改修	0.56	10.20			36.13	163.48	176.60	412.61
玄海中学校	学校区域施設	更新			12.28					
		改修	103.18	13.17	61.08		23.72	131.16	94.40	256.20
大島学園	学校区域施設	更新	5.63					136.04		
		改修	41.17	25.11	43.12	21.23		166.89	98.70	568.73

※単年度更新・改修計画は「資料編 P.〇〇」に記載します。

⑨ 市営住宅

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 コスモス台団地	住宅 A・B	RC 造	1,400 m ²	1995～ 1997 年度	2045～ 2047 年度 2065～ 2067 年度	市域施設
2 后曲団地		RC 造	1,379 m ²	2002 年度	2052 年度 2072 年度	市域施設
	その他(3)	—	81 m ²	2002 年度	※1 ※2	
3 野添団地		RC 造	571 m ²	2000 年度	2050 年度 2070 年度	市域施設
4 平野団地		RC 造	1,180 m ²	1999 年度	2049 年度 2069 年度	市域施設
	その他(2)	LS 造	10 m ²	1999 年度	2021 年度 2029 年度	
5 南郷団地		RC 造	2,357 m ²	1997 年度	2047 年度 2067 年度	市域施設
		RC 造	780 m ²	1998 年度	2048 年度 2068 年度	
	集会所	W 造	157 m ²	1995 年度	2017 年度 2039 年度	
	その他(6)	—	93 m ²	—	※1 ※2	
6 平原団地	14 棟	簡二	3,656 m ²	1972～ 1982 年度	2017～ 2027 年度 2027～ 2037 年度	市域施設
	平原集会所	簡平	165 m ²	1972 年度	2002 年度 2012 年度	
7 ゆり団地		RC 造	2,633 m ²	1993 年度	2043 年度 2063 年度	市域施設
	地域集会所	RC 造	72 m ²	1993 年度	2043 年度 2063 年度	
	その他(1)	RC 造	8 m ²	1993 年度	2043 年度 2063 年度	
8 荒開団地	20 棟	W 造	2,402 m ²	2015～ 2016 年度	2037～ 2038 年度 2059～ 2060 年度	市域施設
	集会所	W 造	177 m ²	2016 年度	2038 年度 2060 年度	
9 今門団地	1・2・3 号棟	簡平	248 m ²	1969 年度	1999 年度 2009 年度	市域施設
	その他(1)	W 造	4 m ²	1969 年度	1991 年度 2013 年度	
10 原団地		簡二	348 m ²	1977 年度	2022 年度 2032 年度	市域施設
11 第2原団地		W 造	239 m ²	1988 年度	2010 年度 2032 年度	市域施設
12 桜町団地	101～117 号棟	簡二	3,780 m ²	1971～ 1972 年度	2016～ 2017 年度 2026～ 2027 年度	市域施設
	集会所	簡平	145 m ²	1971 年度	2001 年度 2011 年度	
13 東団地		W 造	492 m ²	1987 年度	2009 年度 2031 年度	コミュニティ 領域施設
14 谷団地		RC 造	903 m ²	1992 年度	2042 年度 2062 年度	コミュニティ 領域施設
15 前田団地					2018 年度	

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
	A・B棟	LS造	445㎡	1996年度	2026年度	コミュニティ 領域施設
16 赤坂団地		W造	567㎡	1982年度	2004年度 2026年度	コミュニティ 領域施設
17 町団地		W造	102㎡	1988年度	2010年度 2032年度	コミュニティ 領域施設

※上段：法定耐用年数、下段：長寿命化後耐用年数

※1：建築年+（RC造50年・S造38年・CB造38年・LS造22年・W造22年・簡平30年・簡二45年）

※2：建築年+（RC造70年・S造50年・CB造50年・LS造30年・W造44年・簡平40年・簡二55年）

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
コスモス台団地	現状維持	Ⓧ 長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓧ 改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
後曲団地	現状維持	Ⓧ 長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓧ 改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
野添団地	現状維持	Ⓧ 長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓧ 改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
平野団地	現状維持	Ⓧ 長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓧ 共同住宅は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る Ⓧ その他の付帯施設は、更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
南郷団地	現状維持	Ⓧ 長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓧ 共同住宅(4棟)・その他の付帯施設は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
平原団地	集約化	Ⓧ 共同住宅(14棟)は、長寿命化後耐用年数経過時(第2・3期)に更新する Ⓧ 地域集会所は、第2期に更新する Ⓧ 更新時に今門団地、桜町団地と集約化する	Ⓧ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
ゆり団地	現状維持	Ⓧ 長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓧ 共同住宅・その他の付帯施設は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
荒開団地	現状維持	Ⓧ 長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓧ 共同住宅(20棟)・地域集会所は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
今門団地	集約化	Ⓧ 共同住宅(3棟)は、耐用年数を経過しているため、第2期に桜町団地・平原団地と集約化する	—
原団地	集約化	Ⓧ 長寿命化後耐用年数経過時(第2期)までに更新の必要性を検討する Ⓧ 更新時の社会状況に応じて総量の適正化を図る	Ⓧ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
第2原団地	集約化	Ⓧ 共同住宅(2棟)は、長寿命化後耐用年数経過時(第2期)までに更新の必要性を検討する Ⓧ 更新時の社会状況に応じて総量の適正化を図る	Ⓧ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
桜町団地	集約化	Ⓧ 共同住宅(17棟)・地域集会所は、耐用年数を経過しているため、第1・2期に更新する Ⓧ 更新時に平原団地、今門団地と集約化する	Ⓧ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
東団地	適正化	Ⓧ 大島島内全体の状況に応じて廃止を含めた総量の適正化を図る	Ⓧ 更新または廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う

施設名	評価	更新方針	改修方針
谷団地	適正化	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 大島島内の他の団地より新しく、規模が大きいため、谷団地を中心に総量の適正化を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
前田団地	適正化	<ul style="list-style-type: none"> 一般住宅(2棟)は、長寿命化後耐用年数経過時(第2期)に更新する(大島島内全体の状況に応じて総量の適正化を図る) 	<ul style="list-style-type: none"> 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
赤坂団地	適正化	<ul style="list-style-type: none"> 大島島内全体の状況に応じて廃止を含めた総量の適正化を図る(廃止の場合、現行の施設は譲渡する) 	<ul style="list-style-type: none"> 更新または廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う
町団地	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 一般住宅(2棟)は、長寿命化後耐用年数経過時(第2期)に廃止する 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期 後期	第3期 前期	第3期 後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044
コスモス台団地	市域施設	更新								
		改修		54.30	30.36				70.90	36.73
後曲団地	市域施設	更新						17.51		
		改修				0.35		83.39		106.02
野添団地	市域施設	更新								
		改修						34.53		43.90
平野団地	市域施設	更新								
		改修						71.96		91.49
南郷団地	市域施設	更新								99.72
		改修		13.04		68.16	122.25		235.46	
平原団地	市域施設	更新	57.46			203.23	96.62	300.99	228.40	
		改修	358.89	16.35	6.04					
ゆり団地	市域施設	更新								
		改修					159.70	133.50	69.08	
荒開団地	市域施設	更新								
		改修							58.26	0.61
今門団地	市域施設	更新	13.52							
		改修	23.66							
原団地	市域施設	更新						78.93		
		改修	32.68							

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期 後期	第3期 前期	第3期 後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044
第2原団地	市域施設	更新						54.21		
		改修			14.45					
桜町団地	市域施設	更新	905.84							
		改修	368.64							
東団地	コミュニテ ィ領域施設	更新						107.85		
		改修			17.85					
谷団地	コミュニテ ィ領域施設	更新								
		改修		23.69			54.60	47.86		
前田団地	コミュニテ ィ領域施設	更新			207.16					
		改修								
赤坂団地	コミュニテ ィ領域施設	更新			248.59					
		改修	15.66							
町団地	コミュニテ ィ領域施設	更新						6.57		
		改修			7.40					

※単年度更新・改修計画は「資料編 P.〇〇」に記載します。

⑩ 消防施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 宗像市消防団第1分団 消防格納庫		S造	98㎡	2012年度	2050年度 2062年度	コミュニティ 領域施設
2 宗像市消防団第2分団 消防格納庫		CB造	54㎡	1983年度	2021年度 2033年度	コミュニティ 領域施設
3 宗像市消防団第3分団 消防格納庫		CB造	49㎡	1985年度	2023年度 2035年度	コミュニティ 領域施設
4 宗像市消防団第4分団 消防格納庫		S造	82㎡	1997年度	2035年度 2047年度	コミュニティ 領域施設
5 宗像市消防団第5分団 消防格納庫		S造	99㎡	2021年度	2059年度 2071年度	コミュニティ 領域施設
6 宗像市消防団第6分団 消防格納庫		W造	63㎡	1988年度	2010年度 2032年度	コミュニティ 領域施設
7 宗像市消防団第7分団 消防格納庫		W造	54㎡	1980年度	2002年度 2024年度	コミュニティ 領域施設
8 宗像市消防団第8分団 消防格納庫		CB造	55㎡	1981年度	2019年度 2031年度	コミュニティ 領域施設
9 宗像市消防団第9分団 消防格納庫		RC造	44㎡	1987年度	2037年度 2057年度	コミュニティ 領域施設
10 宗像市消防団第10分団 消防格納庫		S造	82㎡	1998年度	2036年度 2048年度	コミュニティ 領域施設
11 宗像市消防団第11分団 消防格納庫		W造	82㎡	2015年度	2037年度 2059年度	コミュニティ 領域施設
	その他(1)	W造	10㎡	1977年度	1999年度 2021年度	
12 宗像市消防団第12分団 消防格納庫		W造	62㎡	1987年度	2009年度 2031年度	コミュニティ 領域施設
	その他(4)	-	92㎡	-	※1 ※2	
13 宗像市消防団第13分団 消防格納庫		W造	92㎡	2017年度	2039年度 2061年度	コミュニティ 領域施設
	その他(2)	W造	38㎡	-	※1 ※2	
14 宗像市消防団第14分団 消防格納庫		W造	74㎡	1997年度	2019年度 2041年度	コミュニティ 領域施設
	その他(2)	W造	57㎡	-	※1 ※2	

※上段：法定耐用年数、下段：長寿命化後耐用年数

※1：建築年+（RC造50年・S造38年・CB造38年・LS造22年・W造22年・簡平30年・簡二45年）

※2：建築年+（RC造70年・S造50年・CB造50年・LS造30年・W造44年・簡平40年・簡二55年）

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
宗像市消防団第1分団 消防格納庫	現状 維持	☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	☞ 改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る
宗像市消防団第2分団 消防格納庫	現状 維持	☞ 主体施設は、長寿命化後耐用年数経過時(第2期)に更新する ☞ トイレ増改築は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	☞ 主体施設は、更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う ☞ トイレ増改築は、改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る
宗像市消防団第3分団 消防格納庫	現状 維持	☞ 長寿命化後耐用年数経過時(第3期)に更新する	☞ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
宗像市消防団第4分団 消防格納庫	現状 維持	☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	☞ 改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る
宗像市消防団第5分団 消防格納庫	現状 維持	☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	☞ 改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る

施設名	評価	更新方針	改修方針
宗像市消防団第6分団消防格納庫	現状維持	Ⓢ 長寿命化後耐用年数経過時(第2期)に更新する	Ⓢ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
宗像市消防団第7分団消防格納庫	現状維持	Ⓢ 主体施設は、長寿命化後耐用年数経過時(第2期)に更新する Ⓢ トイレ増改築は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓢ 主体施設は、更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う Ⓢ トイレ増改築は、改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る
宗像市消防団第8分団消防格納庫	現状維持	Ⓢ 長寿命化後耐用年数経過時(第2期)に更新する	Ⓢ 更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
宗像市消防団第9分団消防格納庫	現状維持	Ⓢ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓢ 改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る
宗像市消防団第10分団消防格納庫	現状維持	Ⓢ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓢ 改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る
宗像市消防団第11分団消防格納庫	現状維持	Ⓢ 格納庫深田は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない Ⓢ 格納庫田島は、長寿命化後耐用年数経過時(第1期)に更新する	Ⓢ 格納庫(2棟)は、改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る
宗像市消防団第12分団消防格納庫	現状維持	Ⓢ 格納庫白浜・泊・神湊・鐘崎は、長寿命化後耐用年数経過時(第1・2期)に更新する Ⓢ 格納庫江口は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓢ 格納庫江口・白浜・泊は、改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る Ⓢ 格納庫神湊・鐘崎は、更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
宗像市消防団第13分団消防格納庫	現状維持	Ⓢ 格納庫池田(2棟)は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない Ⓢ 格納庫田野は、長寿命化後耐用年数経過時(第1期)に更新する	Ⓢ 格納庫池田(2棟)・田野は、改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る
宗像市消防団第14分団消防格納庫	現状維持	Ⓢ 詰所上八①、格納庫上八②は、長寿命化後耐用年数経過時(第1・3期)に更新する Ⓢ 詰所増改築は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	Ⓢ 詰所上八①・詰所増改築は、改修周期にあわせて改修を行い、最大限の施設の長寿命化を図る Ⓢ 格納庫上八②は、更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期 後期	第3期 前期	第3期 後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044
宗像市消防団第1分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新								
		改修						4.54		4.94
宗像市消防団第2分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新						23.78		
		改修	4.36	0.53	1.22					
宗像市消防団第3分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新							21.58	
		改修		4.26						
宗像市消防団第4分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新								
		改修			1.83	4.14				1.97
宗像市消防団第5分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新								
		改修								4.59
宗像市消防団第6分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新						27.45		
		改修		2.02	4.13					

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画								
			第2期前期					第2期 後期	第3期 前期	第3期 後期	
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044	
宗像市消防団第7分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新	23.53								
		改修	4.36	0.53	0.82						
宗像市消防団第8分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新						24.22			
		改修	4.44								
宗像市消防団第9分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新									
		改修		0.98	2.22	4.85					
宗像市消防団第10分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新									
		改修			1.83		4.14		1.97		
宗像市消防団第11分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新									
		改修							3.80		
宗像市消防団第12分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新						37.04			
		改修									
宗像市消防団第13分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新									
		改修							3.36	0.90	
宗像市消防団第14分団消防格納庫	コミュニティ 領域施設	更新									57.08
		改修				6.61					

※単年度更新・改修計画は「資料編P.〇〇」に記載します。

⑪ 駅・渡船施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 JR赤間駅南口	第1自転車駐車場	S造	1,151㎡	2002年度	2040年度 2052年度	広域施設
	第2自転車駐車場	S造	1,010㎡	2002年度	2040年度 2052年度	
	自由通路中央デッキ	LS造	671㎡	2005年度	2027年度 2035年度	
	第3自転車駐車場	S造	73㎡	2002年度	2040年度 2052年度	
	エレベーター	S造	12㎡	2005年度	2043年度 2055年度	
	附属トイレ	RC造	41㎡	2004年度	2054年度 2074年度	
2 JR赤間駅北口	第2自転車駐車場	S造	718㎡	2010年度	2048年度 2060年度	広域施設
	第1自転車駐車場	S造	612㎡	2010年度	2048年度 2060年度	
	自由通路	S造	198㎡	2010年度	2048年度 2060年度	
	エレベーター	S造	12㎡	2010年度	2048年度 2060年度	
	第1自転車駐車場	S造	22㎡	2010年度	2048年度 2060年度	
	附属トイレ	RC造	41㎡	2010年度	2060年度 2080年度	
3 JR東郷駅日の里口	第1自転車等駐車場	S造	693㎡	2015年度	2053年度 2065年度	広域施設
	自由通路	S造	158㎡	1989年度	2027年度 2039年度	
	エレベーター	S造	2㎡	1989年度	2027年度 2039年度	
	第2自転車等駐車場	S造	303㎡	2016年度	2054年度 2066年度	
4 JR東郷駅宗像大社口	通路・トイレ・電気室	S造	237㎡	2017年度	2055年度 2067年度	広域施設
	エレベーター	S造	3㎡	2017年度	2055年度 2067年度	
	エスカレーター	S造	34㎡	2017年度	2055年度 2067年度	
	第1自転車等駐車場	S造	705㎡	2018年度	2056年度 2068年度	
	第2自転車等駐車場	S造	454㎡	2017年度	2055年度 2067年度	
5 神湊港渡船ターミナル		RC造	834㎡	2012年度	2062年度 2082年度	広域施設
6 大島港渡船ターミナル		RC造	730㎡	2004年度	2054年度 2074年度	広域施設
7 地島泊渡船待合所		RC造	91㎡	2001年度	2051年度 2071年度	広域施設
	附属トイレ	RC造	4㎡	1988年度	2038年度 2058年度	
8 豊岡白浜渡船待合所		RC造	74㎡	1977年度	2027年度 2047年度	広域施設
	附属トイレ	RC造	4㎡	2004年度	2054年度 2074年度	

※上段：法定耐用年数、下段：長寿命化後耐用年数

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
-----	----	------	------

JR赤間駅南口	適正化	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 自転車駐車場(3棟)・エレベーター棟・付属トイレは、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない Ⓢ 自由通路中央デッキは、長寿命化後耐用年数経過時(第3期)に更新する Ⓢ エレベーターは、設備寿命に応じて更新する 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 自転車駐車場(3棟)・エレベーター棟・付属トイレは、劣化状況等に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る Ⓢ 自由通路中央デッキは、更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
JR赤間駅北口	適正化	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 自転車駐車場(3棟)・自由通路・エレベーター棟・付属トイレは、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない Ⓢ エレベーターは、設備寿命に応じて更新する 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 自転車駐車場(3棟)・自由通路・エレベーター棟・付属トイレは、劣化状況等にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
JR東郷駅日の里口	適正化	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 自転車等駐車場(2棟)は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない Ⓢ 自由通路・エレベーター棟は、長寿命化後耐用年数経過時(第3期)に更新する Ⓢ エレベーターは、設備寿命に応じて更新する 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 自転車等駐車場(2棟)は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る Ⓢ 自由通路・エレベーター棟は、更新までの間は、必要最小限の維持補修を行う
JR東郷駅宗像大社口	適正化	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない Ⓢ エレベーターは、設備寿命に応じて更新する 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 自転車駐車場(2棟)、通路・トイレ・電気室、エスカレーターは、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る Ⓢ エレベーター棟は、劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
神湊港渡船ターミナル	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
大島港渡船ターミナル	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
地島泊渡船待合所	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 主体施設は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る Ⓢ 附属施設は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
豊岡白浜渡船待合所	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓢ 主体施設は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る Ⓢ 附属施設は、改修周期にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分分類	費用種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期後期	第3期前期	第3期後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～2034	2035～2039	2040～2044
JR赤間駅南口	広域施設	更新							399.88	
		改修	0.40	16.39		0.21	0.63	36.25	9.94	29.53
JR赤間駅北口	広域施設	更新								
		改修						24.63	0.17	98.49
JR東郷駅日の里口	広域施設	更新								93.68
		改修						2.27	15.02	0.10
JR東郷駅宗像大社口	広域施設	更新								
		改修							22.36	0.16
	広域施設	更新								

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画								
			第2期前期					第2期 後期	第3期 前期	第3期 後期	
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044	
神湊港渡船ターミナル		改修							68.16	1.97	53.00
大島港渡船ターミナル	広域施設	更新									
		改修	31.51				40.08	2.07	26.31		
地島泊渡船待合所	広域施設	更新									
		改修			1.41			4.25		14.77	
豊岡白浜渡船待合所	広域施設	更新									
		改修						6.28		2.86	

※単年度更新・改修計画は「資料編 P.〇〇」に記載します。

⑫ その他施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 かのこの里直売所		S造	601㎡	2003年度	2041年度 2053年度	広域施設
2 旧一般廃棄物塵芥処理場清掃工場(大島)	作業所等	S造	690㎡	2001年度	2039年度 2051年度	広域施設
	電気棟	S造	253㎡	1997年度	2035年度 2047年度	
	保管庫	S造	528㎡	2001年度	2039年度 2051年度	
	中央監視室 計量室	RC造	11㎡	2001年度	2051年度 2071年度	
3 旧学校給食共同調理場(旧給食センター)	東側倉庫等	RC造	790㎡	1975年度	2025年度 2045年度	市域施設
	東側物置	S造	24㎡	1967年度	2005年度 2017年度	
	西側倉庫等	S造	447㎡	1967年度	2005年度 2017年度	
	その他(2)	CB造	47㎡	1975年度	2013年度 2025年度	
4 浄楽苑宗像斎場	増築	S造	1,166㎡	2013年度	2051年度 2063年度	市域施設
		RC造	838㎡	1983年度	2033年度 2053年度	
	増改築	S造	198㎡	1993年度	2031年度 2043年度	
5 鐘崎漁港高度衛生管理型荷さばき所		RC造	151㎡	1984年度	2034年度 2054年度	市域施設
6 旧大島火葬場		RC造	151㎡	1984年度	2034年度 2054年度	コミュニティ 領域施設
7 旧瀬山団地4号牛舎(肥育仕上前牛舎)	1~4号牛舎	S造	1,330㎡	1981年度	2019年度 2031年度	コミュニティ 領域施設
	5号牛舎	W造	127㎡	1993年度	2015年度 2037年度	
	堆肥舎	S造	174㎡	1982年度	2020年度 2032年度	
8 中津和瀬団地多々良避難舎		S造	127㎡	1981年度	2019年度 2031年度	コミュニティ 領域施設
9 大牛団地(牛舎)		-	704㎡	1972年度	※1 ※2	コミュニティ 領域施設

※上段:法定耐用年数、下段:長寿命化後耐用年数

※1:建築年+(RC造50年・S造38年・CB造38年・LS造22年・W造22年・簡平30年・簡二45年)

※2:建築年+(RC造70年・S造50年・CB造50年・LS造30年・W造44年・簡平40年・簡二55年)

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
かのこの里直売所	譲渡	<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない 更新時までには譲渡を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る
一般廃棄物塵芥処理場清掃工場(大島)	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 作業所等、電気棟、資源ごみ保管庫①②、保管庫は、法定耐用年数経過時(第3期)に廃止する 計量室は作業所等にあわせて廃止する 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う
旧学校給食共同調理場(旧給食センター)	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 東側倉庫等は、法定耐用年数経過時(第2期)に廃止する 東側物置、その他の付帯施設(3棟)は、主体施設にあわせて第2期に廃止する 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止までの間は、必要最小限の維持補修を行う

施設名	評価	更新方針	改修方針
浄楽苑宗像斎場	現状維持	☞ 斎場(1993年、2013年増築分含む)は、施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	☞ 主体施設(斎場)は、劣化状況にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る ☞ 附属施設(1993年、2013年増築分)は、主体施設にあわせて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
鐘崎漁港 高度衛生管理型荷さばき所	現状維持	☞ 施設の長寿命化を図ることとし、計画期間内での更新は行わない	☞ 劣化状況に応じて改修し、最大限の施設の長寿命化を図る
旧大島火葬場	廃止	☞ 用途廃止済み	☞ 解体までの間は、安全管理を行う
旧瀬山団地4号牛舎(肥育仕上前牛舎)	廃止	☞ 用途廃止済み	☞ 解体までの間は、安全管理を行う
旧中津和瀬団地 多々良避難舎	廃止	☞ 用途廃止済み	☞ 解体までの間は、安全管理を行う
旧大牛団地(牛舎)	廃止	☞ 用途廃止済み	☞ 解体までの間は、安全管理を行う

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分分類	費用種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期後期	第3期前期	第3期後期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～2034	2035～2039	2040～2044
かのこの里直売所	広域施設	更新								
		改修					1.42	22.39		21.62
一般廃棄物塵芥処理場清掃工場(大島)	広域施設	更新								75.91
		改修								
旧学校給食共同調理場(旧給食センター)	市域施設	更新	30.84	49.75						
		改修								
浄楽苑宗像斎場	市域施設	更新								
		改修			7.17		13.72	69.35	68.94	88.51
鐘崎漁港 高度衛生管理型荷さばき所	市域施設	更新								
		改修								151.52
旧大島火葬場	コミュニティ 領域施設	更新							10.04	
		改修								
旧瀬山団地4号牛舎(肥育仕上前牛舎)	コミュニティ 領域施設	更新						16.20	1.49	2.05
		改修		1.30		41.26				
旧中津和瀬団地 多々良避難舎	コミュニティ 領域施設	更新						1.51		
		改修		5.02						
旧大牛団地(牛舎)	コミュニティ 領域施設	更新	3.71			2.14		0.68	0.71	
		改修								

※単年度更新・改修計画は「資料編P.〇〇」に記載します。

⑬ その他施設—その他狭小な施設

■施設概要

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
1 さつき松原トイレ		RC造	28㎡	2015年度	2065年度 2085年度	広域施設
2 このみ公園附属トイレ		W造	31㎡	2006年度	2028年度 2050年度	広域施設
3 熊越公園事務所・附属トイレ		CB造	56㎡	1991年度	2029年度 2041年度	広域施設
4 明天寺公園東附属トイレ		W造	78㎡	1994年度	2016年度 2038年度	広域施設
5 明天寺公園西附属トイレ		W造	20㎡	1994年度	2016年度 2038年度	広域施設
6 かんす海水浴場附属トイレ		RC造	13㎡	1979年度	2029年度 2049年度	広域施設
7 大穂馬頭観音附属トイレ		W造	8㎡	2006年度	2028年度 2050年度	広域施設
8 地島つばき園附属トイレ		RC造	7㎡	1997年度	2047年度 2067年度	広域施設
9 ホタルの館(ほたる養殖等)附属トイレ		RC造	78㎡	1993年度	2043年度 2063年度	広域施設
10 親水公園多目的附属トイレ		CB造	20㎡	1988年度	2026年度 2038年度	広域施設
11 豊岡白浜椿園附属トイレ		CB造	7㎡	1994年度	2032年度 2044年度	広域施設
12 御嶽山展望所		RC造	49㎡	2018年度	2068年度 2088年度	広域施設
	倉庫(ポンプ場等)	RC造	5㎡	1981年度	2031年度 2051年度	
	附属トイレ	S造	1㎡	1997年度	2035年度 2047年度	
13 (元)地島渡船待合所		RC造	80㎡	1986年度	2036年度 2056年度	広域施設
14 風車展望所		RC造	35㎡	1996年度	2046年度 2066年度	広域施設
15 田久桜公園附属トイレ		RC造	23㎡	1997年度	2047年度 2067年度	市域施設
16 白山登山口附属トイレ		W造	56㎡	1998年度	2020年度 2042年度	市域施設
17 宗像中央公園附属トイレ		-	32㎡	1982年度	※1 ※2	市域施設
18 大井釣川取水操作場		RC造	154㎡	1970年度	2020年度 2040年度	市域施設
19 ダム揚水ポンプ室		RC造	77㎡	1973年度	2023年度 2043年度	市域施設
20 旧働く婦人の家(普通・貸付)		-	933㎡	1983年度	※1 ※2	市域施設
21 旧中央公民館第2研修室(普通・貸付)		W造	388㎡	1979年度	2001年度 2023年度	市域施設
22 大井浄水場(普通・仮倉庫)		RC造	993㎡	1970年度	2020年度 2040年度	市域施設
23 大井配水池		RC造	8㎡	1975年度	2025年度 2045年度	市域施設
24 東郷ポケットパーク附属トイレ		RC造	17㎡	1990年度	2040年度 2060年度	コミュニティ 領域施設
25 日の里第7号公園附属トイレ		CB造	35㎡	1976年度	2014年度 2026年度	コミュニティ 領域施設
26 岬公園附属トイレ		RC造	26㎡	2011年度	2061年度 2081年度	コミュニティ 領域施設
27 宗像市河東地区第1水防倉庫		LS造	38㎡	1979年度	2001年度 2009年度	コミュニティ

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
						領域施設
28 宗像市赤間地区第3水防倉庫		LS造	34 m ²	1973年度	1995年度 2003年度	コミュニティ 領域施設
29 河東公園附属トイレ		W造	15 m ²	2009年度	2031年度 2053年度	コミュニティ 領域施設
30 宮田桜公園附属トイレ		CB造	10 m ²	2000年度	2038年度 2050年度	コミュニティ 領域施設
31 後曲緑地公園附属トイレ		W造	6 m ²	1997年度	2019年度 2041年度	コミュニティ 領域施設
32 広陵台中央公園附属トイレ		CB造	10 m ²	1987年度	2025年度 2037年度	コミュニティ 領域施設
33 自由ヶ丘第14号公園附属トイレ		W造	8 m ²	1977年度	1999年度 2021年度	コミュニティ 領域施設
34 自由ヶ丘中央公園附属トイレ		RC造	7 m ²	1993年度	2043年度 2063年度	コミュニティ 領域施設
35 城西ヶ丘第3号公園附属トイレ		W造	7 m ²	1983年度	2005年度 2027年度	コミュニティ 領域施設
36 神湊公園附属トイレ		CB造	48 m ²	2004年度	2042年度 2054年度	コミュニティ 領域施設
37 青葉台中央公園附属トイレ		RC造	13 m ²	1992年度	2042年度 2062年度	コミュニティ 領域施設
38 泉ヶ丘中央公園附属トイレ		W造	7 m ²	1986年度	2008年度 2030年度	コミュニティ 領域施設
39 朝野中央公園附属トイレ		CB造	7 m ²	1995年度	2033年度 2045年度	コミュニティ 領域施設
40 徳重公園附属トイレ		RC造	8 m ²	1975年度	2025年度 2045年度	コミュニティ 領域施設
41 日の里第11号公園附属トイレ		CB造	9 m ²	1976年度	2014年度 2026年度	コミュニティ 領域施設
42 日の里第4号公園附属トイレ		W造	13 m ²	1976年度	1998年度 2020年度	コミュニティ 領域施設
43 葉山第5号公園附属トイレ		CB造	17 m ²	1976年度	2014年度 2026年度	コミュニティ 領域施設
44 後曲公園附属トイレ・倉庫		S造	18 m ²	1977年度	2015年度 2027年度	コミュニティ 領域施設
45 釈迦院広場トイレ		RC造	24 m ²	2016年度	2066年度 2086年度	コミュニティ 領域施設
46 中導寺公園附属ポンプ場・トイレ	附属ポンプ場	W造	9 m ²	1988年度	2010年度 2032年度	コミュニティ 領域施設
	附属トイレ	W造	9 m ²	1988年度	2010年度 2032年度	
47 大井地区排水機場(普通)		RC造	135 m ²	1985年度	2035年度 2055年度	コミュニティ 領域施設
48 大井地区多目的広場		-	7 m ²	2019年度	※1 ※2	コミュニティ 領域施設
49 織幡神社周辺トイレ		RC造	9 m ²	2019年度	2069年度 2089年度	コミュニティ 領域施設
50 椿油精製機保管庫		RC造	30 m ²	2004年度	2054年度 2074年度	コミュニティ 領域施設
51 豊岡棧橋操作室		CB造	10 m ²	2011年度	2049年度 2061年度	コミュニティ 領域施設
52 大島砲台跡附属トイレ		CB造	17 m ²	2013年度	2051年度 2063年度	コミュニティ 領域施設
53 宗像市大島第4水防倉庫		LS造	38 m ²	1969年度	1991年度 1999年度	コミュニティ 領域施設
					※1	

施設名	棟名	構造	延床面積	建築年度	耐用年度 ※	利用区域分類
54 元大島行政センター(普通・仮倉庫)		—	679 m ²	1969 年度	※2	コミュニティ 領域施設

■施設別方針

施設名	評価	更新方針	改修方針
その他狭小な施設	現状 維持	☞ 施設老朽度及び利用状況から更新の可否を判断する	☞ 必要な維持補修を行いながら、最大限の施設の長寿命化を図る

■更新・改修計画

単位：百万円

施設名	利用区分 分類	費用 種類	各期の計画							
			第2期前期					第2期 後期	第3期 前期	第3期後 期
			2025	2026	2027	2028	2029	2030～ 2034	2035～ 2039	2040～ 2044
その他狭小な施設		更新	70.25	0.46	0.80	0.00	0.09	57.62	6.59	31.97
		改修	17.66	8.15	0.22	38.88	17.53	0.79	0.09	19.01

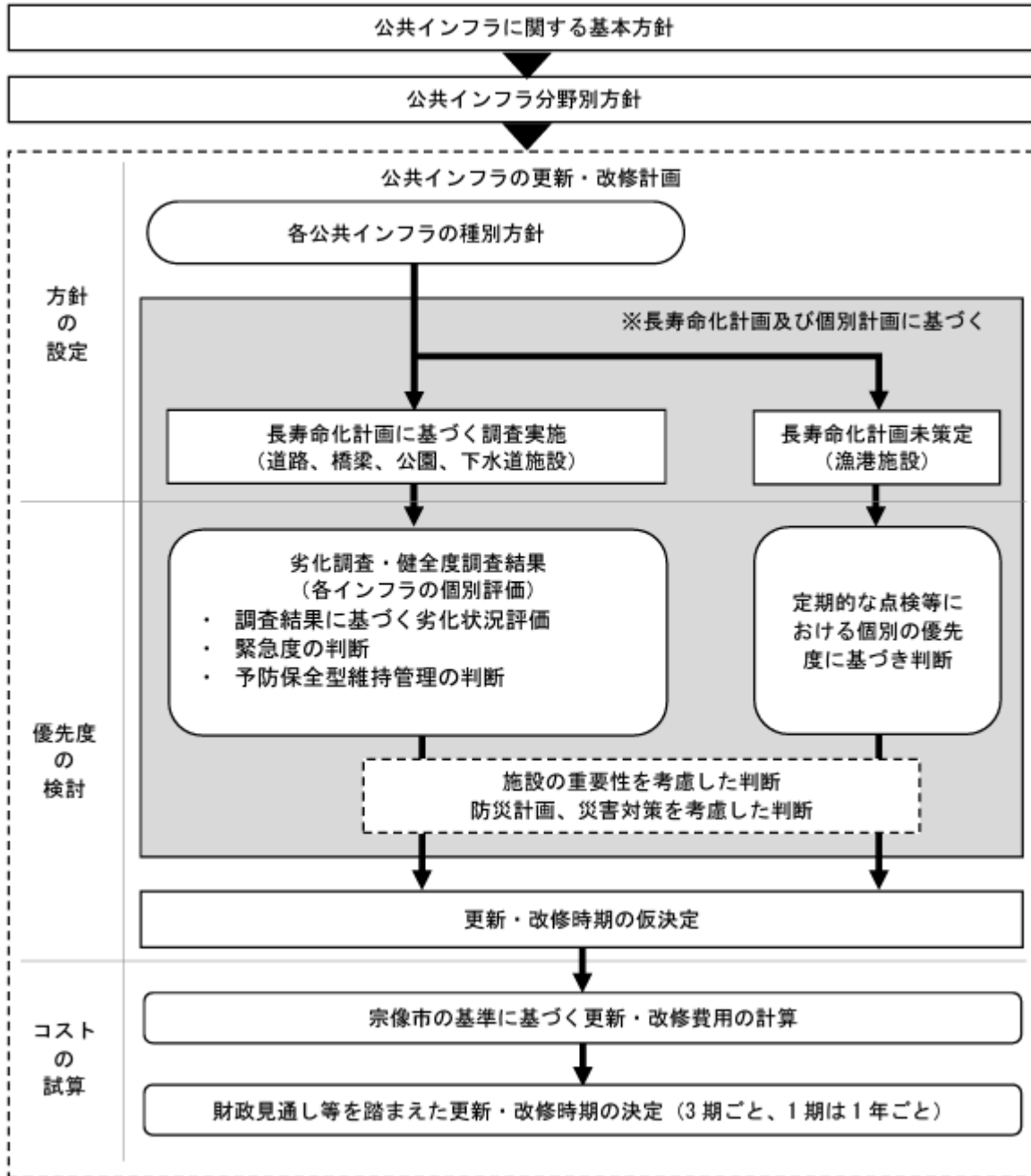
※単年度更新・改修計画は「資料編P.〇〇」に記載します。

2. 公共インフラごとの更新・改修計画

2-1 種別方針の設定

公共インフラごとの更新・改修費用においては、各インフラの長寿命化計画及び個別計画等に基づき、種別を分け、今後 20 年間の更新・改修方針を設定します。

■公共インフラの更新・改修計画の検討の流れ



2-2 優先度の設定

優先度については、各公共インフラの長寿命化計画及び個別計画に基づき設定します。

長寿命化計画を策定している公共インフラは、計画策定の際に実施した劣化調査・健全度調査結果に基づく緊急性について評価を踏まえ、優先度を設定します。

長寿命化計画が未策定の公共インフラは、定期的な点検等に基づき個別に評価し、優先度を設定します。

2-3 コスト(更新・改修費用)の試算

更新及び改修費用については、過去の実績値や各公共インフラの長寿命化計画で算出している事業費に基づき、それぞれ試算を行い、計画的に更新・改修を行います。

■公共インフラの種別ごとの各単価

分野	種別	更新単価等
道路	幹線1級市道	12,000円/㎡(18年間隔)
	幹線2級市道	6,600円/㎡(22年間隔)
	その他の道路	1年あたり 220.0 百万円の費用で想定
橋梁	—	橋梁長寿命化修繕計画で算出した 2023～2032 年度を想定し、2033 年度以降は 10 年間(2023～2032 年度)の事業費を 1 年当たりの事業費に換算して毎年かかる費用を想定
公園	—	普通建設事業で過去 3 年間にかかった事業費(2021～2023 年度)を 1 年当たりの事業費に換算して毎年かかる費用を想定
漁港	—	水産基盤施設機能保全計画で過去 5 年間にかかった事業費(2019～2023 年度)を 1 年当たりの事業費に換算して毎年かかる費用を想定
下水道施設	—	公共下水道施設は下水道ストックマネジメント全体計画(処理場、ポンプ場、管路施設の下水道施設全体)で算出した 50 年間の事業費から毎年かかる費用を想定 漁業集落排水処理施設は機能保全計画で予定している地島処理場(泊地区、豊岡地区)の改築事業費を想定 ※ただし、一般会計ではないため、トータル費用としては計上しない

2-4 公共インフラの更新・改修計画

① 道路

■概要・種別方針

種別	区分	面積	方針
幹線道路	1 級市道	466 千㎡	➤ 下表に該当する道路については、18 年間隔で道路の舗装改修を行う
	2 級市道	208 千㎡	➤ 下表に該当する道路については、22 年間隔で道路の舗装改修を行う
その他の道路		3,340 千㎡	➤ 幹線道路以外の道路については、予算の範囲内において劣化状況に応じて道路の舗装改修を行う

■道路の種別

種別	該当する道路
幹線1級市街	<ol style="list-style-type: none"> 1. 都市計画決定された幹線街路 2. 主要集落(戸数 50 戸以上、以下同じ)とこれらと密接な関係にある主要集落とを連結する道路 3. 主要集落と主要交通流通施設、主要公益的施設、または主要生産施設とを連絡する道路 4. 主要交通流通施設、主要公益的施設、主要生産施設または主要観光地の相互間において密接な関係を有するものを連絡する道路 5. 主要集落、主要交通流通施設、主要公益的施設または主要観光地と密接な関係にある一般国道、都道府県道、または幹線 1 級市町村道を連絡する道路 6. 大都市または地方開発のために特に必要な道路
幹線2級市街	<ol style="list-style-type: none"> 1. 都市決定された補助幹線街路 2. 集落(25 戸以上、以下同じ)相互を連絡する道路 3. 集落と主要交通流通施設、主要公益的施設もしくは主要な生産の場を結ぶ道路 4. 集落とこれに密接な関係にある一般国道、都道府県道、または幹線 1 級市町村道とを連絡する道路 5. 大都市または地方開発のために必要な道路

■期ごとの計画

	項目	第 1 期後期 (2020~2024 年度)	第 2 期前期 (2025~2029 年 度)	第 2 期後期 (2030~2034 年 度)	第 3 期前期 (2035~2039 年 度)	第 3 期後期 (2040~2044 年 度)
幹線 1 級市道	内容	・ 1 年あたり 100 百万円の費用を想定し、舗装改修を行う(1 ㎡当りの単価を 12,000 円とする)				
	費用	-	500 百万円	500 百万円	500 百万円	500 百万円
幹線 2 級市道	内容	・ 1 年あたり 80 百万円の費用を想定し、舗装改修を行う(1 ㎡当りの単価を 6,600 円とする)				
	費用	-	400 百万円	400 百万円	400 百万円	400 百万円
その他の道路	内容	・ 1 年あたり 210 百万円の費用の範囲内で劣化状況に応じて舗装改修を行う				
	費用	-	1,100 百万円	1,100 百万円	1,100 百万円	1,100 百万円
合計費用		-	2,000 百万円	2,000 百万円	2,000 百万円	2,000 百万円

② 橋梁

■概要・種別方針

種別	橋梁数	延長(m)	方針
跨線橋・跨道橋	11 橋	225.12	予防保全型の管理を行う
1・2 級市道	69 橋	662.31	コンクリート部材の場合は、対策サイクルを 30 年とし、定期点検で全体に軽微な損傷が見られる健全度3を保持した状態のまま
橋長 15m 以上	25 橋	558.73	予防対策を完了させる(管理水準を保っている間に対策を実施する)
橋長 5m 以上・バス路線	36 橋	524.93	鋼部材の場合は、対策サイクルを一般環境では 50 年、塩害環境では 35 年とし、再塗装を実施する ※予防保全:健全性を定期点検によっては把握し、損傷・劣化が軽微な段階で対策を実施
橋長 5m 以上・バス路線以外	128 橋	987.49	監視保全型の管理を行う コンクリート部材の場合は、対策サイクルを 40 年とし、定期点検で明確な損傷の進展が認められるが耐荷性能への影響は小さい健全度2を保持した状態のまま対策を完了させる(管理水準を保っている間に対策を実施する) 鋼部材の場合は、対策サイクルを一般環境では 50 年、塩害環境では 35 年とし、再塗装を実施する ※監視保全:ある程度の損傷は許容するが監視しながら必要に応じて対策を実施
橋長 5m 未満	276 橋	901.19	監視保全型の管理を行う コンクリート部材の場合は、対策サイクルを 60 年とし、点検を行いながら 60 年後に架け替えを行う 鋼部材の場合は、対策サイクルを一般環境では 50 年、塩害環境では 35 年とし、再塗装を実施する

■期ごとの計画

	項目	第 1 期後期 (2020～2024 年度)	第 2 期前期 (2025～2029 年 度)	第 2 期後期 (2030～2034 年 度)	第 3 期前期 (2035～2039 年 度)	第 3 期後期 (2040～2044 年 度)
すべての橋梁	内容	橋梁長寿命化修繕計画で算出した 2023～2032 年度を想定し、2033 年度以降は 10 年間(2023～2032 年度)の事業費を 1 年当たりの事業費に換算して毎年かかる費用を想定し、予防保全に基づく維持・補修を行う				
	費用	-	541 百万円	536 百万円	538 百万円	538 百万円

③ 公園

■概要・種別方針

種別	箇所数	面積(m ²)	方針
総合	3 施設	906,695	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 法令等で点検が必要な施設については、毎年 1 回等の法令点検により劣化や損傷を把握し、健全度を維持する ➢ コリックスは公園施設のほかに様々な建築物があるため将来維持管理計画と連携した管理を行う
地区	2 施設	96,776	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 公園施設、橋、擁壁等については、日常点検等により異常の早期発見に努めるとともに 5 年に 1 回以上の健全度調査を実施し、施設の劣化損傷状況を確認する ➢ 遊戯施設については、日常点検及び年 1 回の定期点検により施設の劣化及び損傷を把握し、健全度を維持する ➢ 優先度の高い施設から補修・更新を行い費用の平準化を図る
近隣	14 施設	317,459	
街区	102 施設	216,018	
幼児	40 施設	17,134	
風致	1 施設	2,411	
農村	12 施設	31,035	
他	14 施設	84,044	

■期ごとの計画

	項目	第 1 期後期 (2020～2024 年度)	第 2 期前期 (2025～2029 年 度)	第 2 期後期 (2030～2034 年 度)	第 3 期前期 (2035～2039 年 度)	第 3 期後期 (2040～2044 年 度)
全ての公園	内容	・ 過去 3 年間にかかった事業費(2021～2023 年度)を 1 年当たりの事業費に換算して毎年かかる費用を想定し、施設改修を実施する				
	費用	-	713 百万円	713 百万円	713 百万円	713 百万円

④ 漁港施設

■概要・種別方針

種別	水域面積	方針
鐘崎漁港	2,160 千㎡	<p>➢ 漁港施設機能保全計画に基づき以下の漁港施設について計画的に維持管理を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防波堤(990.60m) ・ 護岸(864.48m) ・ 岸壁(1,866.78m) ・ 物揚場(430.60m) ・ 船揚場(119.50m) ・ 航路(26,623.00 ㎡) ・ 泊地(134,224.00 ㎡) ・ 道路(2,871.30m) ・ 駐車場(2,259.00 ㎡) ・ 航路標識(1 基) ・ 漁港施設用地(38,158.00 ㎡) ・ 漁具保管修理場(2 箇所) ・ 給油施設(2 箇所) ・ 荷さばき所(3 箇所) ・ 蓄養施設(918.00 ㎡) ・ 水産倉庫(2 箇所) ・ 野積場(9,067.00 ㎡) ・ 製氷冷凍冷蔵施設(5 箇所) ・ 加工場(1 箇所) ・ 植栽(3,574.00 ㎡) ・ 休憩所(1 箇所) ・ その他施設(1 箇所)
神湊漁港	2,649 千㎡	<p>➢ 漁港施設機能保全計画に基づき以下の漁港施設について計画的に維持管理を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防波堤(779.70m) ・ 護岸(364.20m) ・ 岸壁(223.50m) ・ 物揚場(316.75m) ・ 浮棧橋(30.00m) ・ 船揚場(74.00m) ・ 航路(4,159.00 ㎡) ・ 泊地(22,633.00 ㎡) ・ 道路(673.00m) ・ 橋梁(16.00m) ・ 駐車場(5,125.00 ㎡) ・ 航路標識(1 基) ・ 漁港施設用地(11,258.00 ㎡) ・ 漁船修理場(1 箇所) ・ 漁具保管修理場(1 箇所) ・ 給油施設(1 箇所) ・ 荷さばき所(1 箇所) ・ 蓄養施設(870.00 ㎡) ・ 野積場(1,451.00 ㎡) ・ 管理事務所(1 箇所)
地島漁港 (豊岡、泊)	1,380 千㎡	<p>➢ 漁港施設機能保全計画に基づき以下の漁港施設について計画的に維持管理を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防波堤(835.50m) ・ 護岸(533.05m) ・ 岸壁(178.80m) ・ 物揚場(386.00m) ・ 浮棧橋(72.00m) ・ 船揚場(112.50m) ・ 泊地(25,031.00 ㎡) ・ 道路(414.00m) ・ 橋梁(16.00m) ・ 漁港施設用地(9,817.00 ㎡) ・ 漁船修理場(1 箇所) ・ 給油施設(2 箇所) ・ 野積場(3,387.00 ㎡) ・ 製氷冷凍冷蔵施設(2 箇所) ・ 加工場(1 箇所)

■期ごとの計画

施設名	項目	第1期後期 (2020～2024 年度)	第2期前期 (2025～2029 年度)	第2期後期 (2030～2034 年度)	第3期前期 (2035～2039 年度)	第3期後期 (2040～2044 年度)
すべての漁港	内容	・ 水産基盤施設機能保全計画で過去5年間にかかった事業費(2019～2023年度)を1年当たりの事業費に換算して毎年かかる費用を想定し、施設改修を実施する				
	費用	-	160百万円	160百万円	160百万円	160百万円

⑤ 下水道施設(処理施設・管路)

■概要・種別方針

種別		共用開始年度	面積・総延長	方針	
処理施設	公共下水道	宗像終末処理場第1系統	1970年	2,029㎡	下水道の役割を踏まえ、持続可能な下水道事業の実施を図るため、下水道施設全体(処理場、ポンプ場、管路)を対象として明確な目標を定め、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、中長期的な施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理するストックマネジメントを進める 漁業集落排水施設については機能保全計画に基づき、地島地区の処理施設の改築を進める
		宗像終末処理場第2系統	1984年	10,530㎡	
	漁業集落排水施設	鐘崎地区	1984年	921㎡	
		地島地区(泊)	2002年	342㎡	
		地島地区(豊岡)	2002年	204㎡	
	大島地区	1989年	911㎡		
管路	公共下水道		-	599.5km	
	漁業集落排水施設	鐘崎地区	-	-	
		地島地区	2001年	2.2km	
		大島地区	1986年	6.9km	

■期ごとの計画

	項目	第1期後期 (2020~2024年度)	第2期前期 (2025~2029年度)	第2期後期 (2030~2034年度)	第3期前期 (2035~2039年度)	第3期後期 (2040~2044年度)
処理施設	内容	・下水道ストックマネジメント全体計画(処理場・ポンプ場編)で選定した最適シナリオに基づき年平均投資額6.4億円/年で改築を実施する ・漁業集落排水施設機能保全計画に基づき、地島地区処理施設の改築を行う				
	費用	-	3,200百万円	3,200百万円	3,200百万円	3,200百万円
管路	内容	・下水道ストックマネジメント全体計画(汚水管路・マンホールポンプ場編)で選定した最適シナリオに基づき年平均投資額1.78億円/年で改築を実施する				
	費用	-	890百万円	890百万円	890百万円	890百万円

※ただし、一般会計ではないため、費用としては計上しない

3. 更新・改修計画の成果と課題

更新・改修計画の20年間(令和7(2025)年度～令和26(2044)年度)の更新・改修費用を合計すると 516.2 億円となり、今後20年間の目標として設定した財源以内に収まるため、財政計画上では実施可能な金額となっています。

また、期ごとの更新・改修費用では、第2期の前期(令和7(2025)年度～令和12(2029)年度)は 159.8 億円、第2期後期(令和13(2030)年度～令和16(2034)年度)は 101.5 億円、第3期前期(令和 17(2035)年度～令和 22 年(2039)年度)は 139.0 億円、第3期後期(令和 23(2040)年度～令和26年(2044)年度)は 115.9 億円となっており、公共施設及び公共インフラの長寿命化や予防保全の実施、公共施設の廃止や集約化、複合化の促進等を行うことでこの計画値を実現させることができます。

公共施設においては各施設の長寿命化により、今後20年間の更新費用は大きく縮減されます。しかしながら、本計画の期間外で更新を迎える施設も多数あるため、今後の更新については、利用状況や社会状況等の変化にあわせて各施設の方策や目標数値を定め、効果的な更新を進めることが課題となります。さらに、施設別方針として集約化、複合化と評価されている施設の中には、同じ評価の施設間で更新時期が異なる施設が存在しています。このような施設では、各用途分類においてどのタイミングでどのような方法で集約化、複合化、民活化等を行うのかについての検討を継続し、原則として第2期前期の 5 年以内に適切な見直しを行い、計画に反映させます。

また、経常的な維持管理費用については、その総額は示してはいますが、具体的な削減策については行財政改革アクションプランに委ねているため、その進捗も把握する必要があります。

また、今後行う本計画の見直しにあたっては、総合計画をはじめとした上位関連計画とも連動・整合を図り、まちの拠点形成による公共機能の集約化や、それらをつなぐ公共交通ネットワークの形成等、今後のまちのあり方や人口動向を見据えた上での検討を行います。